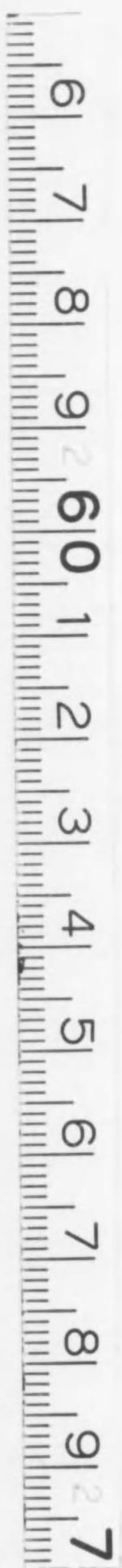


始



R813.2-Ko47ウ  
R  
13.2  
Ko47

X  
複写

漢和字典



部首のなまへ

尸(尸)	口(口)	入(入)	儿(儿)	イ(人)	乙
(フシツクリ)	(マキガマ)	(イリガシラ)	(ニンネウ)	(ニンイン)	(オツネウ)
イ	子	女	久	土	口
(シヤウニ)	(コヘン)	(シナヘン)	(スホネウ)	(ツチヘン)	(タニガマ)
欠	斗	支	尸	尸(阜)	尸(心)
(アケビ)	(トマス)	(シネウ)	(トカシムリ)	(コサトヘン)	(ベリツシ)
疒	牙	片	片	瓜	火
(ヤマビダレ)	(キバヘン)	(カクヘン)	(シヤウヘン)	(ツメカシムリ)	(ヒシ)
聿	耳	未	羊	网	糸
(ラヂツクリ)	(ミミヘン)	(ライスキ)	(ヒツクヘン)	(シラガ)	(イトヘン)
金	里	酉	車	身	足
(カネヘン)	(サトヘン)	(ヒヨミノトリ)	(クルマヘン)	(ミヘン)	(アシヘン)
齒	鼻	麻	麥	鳥	魚
(ハヘン)	(ハナヘン)	(アサカシムリ)	(バクネウ)	(トリヘン)	(イサヘン)
					鬼
					(キネウ)
					門
					(カドガマ)
					(フリトリ)
					佳
					(アマカシムリ)
					雨
					(カヘン)
					革
					(オホガヒ)
					食
					(シヨクヘン)
					馬
					(ウマヘン)
					骨
					(ホネヘン)
					影
					(カミガシムリ)
					豕
					(ウヅナヘン)
					貝
					(カヒヘン)
					走
					(ソウネウ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)
					石
					(イシヘン)
					示
					(シメスヘン)
					禾
					(アホヘン)
					穴
					(アナカシムリ)
					立
					(タツヘン)
					衣
					(コロセヘン)
					竹
					(タケカシムリ)
					米
					(コメヘン)
					糸
					(イトヘン)
					网
					(シラガ)
					羊
					(ヒツクヘン)
					未
					(ライスキ)
					耳
					(ミミヘン)
					聿
					(ラヂツクリ)
					目
					(メヘン)
					矛
					(ホコヘン)
					矢
					(ヤヘン)

この字典の引き方

- 一、文字の音か調(よみ)がわかつてゐる時は、最後の方に載つてゐる「音・調」で引く。
- 二、音も訓もわからない漢字で、部首(ヘンヤツクリやカンムリなど)のわかつてゐるものは、表紙ウラの「部首」で引く。
- 三、音も訓も部首もわからない時は、「總畫」で引く。

76W10187



1017  
71

203	已	681	万	8	一	畫	總畫 (全體の畫の數) (數字は文字の番號です)
208	巾	682	丸	19	一	乙	
221	千	702	久	23	二	畫	一、引き方のわからない文字は、その漢字の總畫を數へ、この欄を見つけて下さい。(數字は文字の番號です) 二、總畫の數へ方を見つからない文字は、念のため、それより一畫かどうしても見つかからない文字は、念のため、見て下さい。
228	弓	745	之	24	一	乙	
229	才	907	乞	31	三	畫	三、二畫多い方と少い方をもさかして見て下さい。
230	四	畫	也	32	丁	七	
283	不	9	亡	46	乃	九	了
284	中	17	凡	218	二	人	入
285	丹	20	双	227	八	刀	力
287	乏	27	勺	282	十	又	
292	云	40	千	298			
293	互	41	又	326			
299	五	42	口	336			
300	井	43	土	430			
317	仁	55	士	484			
327	仇	56	夕	495			
328	今	57	大	501			
329	介	58	女	520			
330	仍	59	子	558			
502	允	175	寸	612	三	畫	文
503	元	176	小	624	三	上	
504	内	176	山	651		下	
559	公	190	川	671			
625	六	194	工	675			
629		195	己	680			

一畫 四畫

灰牝	1441	忙托	791	回因	418	会兆	78	皿目	1616
百礼	1495	收旨	909	在地	419	兇先	179	矛矢	1626
竹米	1611	早旬	1015	夙多	431	光全	180	石示	1646
糸羊	1679	旭曲	1061	夷好	432	共再	181	穴立	1647
羽老	1759	曳有	1062	如妃	497	刑列	182		1653
考而	1791	朱朴	1063	妄字	498	劣匠	191		1678
耳聿	1809	机朽	1064	存宅	507	匡印	196		1733
肉肋	1902	次此	1104	宇守	521	危吃	206		1746
肌臣	1908	死求	1105	安寺	522	各合	232	六	壹
自至	1915	汎汗	1115	尖州	523	吉同	233	两互	15
白舌	1916	污汝	1129	巧帆	524	名后	263	交亦	44
舟色	1918	江池	1130	年式	560	吏更	289	仰仲	47
虫	1922	灯	1131		561	吐向	290	件任	48
	1933		1132		570		309	企伊	67
	1936		1243		571		310	伍伏	68
	1937		1255		572		350	伐休	69
	1938		1263		573		351	饭	70
	1988		1292		613		352		71
	1991		1293		626		353		72
	1993		1294		672		354		73
	1996		1295		677		355		74
	2001		1296		685		356		75
	2005		1297		704		357		76
	2016		1298		743		358		77
	2096		1440		744		359		

未末	1125	右叶	346	充冉	178	爪父	1480	尺屯	631
本札	1126	司号	347	册冬	204	片牙	1485	幻弔	650
正母	1127	号因	348	处凸	205	牛犬	1489	引心	707
民冰	1128	四外	349	凹出	211	王	1493	戈户	746
永汁	1254	央失	416	刊功	219		1494	手支	747
犯玄	1279	尻尼	417	加包	222		1505	文斗	785
玉瓜	1286	左巨	496	北半	223	五	1535	斤方	888
瓦甘	1289	市布	505	占去	224	且丕		日	900
生用	1290	平幼	506	古句	231	世丘	10	月木	906
田由	1291	弁弘	632	只叫	261	丙主	11	欠止	1014
甲申	1506	必戊	633	召可	262	乍乎	12	比毛	1037
正白	1531	打斥	676	台叱	286	仕他	13	氏水	1039
皮	1534	且旧	678	史	288	付仙	14	火	1043
	1550		683		301	代令	21		1050
	1551		684		308	以兄	25		1058
	1556		703		323		26		1103
	1558		708		337		60		1114
	1561		739		338		61		1124
	1562		748		339		62		1242
	1563		786		340		63		1253
	1564		889		341		64		1282
	1565		908		342		65		1283
	1585		1044		343		66		1285
	1610		1059		344		66		1288
	1615		1060		345		177		1439

血行衣西	2120
血行衣西	2122
血行衣西	2128
血行衣西	2155
血行衣西	2370
血行衣西	2371
血行衣西	2372
<b>七 畫</b>	
串乱伯伴	18
串乱伯伴	33
串乱伯伴	79
串乱伯伴	80
串乱伯伴	81
串乱伯伴	82
串乱伯伴	83
串乱伯伴	84
串乱伯伴	85
串乱伯伴	86
串乱伯伴	87
串乱伯伴	88
串乱伯伴	89
串乱伯伴	90
串乱伯伴	91
串乱伯伴	92

作佞体克	93
作佞体克	94
作佞体克	95
作佞体克	183
作佞体克	184
作佞体克	185
作佞体克	197
作佞体克	212
作佞体克	213
作佞体克	234
作佞体克	235
作佞体克	236
作佞体克	237
作佞体克	264
作佞体克	265
作佞体克	294
作佞体克	311
作佞体克	312
作佞体克	360
作佞体克	361
作佞体克	362
作佞体克	363
作佞体克	364
作佞体克	365
作佞体克	366

吸吹吾告	367
吸吹吾告	368
吸吹吾告	369
吸吹吾告	370
吸吹吾告	371
吸吹吾告	420
吸吹吾告	433
吸吹吾告	434
吸吹吾告	435
吸吹吾告	436
吸吹吾告	437
吸吹吾告	485
吸吹吾告	486
吸吹吾告	487
吸吹吾告	490
吸吹吾告	525
吸吹吾告	526
吸吹吾告	527
吸吹吾告	528
吸吹吾告	529
吸吹吾告	562
吸吹吾告	563
吸吹吾告	574
吸吹吾告	575
吸吹吾告	614

尾尿局岐	634
尾尿局岐	635
尾尿局岐	636
尾尿局岐	652
尾尿局岐	673
尾尿局岐	686
尾尿局岐	711
尾尿局岐	712
尾尿局岐	713
尾尿局岐	734
尾尿局岐	735
尾尿局岐	740
尾尿局岐	749
尾尿局岐	760
尾尿局岐	766
尾尿局岐	787
尾尿局岐	788
尾尿局岐	789
尾尿局岐	790
尾尿局岐	794
尾尿局岐	890
尾尿局岐	891
尾尿局岐	892
尾尿局岐	910
尾尿局岐	911

批技抄抑	912
批技抄抑	914
批技抄抑	915
批技抄抑	916
批技抄抑	917
批技抄抑	918
批技抄抑	919
批技抄抑	920
批技抄抑	1016
批技抄抑	1017
批技抄抑	1065
批技抄抑	1106
批技抄抑	1133
批技抄抑	1134
批技抄抑	1135
批技抄抑	1136
批技抄抑	1137
批技抄抑	1138
批技抄抑	1139
批技抄抑	1256
批技抄抑	1280
批技抄抑	1299
批技抄抑	1300
批技抄抑	1301
批技抄抑	1302

沃沈沐浚	2166
沃沈沐浚	2170
沃沈沐浚	2257
沃沈沐浚	2258
沃沈沐浚	2268
沃沈沐浚	2310
沃沈沐浚	2313
沃沈沐浚	2320
沃沈沐浚	2334
沃沈沐浚	2336
沃沈沐浚	2362
沃沈沐浚	2367
沃沈沐浚	2373
沃沈沐浚	2374
沃沈沐浚	2375
沃沈沐浚	2436
沃沈沐浚	2437
沃沈沐浚	2438
沃沈沐浚	2471
沃沈沐浚	2539
沃沈沐浚	2540
<b>八 畫</b>	
並乳	16
並乳	34
肝良芋見	1939
肝良芋見	1940
肝良芋見	2014
肝良芋見	2017
肝良芋見	2159

角言谷豆	38
角言谷豆	45
角言谷豆	49
角言谷豆	50
角言谷豆	51
角言谷豆	96
角言谷豆	97
角言谷豆	98
角言谷豆	99
角言谷豆	100
角言谷豆	101
角言谷豆	102
角言谷豆	103
角言谷豆	104
角言谷豆	105
角言谷豆	186
角言谷豆	192
角言谷豆	198
角言谷豆	199
角言谷豆	200
角言谷豆	225
角言谷豆	238
角言谷豆	239
角言谷豆	240
角言谷豆	241

事亞享京	242
事亞享京	243
事亞享京	244
事亞享京	302
事亞享京	303
事亞享京	304
事亞享京	305
事亞享京	313
事亞享京	314
事亞享京	331
事亞享京	332
事亞享京	333
事亞享京	372
事亞享京	373
事亞享京	374
事亞享京	375
事亞享京	376
事亞享京	421
事亞享京	438
事亞享京	439
事亞享京	440
事亞享京	499
事亞享京	503
事亞享京	509
事亞享京	510

刹刺刻卑	530
刹刺刻卑	531
刹刺刻卑	532
刹刺刻卑	533
刹刺刻卑	534
刹刺刻卑	535
刹刺刻卑	536
刹刺刻卑	564
刹刺刻卑	565
刹刺刻卑	566
刹刺刻卑	576
刹刺刻卑	577
刹刺刻卑	578
刹刺刻卑	579
刹刺刻卑	580
刹刺刻卑	581
刹刺刻卑	582
刹刺刻卑	583
刹刺刻卑	627
刹刺刻卑	637
刹刺刻卑	638
刹刺刻卑	639
刹刺刻卑	653
刹刺刻卑	654
刹刺刻卑	655

姤妹妻姉	2120
姤妹妻姉	2122
姤妹妻姉	2128
姤妹妻姉	2155
姤妹妻姉	2370
姤妹妻姉	2371
姤妹妻姉	2372
<b>七 畫</b>	
姤妹妻姉	18
姤妹妻姉	33
姤妹妻姉	79
姤妹妻姉	80
姤妹妻姉	81
姤妹妻姉	82
姤妹妻姉	83
姤妹妻姉	84
姤妹妻姉	85
姤妹妻姉	86
姤妹妻姉	87
姤妹妻姉	88
姤妹妻姉	89
姤妹妻姉	90
姤妹妻姉	91
姤妹妻姉	92

岸岳	656	辰房	901	昂昆	1067	沸油	1311	阨画	1552
帑帖	687	所承	902	昇昌	1068	治沼	1312	的盲	1568
幸底	705	披抱	903	明易	1069	沿沿	1313	直知	1612
店府	714	抵抹	913	昔朋	1070	況泊	1314	社祀	1627
府弦	715	抽拂	921	服柿	1071	泌法	1315	空竄	1628
弥弧	750	抽拂	922	杯東	1072	波泣	1316	罔股	1649
彼往	751	拍拒	923	杵松	1073	泥注	1318	肢肥	1680
征忝	767	拓拔	924	板析	1116	泳炊	1319	肩肪	1681
忠念	768	拗拘	925	枕林	1117	炎爭	1320	肯肱	1735
忽忿	769	拙招	926	枚果	1140	版牧	1321	育肴	1747
怖怛	792	担放	927	枝欣	1141	物狀	1322	肴肺	1811
性怪	793	政於	928	武歿	1142	狐狙	1323	臥舍	1892
怯或	795	旺	929	河	1143	玩	1324	芝	1941
	796		930		1144		1325		1942
	797		931		1145		1444		1943
	799		932		1146		1445		1944
	800		933		1147		1481		1945
	804		934		1148		1490		1946
	806		935		1149		1498		1947
	807		936		1150		1499		1948
	893		937		1151		1507		1949
			1018		1244		1510		1950
			1019		1257		1511		1989
			1051		1264		1536		2002
			1066		1310				2018

九畫

芟芥	2019	即厘	315	亭侮	52	芟芥	2019
花芳	2020	厚咫	318	侯侵	106	花芳	2020
芽虎	2021	呶咸	319	侯侵	107	芽虎	2021
表迎	2022	咽哀	377	侶便	108	表迎	2022
近返	2023	品罔	378	係促	109	近返	2023
邱采	2089	型垣	379	俄俊	110	邱采	2089
金長	2129	奏契	380	俗保	111	金長	2129
門阜	2376	奔姦	381	俠信	112	門阜	2376
阻阿	2377	姦姪	382	冒冠	113	阻阿	2377
陀附	2378	姻姿	422	冠則	114	陀附	2378
雨青	2439	威客	441	刺前	115	雨青	2439
非	2468	宣室	442	勃勅	116	非	2468
	2475	封	491	勅勇	117		2475
	2522		511	勇勉	118		2522
	2523		512	勉南	119		2523
	2538		513		120		2538
	2541		537		121		2541
	2542		538		122		2542
	2543		540		123		2543
	2544		541		124		2544
	2587		542		125		2587
	2600		584		126		2600
	2603		585		127		2603
			586		128		
			615		129		
					130		

格栽桃	1173	悚悛	826	鳥峻	661	唄峻	386	倍倒	127
案桐桑	1174	悛悛	827	峻峻	662	峻峻	387	候倚	128
桓桑桓	1175	悟扇	828	峽差	663	唇唐	388	借借	129
殉殊氣	1176	扇拳	904	師席	679	唐埋	389	倡值	130
浦浪淫	1177	拳挨	941	席席	691	埋城	443	倦倫	131
浮浴海	1178	挨挫	948	婦婦	692	城夏	444	倭党	132
浸消涉	1179	挫振	949	座庫	693	夏套	492	兼冥	133
烈烏特	1266	振挺	950	庭庭	713	套姬	514	妻准	134
狹狼	1267	挺挽	951	莽莽	719	姬娘	539	凍剖	135
	1287	挽捕	952	弱徐	720	娘娛	543	剛劑	136
	1339	捕抄	953	徑徒	741	娛娠	544	剝匪	187
	1340	抄效	954	恐恕	753	娠孫	545	原員	201
	1341	效料	1021	恥恩	773	孫宮	567	哨哲	210
	1342	料旅	1040	恭息	774	宮宰	587		214
	1343	旅時	1053	恩恭	775	宰害	588		215
	1344	時書	1050	息恩	810	害宴	589		216
	1345	書曹	1107	恥恩	811	宴家	590		249
	1346	曹朕	1108	恩恭	814	家宸	591		250
	1347	朕怪	1118	恭息	816	宸容	592		251
	1449	怪栗	1167	息恩	818	容射	593		259
	1450	栗校	1168	恩恭	819	射屑	616		291
	1502	校株	1169	恭息	821	屑展	642		320
	1514	株核	1170	息恩	822	展峨	643		383
	1515	核根	1171	恩恭	824	峨峰	659		384
	1516	根	1172	恭息	825	峰	660		385

郊重	2440	胤苑	1955	砂祇	1654	炳点	1447	柔查	1159
陋降	2472	苑苔	2024	祇祈	1682	点爰	1448	查樞	1160
限面	2545	苔苗	2025	祈社	1683	爰牲	1482	樞柱	1161
革音	2546	苗苟	2026	社秋	1684	牲祗	1500	柱柳	1162
頁風	2547	苟若	2027	秋科	1707	祗狩	1501	柳柴	1163
飛食	2605	若苦	2028	科秒	1708	狩独	1512	柴柵	1164
首香	2606	苦英	2029	秒穿	1709	独珍	1513	柵殆	1165
	2610	英茂	2030	穿突	1736	珍醜	1537	殆段	1166
	2613	茂虐	2031	突窃	1737	醜甚	1553	段毒	1265
	2640	虐虹	2090	窃玢	1738	甚界	1554	毒泉	1273
	2642	虹袂	2097	玢耗	1748	界畏	1557	泉泰	1281
	2644	袂要	2132	耗竿	1749	畏畑	1569	泰洋	1317
	2661	要訂	2156	竿粗	1760	畑疫	1570	洋洗	1326
	2662	訂計	2171	粗籽	1792	疫癸	1571	洗洞	1328
		計計	2172	籽紀	1793	癸皆	1589	洞津	1329
		計貞	2173	紀約	1812	皆皇	1607	津洪	1330
		貞負	2269	約紅	1813	皇盆	1613	洪洲	1331
		負赴	2270	紅美	1814	盆盈	1614	洲洵	1332
		赴軌	2314	美者	1903	盈相	1617	洵活	1333
		軌軍	2337	者耐	1917	相盾	1618	活洽	1334
		軍迦	2338	耐胃	1919	盾省	1629	洽派	1335
		迦迫	2379	胃背	1951	省眉	1630	派流	1336
		迫迭	2380	背胎	1952	眉看	1631	流炭	1337
		迭述	2381	胎胞	1953		1632		1338
			2382		1954		1633		1446

十

乘修俱伴俵俸併倉個



梁梅梗條梢梨梯械欲殺毫涯液涵涼淋淑淚淡淨淬深淳混清	1181	探接控推掩措描敘教敏救敗斜斬斷旋族既晚晝晦龜朗望桶	967	彩彫得從御悉悠患悼情惇惜惟戚捧捨据捺掃授排掘掛掠採	762	堅堆婆婚婦宿寂寄密將專尉屏崇崎崩巢帳帶常庵庶康庸張	452	剩副動勗勸務匿區卿參唯唱商問啓啞圈國域執培基埼堀堂	253
	1182		968		763		453		254
	1183		969		776		546		270
	1184		970		777		547		271
	1185		971		778		548		272
	1186		972		823		594		273
	1187		974		829		595		295
	1188		1022		830		596		296
	1245		1023		833		597		316
	1274		1024		834		617		324
	1284		1025		835		618		390
	1348		1026		837		619		391
	1349		1041		838		644		392
	1350		1045		894		664		393
	1351		1046		955		665		394
	1352		1054		956		666		395
	1353		1055		957		674		423
	1354		1057		958		694		424
	1355		1081		959		695		445
	1356		1082		960		696		446
	1357		1083		962		721		447
	1358		1113		963		722		448
	1359		1119		964		723		449
	1360		1120		965		724		450
	1361		1180		966		754		451

釘釜針陸院陣除隻馬骨高鬼	2476	訊討訓託記豈豺財貢起躬軒辱迷迹追退送逃逆郎郡酌配酒	2174	耕耗胴胸能脂脅脇脈脊臭致航般茨茶茸草荒蚊蚕衰衷袖被	1920	祝神租秤秩称竝笑粉耗紊紋納紐純紗紘紙級紛素紡索缺翁	1690	玆珠班畔留畜畝畝畝疲疹疾病症益真眠矩砥砲破祐祓祕祖祚	1532
	2477		2175		1921		1691		1538
	2478		2176		1956		1710		1539
	2548		2177		1957		1711		1572
	2549		2178		1958		1712		1573
	2550		2259		1959		1713		1574
	2551		2266		1960		1750		1575
	2573		2271		1961		1761		1576
	2663		2272		1962		1794		1590
	2682		2315		1963		1795		1591
	2686		2335		1992		1815		1592
	2691		2339		1994		1816		1593
			2368		2006		1817		1594
			2383		2007		1818		1619
			2384		2032		1819		1634
			2385		2033		1820		1635
			2386		2034		1821		1650
			2387		2035		1822		1655
			2388		2036		1823		1656
			2389		2098		1824		1657
			2441		2099		1825		1685
			2442		2130		1826		1686
			2447		2131		1827		1687
			2448		2134		1890		1688
			2449		2135		1909		1689

十一畫

乾齋假偉偏偕停健側偵偶

閉陪陰陳陵陶陷陸雀雪頂頃飢魚鳥鹵鹿麥麻	2524	2552	2553	2554	2555	2556	2557	2558	2574	2588	2614	2615	2645	2696	2708	2723	2726	2729	2732						
訊豚貧貨販貪貫責赦軟透逐途通逝逞速造逢連部郵秋野釣	2183	2262	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2311	2340	2390	2391	2392	2393	2394	2395	2396	2397	2398	2399	2443	2444	2469	2473	2479
翌習聊脚脫舵舶舫船荷莊莖莫處蛇蛋術袋袴袷規訟訪設許	1910	1911	1923	1964	1965	2008	2009	2010	2011	2037	2038	2039	2040	2091	2100	2101	2123	2133	2136	2137	2160	2179	2180	2181	2182
祥票祭移窳窓竟章竇笛笠符第粒粕粗粘紫累細紹紺終絃組	1692	1693	1694	1714	1739	1740	1751	1752	1753	1762	1763	1764	1765	1796	1797	1798	1799	1828	1829	1830	1831	1832	1833	1834	1835
淺添濟烹焉爽牽猛貓率現球理瓶產畢略瘕痔痕眷眺眼眾研	1362	1363	1364	1451	1452	1486	1503	1517	1519	1533	1540	1541	1542	1555	1559	1577	1578	1595	1596	1597	1636	1637	1638	1639	1658

十二畫

傅傍傑傘	146	147	148	149
------	-----	-----	-----	-----

備傲凱割創勝勞募博厥霄善喉喚喜喪單喫圍堤堪報場塔壹	150	151	220	255	256	274	275	276	307	321	396	397	398	399	400	401	402	406	425	454	455	456	457	458	488
奢婿媒媚媛富寒寔尊尋就属嵐帽幅幾靡强弼復循悲悶惑惠	515	549	550	551	552	598	599	600	620	621	630	645	667	697	698	710	725	755	756	779	780	831	832	836	839
惡惱惰惶惻愉扉掌揃提插揚換握揭揮援敢散敦斐斯普景晴	840	841	842	844	845	849	905	961	973	975	976	977	978	979	980	981	982	1027	1028	1029	1038	1047	1084	1085	1086
晶智會替最朝期棄棉棋棒棚棟棧森棲棺椁椅植欺欽款齒殖	1087	1088	1109	1110	1111	1121	1122	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1246	1247	1248	1258	1268
殘殼淵渙減滌渠渡渥渦測港渴湊湖湧湯滿灣澆無焦焰然爲	1269	1275	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1453	1454	1455	1456	1483

牌猪	1491	稅程	1716	菊茵	2041	詞詠	2189	醉量	2450
猶琴	1518	竣童	1717	菓菜	2042	証象	2190	鈍開	2474
琴琵琶	1520	筆管	1754	華菱	2043	貯貲	2191	開閏	2480
甥甥	1543	等筋	1755	萌萎	2044	貳貴	2263	閏閑	2525
番畫	1544	筒答	1766	虛虜	2045	買貸	2279	間陽	2526
異疎	1545	策粟	1767	蛙蚤	2046	費貼	2280	陽隅	2527
疎痘	1560	粧結	1768	衆街	2047	貽賀	2281	隆隊	2528
痛痢	1579	絕絡	1769	裁裂	2048	賀超	2282	階雁	2559
登發	1580	給統	1770	裕補	2092	越距	2283	雅集	2560
盛盜	1581	絲着	1771	裡視	2093	軫軸	2284	雇雲	2561
短硝	1586	脹腎	1772	視訴	2102	逮週	2285	項順	2562
硝硫	1587	腔腕	1800	診詐	2103	進逸	2286	須黃	2563
硫硬	1598	腕舒	1801	詔評	2103	都	2287	黑	2575
硯稀	1599		1836		2103		2287		2576
	1600		1837		2121		2288		2577
	1608		1838		2124		2289		2578
	1609		1839		2138		2289		2579
	1620		1840		2139		2316		2589
	1621		1841		2142		2317		2616
	1651		1841		2143		2321		2617
	1659		1904		2145		2341		2618
	1660		1966		2161		2342		2733
	1661		1967		2184		2400		2734
	1662		1969		2185		2401		
	1662		1970		2186		2402		
	1715		2003		2187		2403		
					2188		2445		

十三畫

亂催	36	斟	1390	斟	1042	斟	628	亂催	36
俯傲	152	新暇	1391	新暇	1048	嗟幹	668	催俯	152
傳債	153	暑暖	1392	暑暖	1089	廉廊	706	俯傲	153
傷傾	154	暗會	1393	暗會	1090	廊微	726	傲傳	154
僅勸	155	柳椿	1394	柳椿	1091	微想	727	傳債	155
勢勤	156	檣檣	1395	檣檣	1092	想愁	781	債傷	156
嗣園	157	楯楯	1457	楯楯	1112	愁愆	843	傷傾	157
圓塊	158	極楷	1458	極楷	1202	愆愈	846	傾僅	158
塔塗	159	歲殿	1459	歲殿	1203	愈意	847	僅勸	159
塚塞	160	毀源	1460	毀源	1204	意愚	848	勸勢	160
塩奧	161	準溜	1461	準溜	1205	愚愛	850	勢勤	277
嫁嫉	162	溝溢	1462	溝溢	1206	愛感	851	勤嗣	278
嫌	163	溪溫	1463	溪溫	1207	感慎	852	嗣園	403
	164		1492		1208	慎慌	853	園圓	426
	165		1521		1209	慌裁	854	圓塊	427
	166		1522		1259	裁損	857	塊塔	459
	167		1523		1276	損搖	895	塔塗	460
	168		1525		1277	搖搜	983	塗塚	461
	169		1546		1383	搜搬	984	塚塞	462
	170		1582		1384	搬携	985	塞塩	463
	171		1601		1385	携搾	986	塩奧	464
	172		1622		1386	搾敬	987	奧嫁	516
	173		1640		1387	敬數	988	嫁嫉	553
	174		1641		1388		1030	嫉嫌	554
	175		1642		1389		1031	嫌	555

碁碇 1663  
碇碍 1664  
碍碎 1665  
碎碑 1666  
碑祺 1667  
祺祿 1695  
祿禁 1696  
禁禽 1697  
禽稗 1704  
稗稚 1718  
稚稜 1719  
稜稟 1720  
稟窟 1721  
窟絹 1741  
絹紹 1842  
紹綏 1843  
綏經 1844  
經繼 1845  
繼罪 1846  
罪對 1893  
對置 1894  
置群 1895  
群羨 1905  
羨義 1906  
義 1907

僧	166	雌	2580	較	2343	裝	2144	聖	1924
兢	188	零	2590	載	2344	裸	2147	聘	1925
厭	322	雷	2591	輛	2345	裾	2149	肅	1934
嘉	404	電	2592	辭	2363	解	2167	腦	1971
嘗	405	靖	2601	農	2369	触	2168	腫	1972
圖	428	靴	2607	逼	2404	詢	2192	腰	1973
團	429	頌	2619	遁	2405	詣	2193	腸	1974
塵	465	預	2620	遂	2406	試	2194	腹	1975
塾	466	頑	2621	遇	2407	詩	2195	腺	1976
境	467	頌	2622	遊	2408	詭	2196	與	1997
墓	468	頓	2623	運	2409	詮	2197	艇	2012
塹	469	飲	2646	遍	2410	詰	2198	菽	2049
壽	489	飯	2647	過	2411	話	2199	萬	2050
夢	500	馳	2664	遐	2412	該	2200	落	2051
奪	517	馴	2665	道	2413	詳	2201	葉	2052
獎	518	鳩	2709	達	2414	誇	2202	著	2053
嬭	556	鼓	2739	達	2415	豐	2260	葦	2054
瞬	568	鼠	2740	鄉	2446	賂	2290	葬	2055
察	601	十四畫		酬	2451	質	2291	葦	2056
寡	602	像	161	鈴	2481	賄	2292	虞	2094
寢	603	僑	162	鉛	2482	資	2293	號	2095
實	604	僕	163	鉢	2483	賊	2294	蛾	2104
寧	605	僚	164	鉄	2484	跡	2322	蜂	2105
對	622	僚	165	隔	2564	路	3323	裏	2140
屢	646	僞	165	隙	2565	跳	2324	裔	2141

貌	2267	蒐	2057	筭	1774	漏	1402	幕	699
賑	2295	蒔	2058	箕	1775	漑	1403	廓	728
賓	2296	蒙	2059	算	1776	演	1404	弊	742
赫	2312	蒸	2060	管	1777	漕	1405	彰	764
踊	2325	蒼	2061	粹	1802	漠	1406	慈	855
輓	2346	蓄	2062	精	1803	漢	1407	態	856
輔	2347	蓋	2063	綜	1847	漫	1408	慘	859
輕	2348	蜜	2106	綠	1848	漬	1409	慢	860
遙	2416	裳	2146	綬	1849	漸	1410	慣	861
遜	2417	製	2148	維	1850	煽	1464	慨	863
遞	2418	複	2150	綱	1851	熊	1465	摘	989
遠	2419	褐	2151	網	1852	熔	1466	摸	991
邈	2420	誌	2203	綴	1853	爾	1487	旗	1056
遣	2421	認	2204	綸	1854	獄	1524	榮	1210
醇	2452	誓	2205	綾	1855	疑	1588	構	1211
酷	2453	誕	2206	綿	1856	盡	1623	槌	1212
酸	2454	誘	2207	緊	1857	監	1624	槍	1213
銀	2485	語	2208	罰	1896	碧	1668	柶	1214
銃	2486	誠	2209	署	1897	禍	1698	歌	1249
銅	2487	誠	2210	聞	1926	福	1699	滯	1396
銑	2488	誤	2211	肇	1935	種	1722	滴	1397
銓	2489	誥	2212	腐	1968	稱	1723	滿	1398
銘	2490	誦	2213	膏	1977	竭	1756	漁	1399
銜	2491	說	2214	臺	1995	端	1757	漂	1400
閣	2529	豪	2264	舞	2004	箇	1773	漆	1401

澄熟熱盤	1419	數暫暮暴	1034	德徹慕慧	783	儉劇贈	170	閨闕際	2580
嶼確磁磐	1467	概槽樂榼	1093	慮慰慶	784	噲墜增	257	障需頗	2531
稻稼稽稿	1468	樓標樞樟	1094	憂憎憚	858	壘墮墳	407	領頰頰	2566
窰箱箸節	1625	模樣歎歐	1095	憤戮摩	862	趨審寫	408	餽飽飾	2567
範築糊糲	1643	歎歐毆	1215	摹熬撒	864	層履幡	470	餽飽飾	2593
緒線締	1669	潑潔潛	1216	撫播撮	865	幣廟廠	471	頰領頰	2624
	1670	渴潤湖潰	1217	撰撲敵	866	廢廣彈	472	頰領頰	2625
	1671	澁	1218	敵敷	867	影徵	473	頰領頰	2641
	1724		1219		868		474	頰領頰	2648
	1725		1220		869		474	頰領頰	2648
	1726		1221		870		493	頰領頰	2649
	1727		1222		871		606	頰領頰	2650
	1728		1223		872		607	頰領頰	2651
	1742		1224		896		608	頰領頰	2666
	1743		1250		990		609	頰領頰	2667
	1778		1251		992		647	頰領頰	2668
	1779		1278		993		648	頰領頰	2692
	1780		1411		994		700	頰領頰	2710
	1781		1412		995		701	頰領頰	2711
	1782		1413		996		729	頰領頰	2741
	1804		1414		997		730	頰領頰	2742
	1805		1415		998		731	頰領頰	
	1858		1416		999		732	頰領頰	
	1859		1417		1032		757	頰領頰	
	1860		1418		1033		765	頰領頰	
							782	頰領頰	

十五畫

憚戰擁擇	881	儒冀凝	171	遮遲醇	2424	調詔談	2219	緣編緩	1861
操擔據整	897	劑劬叅	202	醉銳鋒	2425	請諒論	2220	緬緯練	1862
暨曆曇曉	1000	噴噸塙	217	鋤鋪鈺	2455	賜賞賠	2221	緝緝練	1863
樹樺樟橋	1001	壘墮墳	258	閱隣震	2456	賢賣賤	2222	緝緝練	1864
橘機橫歷	1003	壘墮墳	259	鞍鞏養	2492	賦質趣	2223	緝緝練	1865
燈彈澤澗	1004	壘墮墳	259	餌駐駒	2493	踏踐輻	2224	緝緝練	1866
激	1005	壘墮墳	334	駕髮魄	2494	輻輝輦	2297	緝緝練	1867
	1035	壘墮墳	409	魅齒	2495	輦輦輦	2298	緝緝練	1898
	1096	壘墮墳	410		2496	輦輦輦	2299	緝緝練	1899
	1097	壘墮墳	411		2496	輦輦輦	2300	緝緝練	1978
	1098	壘墮墳	475		2532	輦輦輦	2301	緝緝練	1979
	1099	壘墮墳	476		2568	輦輦輦	2302	緝緝練	1980
	1225	壘墮墳	477		2594	輦輦輦	2303	緝緝練	2064
	1226	壘墮墳	478		2608	輦輦輦	2304	緝緝練	2065
	1227	壘墮墳	494		2609	輦輦輦	2318	緝緝練	2066
	1228	壘墮墳	519		2652	輦輦輦	2326	緝緝練	2067
	1229	壘墮墳	569		2653	輦輦輦	2327	緝緝練	2107
	1230	壘墮墳	610		2669	輦輦輦	2327	緝緝練	2108
	1231	壘墮墳	623		2670	輦輦輦	2349	緝緝練	2109
	1360	壘墮墳	758		2671	輦輦輦	2350	緝緝練	2125
	1270	壘墮墳	873		2687	輦輦輦	2351	緝緝練	2152
	1271	壘墮墳	874		2693	輦輦輦	2352	緝緝練	2215
	1420	壘墮墳	875		2694	輦輦輦	2353	緝緝練	2216
	1421	壘墮墳	876		2744	輦輦輦	2354	緝緝練	2217
	1422	壘墮墳	878			輦輦輦	2422	緝緝練	2218

十六畫

藍藏	2079	壘戴	481	鍛	2510	臨舉	1990	獲環	1527		
蟬蟲	2080	擴	899	鍬	2511	舉	1999	環	1547		
襟	2112	擾	1008	鍵	2512	艱	2015	療	1602		
覆	2113	斷	1009	閤	2533	薄	2071	痛	1603		
謨	2153	曜	1049	閤	2534	薙	2072	瞬	1644		
謬	2157	濾	1100	隱	2571	薦	2073	瞭	1645		
謹	2242	瀆	1431	隸	2572	薨	2074	矯	1652		
豐	2243	瀆	1432	雖	2581	薪	2075	磯	1673		
蹟	2244	瀆	1433	霜	2595	膾	2236	礁	1674		
蹤	2261	爵	1484	霞	2596	謗	2237	禪	1701		
轉	2329	獵	1528	餅	2657	謙	2238	糞	1807		
醫	2330	癖	1604	館	2658	講	2239	縫	1872		
醫	2360	癘	1605	駿	2672	謝	2240	縮	1873		
醬	2462	礎	1675	聘	2673	謠	2241	縱	1874		
鏃	2463	禮	1702	鮭	2699	購	2307	總	1875		
鎖	2513	簡	1784	鮮	2700	趨	2319	績	1876		
鎮	2514	糧	1808	鴻	2713	與	2358	繁	1877		
鎮	2515	織	1878	鴉	2714	轄	2359	翼	1913		
闕	2535	縉	1879	黠	2736	遽	2431	聯	1927		
雙	2582	繡	1880	點	2737	避	2432	聰	1928		
雛	2583	職	1930	齋	2743	邁	2433	聲	1929		
雜	2584	舊	2000	十八畫				還	2434	膺	1983
題	2631	薯	2076					儲	174	醜	2461
額	2632	藁	2077	叢	335	鍊	2508	膿	1985		
頤	2633	藉	2078			鍋	2509	臆	1986		

應懋	879	頰	2627	辨	2364	蕃	2069	濁	1423
戲	880	頰	2628	遵	2426	蕩	2070	濃	1424
擊	898	頰	2629	遷	2427	融	2110	燃	1469
擦	1002	頰	2630	選	2428	螢	2111	燈	1470
擬	1006	餐	2654	遺	2429	衛	2126	燐	1471
斂	1007	餓	2655	遼	2430	衡	2127	燒	1472
檣	1036	餘	2656	醍	2457	親	2162	燕	1473
檀	1232	骸	2683	醐	2458	諜	2225	獨	1526
檄	1233	鮎	2697	醒	2459	諧	2226	磨	1672
檜	1234	鮎	2698	醜	2460	諫	2227	禦	1700
檢	1235	鴨	2712	鋼	2497	諭	2228	積	1729
齡	1236	默	2735	錄	2498	諮	2229	穗	1730
歸	1261	龍	2746	錚	2499	諸	2230	窺	1744
濕	1262	龜	2747	錠	2500	諺	2231	篤	1783
濟	1425	十七畫		錢	2501	諾	2232	糖	1806
濤	1426	償	172	錦	2502	謀	2233	縊	1868
濫	1427	優	173	鋪	2503	謁	2234	縛	1869
灌	1428	勵	280	錫	2504	謂	2235	縞	1870
濱	1429	壓	479	錫	2505	豫	2265	縣	1871
營	1430	壓	480	錯	2506	賭	2305	罹	1900
燥	1474	壕	669	隨	2507	賴	2306	翰	1912
燦	1475	嶺	670	險	2569	蹄	2328	膨	1981
燭	1476	嶽	670	靜	2570	輯	2355	膳	1982
牆	1477	彌	759	頭	2602	輸	2356	興	1998
	1488	懇	877		2626	輻	2357	蔽	2068

顏	2634
顏騎	2674
閱	2688
鯉	2701
鵝	2715
<b>十九畫</b>	
勸	281
嚮	412
壞	482
愆	882
懷	883
曠	1101
櫓	1237
櫛	1238
瀨	1434
瀨	1435
爆	1478
獸	1529
璽	1548
瓊	1549
疆	1583
礙	1676
禱	1703
穩	1731

稜	1732
簿	1785
繩	1881
繪	1882
繫	1883
蘭	1884
燥	1885
羅	1901
藝	2081
藤	2082
藥	2083
藩	2084
蟻	2114
蠅	2115
弱	2158
證	2245
識	2246
譜	2247
贈	2308
贊	2309
蹴	2331
蹶	2332
辭	2365
邊	2435
酸	2464

鏡	2516
關	2736
離	2585
難	2586
霧	2597
靡	2604
韻	2611
願	2635
顛	2636
類	2637
鯛	2702
鯨	2703
麓	2727
麗	2728
麴	2730
<b>二十畫</b>	
巖	413
壞	483
孃	557
寶	611
懸	884
隴	1123
瀾	1436
爐	1479

犧	1504
獻	1530
礪	1677
競	1758
籍	1786
繼	1886
纂	1887
耀	1914
艦	2013
蘭	085
藻	2086
蘇	2087
覺	2163
觸	2169
警	2248
譯	2249
議	2250
醱	2465
釋	2470
鐘	2517
露	2598
籠	2659
騰	2675
駮	2676
鬪	2689

麵	2731
黨	2738
齡	2745
<b>二十一畫</b>	
屬	649
懼	885
攜	1010
攝	1011
囊	1102
櫻	1239
欄	1240
殲	1272
灌	1437
癩	1606
籐	1787
續	1888
蘭	2088
蠟	2116
覽	2164
護	2251
譽	2252
躍	2333
轟	2361
辯	2366

鐵	2518
關	2537
顧	2638
繡	2643
驅	2677
魔	2695
鯛	2704
鶯	2716
鶴	2717
鷓	2718
鷄	2719
<b>二十二畫</b>	
囊	414
懿	886
權	1241
歡	1252
竊	1745
籠	1788
聰	1931
聾	1932
臍	1987
蠹	2117
襲	2154
讀	2253

鑄	2519
鑑	2520
響	2612
饗	2660
驕	2678
鯨	2705
鰻	2706
<b>二十三畫</b>	
戀	887
攪	1012
疊	1584
籤	1789
織	1889
變	2254
鑽	2521
顯	2639
驗	2679
驚	2680
驛	2681
髓	2684
體	2685
鯨	2707
鶯	2720
鷹	2721

<b>二十四畫</b>	
喝	415
攪	1013
籬	1790
籬	1891
蠶	2118
讓	2255
讓	2466
靈	2509
鹼	2724
鹽	2725
<b>二十五畫</b>	
應	733
灣	1438
蠻	2119
觀	2165
蒙	2467
<b>二十六畫</b>	
讀	2256
<b>二十七畫</b>	
鷓	2722

<b>二十九畫</b>	
鬱	2690

一部

【一】イツ

●ひとつ。●はじめ。●おなじ。「かず」とも読む。

【一一】イチ ひとつひとつ。

こまかに。

【一入】シホ ヒときは。いつそう。いちだん。「一」。

【二寸】イツ 一尺の十分の

【二寸の光陰】 イツスンノ 少しばかりの時間。

【二寸】ツト ●すこし。わづか。●しばらく。

【一下】イツ 一たびくだる。

【一介】カイツ ●少しばかり。●つまらぬ。●ひとり。

【一己】コイツ じぶんひとり。

【一日】イツ ●月のはじめ。ついたち。●あさからばんまで。いちにち。●ある日。

【一心】イツ 心を一方にだけ向けること。

【一心不乱】フラジシ 心を一つにきめて、他のことに見だされないこと。

【一天】イツ そらぜんたい。

【一切】サイ のこらず。

【一片】ベン ひときれ。

【一世】セイ その時代。

【一世一元】イツセイ 天皇の御一代に年號が一つだけであること。

【一生】シャウ 生まれてから死ぬまでのあひだ。

【一生懸命】ケンメイ 一生懸命の心を一心(イチ)になつてすること。

【一代】ダイ ●人の一生。●その時代。●一世。

【一旦】タン ひとたび。

【一半】パン はんぶん。

【一存】ゾン 自分ひとりのかんがへ。「こらず」。

【一式】シキ ひとそろひ。のんがへ。

【一夕】セキ ひとばん。

【一行】カウ ●ひとむれ。●ひとつづき。●一列。●一つのおこなひ。「り」。

【一行】ギヤウ 文字ひとくだ

【一同】ドウ みなのも。ぜんたい。

【一任】イチ まかせきり。

【一向】カウ ●すこしも。●ひたすら。

【一曲】キョク ひときり。いちだん。(音楽などの)

【一系】ケイ 一つのちすぢ。

【一見】ケン ●ひと目見ること。●ちよつと見たところ。●一どあふこと。「の」。

【一味】イチ 同じみかたのもぬり。ひととはけ。ひとや雲のたなびいてゐるさまにいふ)

【一念】イチ ある一つのこと

【一物】モノ あるたくらみ。

【一周】シウ ひとまはり。

【一門】モン みうち。

【一定】テイ ひとつにきまること。

【一丸】ゲワン ひとまるめ。ひとかたまり。

【一括】クワツ ひとくくり。ひとまとめ。



【一律】イツ 同じ調子(音調)。◎おなじぐあひ。  
 【一首】イツ 詩や歌の一つ。  
 【一品】イツ ◎ひとしな。◎一ばんよいしな。  
 【一品】イツ ◎かかし親王(親)の位の第一。  
 【一面】イツ ◎かたがは。◎一方。◎見わたすかぎり。  
 【一面識】イツメン 一ど顔を合はせただけのしりあひ。  
 【一流】イツ 一ばん。一等。  
 【一家】イツ ◎家のものみんな。◎ひとかどの流儀(りぎ)。  
 【一派】イツ 一つのわかれ。一つの流儀(りぎ)。  
 【一陣】イツ ひとしきり。  
 【一時】イツ ◎ひととき。しびらくの間。◎同じとき。◎あるとき。

【一時的】イツジ その時かぎりの。  
 【一脈】イツ ひとすぢ。  
 【一致】イツ 一つになる。心をあはせる。  
 【一般】イツ すべて。ぜんた  
 【笑】イツ わらひぐさ。  
 【一員】イツ ひとり。  
 【一氣】イツ ひとおもひに。ひといきに。  
 【一氣呵成】イツキ ひといきに文章を書いてしまふこと。又、ひといきに事を成しとげることにいふ。  
 【一條】イツ ひとすぢ。  
 【一座】イツ その場にある人ぜんたい。藝人の一だんた  
 【一族】イツ みうち。「い。  
 【一途】イツ かなじみち。

【一途】イツ ひとすぢ。  
 【一毫】イツ ◎一本の毛。◎すこしばかり。「め。  
 【一眸】イツ ひとめ。一なが  
 【一帯】イツ ◎ひとすぢ。ひとつづぎ。◎そのあたりすべ。  
 【一掬】イツ ひとすくひ。  
 【一期】イツ 人の一しやうがい。  
 【一揆】イツ 人民がなかまをくんでおかみにてむかふこと。  
 【一統】イツ ◎ひとつにまとめる。◎みなみな。  
 【一朝】イツ ひとたび。  
 【一朝一夕】イツセキ わづかのあひだ。  
 【一斑】イツ 一部分。

【一票】イツ ふだ一枚。  
 【一筆】イツ みじかい手紙。簡單(かんたん)な文。  
 【一圓】イツ ◎そのあたりすべ。◎一圓の百倍。  
 【一意】イツ 心をほかにちらさないこと。「しくする。  
 【一新】イツ すつかりあたら  
 【一齊】イツ いっしょに。  
 【一篇】イツ 詩や文の一つ。  
 【一概】イツ ひとくるめに。ひきくるめて。  
 【一對】イツ 二つで一組(は)となるもの。  
 【一輪】イツ 花一つ。  
 【一層】イツ ひときは。  
 【一興】イツ 一つのおもしろみ。なぐさみ。  
 【一瞬】イツ ひとまたた

き。ちよつこのま。

【一縷】イツ ひとすぢ。(わづかなことにいふ)  
 【一躍】イツ ひととび。いつそくとび。  
 【一覽】イツ 一ど見る。◎ちよつと見る。◎一とほり見る。  
 【一體】イツ ◎同じからだ。◎すべて。◎もともと。  
 【一變】イツ すつかりかはる。  
 【一きは】イツ 一そら。一だん。(一際)  
 【一だん】イツ 一つそら。ひとときは。(一段)  
 【一散に】イツ ◎あとも見ず。  
 【一かど】イツ 一人前。ひときはすぐれること。(一腰)  
 【一丁字】イツ 一つの文

【一口話】イツ ちよつとしたはなし。みじかいはなし。  
 【一切經】イツサイ 佛教の書物七千餘巻をあつめたもの。  
 【一目散】イツ wakeもふらずにいそぐさま。いつさんに。ひとすぢに。  
 【一世紀】イツ 西洋で紀元(き)をかぞへるのにつかふことば。百年をいふ。  
 【一段落】イツ ひときり。ひとしきり。  
 【一大事】イツ 一つの大きな出来事。大へんな事。  
 【一兩日】イツ 一日二日。  
 【一部分】イツ ぜんたいの中。いくぶん。かたはし。  
 【一騎打】イツキ 一人づつ向

かひあつて勝負をすること。  
 【一輪車】イツリン 輪が一つの車。  
 【一刀兩斷】イツタワン うちで物を二つにちぎること。思ひきりのよいことにいふ。  
 【一わたり】イツ いちおう。ひととほり。  
 【一衣帶水】イツイ 帯(おび)のやうにはばのせまい河(か)や海。  
 【一知半解】イツチ なまものしり。ちよつとばかりのものしり。  
 【一望千里】イツバウ ひと目で遠くまで見たさされるひろい景色。  
 【一瀉千里】イツシャ 河の水が一ながれで千里を走るといふので、文章などの力強くてとどこほらないこと

にいふ。  
 【一舉兩得】イツキョ 一つの事をして二つの利益のあること。  
 【一攫千金】イツタワク つかみに千金を得る。(一時にたくさん利益を得ることにいふ)  
 【一進一退】イツシン すすんだりしりぞいたり。  
 【一視同仁】イツジン みなの人をおなじ心でおなじやうに見る。  
 【一大革新】イツダイ 大いにあらためて、あたらしくすること。  
 【一汁一菜】イツジフ しろが「わん、おさいが一さらで、てがるな食事のこと。  
 【一旦緩急】イツタン 思ひもよらぬとき。急にさしさまつた場合。  
 【一筆啓上】イツビツ ひと

とふで申し上げます。(手紙のはじめに書くことば)

【一場の夢】イナヂヤウ その場かぎりのあとかたもない夢。はかないこと。

【一方ならず】ナラズ 一とほりならぬ。なみなみならぬ。

【一事が萬事】イナジガ 一つの事のありさまをもつて他のすべての場合(カシ)をおして知ること。

【一驚を喫す】イツキヤウ びっくりする。

【一敗地に塗る】イツバイ 一たたかひにまけて見るかげもなくなる。

【一天萬乗の君】イツテンウノ 天子。

【一擧手一投足】イツキョソク 一ど手をあげ一ど足をなげ出すといふことで、わ

づかのほねをりをいふ。【一にして二にあらず】イナニシテ おなじであつて別のものではない。おなじであることをいふ。

一 畫

【丁】テイ チヤウ

【丁年】テイ 一人前の男。二十歳。  
【丁度】テイ ①さながら。②まるで。③をりよく。④工合(カマ)よく。⑤ほどよく。  
【丁稚】テイ 商家(カシ)など

につかはれてゐる子供。【丁寧】テイ ねんを入れる。てあつくする。

二 畫

【七】シチ

【七夕】シチ 陰曆(イナリ)七月七日の夜。星まつり。たなばた。  
【七色】シチ 紫・紺(アヲ)・青・緑・黄・柑(カキ)・赤の七いろ。  
【七夜】シチ 子供が生まれて七日目の祝の夜。  
【七草】シチ 春の七草は、せり・なつな・ごぎやう・はこべ・ほとけのざ・すずな・すずしろ。秋の七草は、はぎ・をばな・くず・なでしこ・をみなへし・ふぢばかま・あさがほ。

【七曜】シチ 日・月・火・水・木・金・土。

【七五三】シチゴ 祝のとき用ひるめでたいかず。しめなは。

【七福神】シチフクジン 大黒天(オホコウテン)・毘沙門天(ヒサモンテン)・辨財天(ベンサイテン)・福祿壽(フクリウジュ)・壽老人(ジュウロウジン)・布袋和尚(ブツイ)。



【七顛八倒】シチテンハツタウ 何處もころびたふれること。ころげまはつて苦しきもたえること。

三 畫

【丈】チャウ

【丈六】チャウ 一丈六尺。【丈八】チャウ 一丈八尺。

【丈夫】チャウ 男子。ますらを。

【丈夫】チャウ たつしや。つよい。

【丈餘】チャウ 一丈あまり。

五 画

【三公】サン 太政大臣(オホタカ)・左大臣・右大臣。

【三伏】サン 夏のいちばんあつところ。

【三旬】サン ①上旬・中旬・下旬。②三十日。

【三府】サン 東京府が東京都と定められる前まで、東京府・京都府・大阪府の三つの府を三府と云つた。

【三更】サン 夜の十二時。①よなか。  
【三昧】サン 心を一つのこと

【三春】サン 春の三箇月。

【三景】サン 三つのよいけしき。(日本三景は松島・天の橋立・嚴島)

【三軍】サン ①むかし支那で大諸侯が出す定めになつて居た軍隊。(一軍は一萬二千五百人)②すべての軍隊。

【三省】サン たびたび自分のおこなひをかへりみること。

【三韓】サン ①馬韓(マコ)・辰韓(チン)・弁韓(ベン)の三國。②高麗(コ)・百濟(ハク)・新羅(シン)の三國。

【三綱】サン 君臣・父子・夫婦のあひだがら。「人。三傑」サン 三人のすぐれたこと。

【三國一】サンゴク 世界一。(むかしは世界といへば日

【三寒四温】サンカン 三日ほどさむい日がつづき、その後四日ばかりあたたかい日がつづくこと。

【三三五五】サンサン ちりちりに三人五人と人の見えるさまをいふ。

【三種の神器】サンシュ 皇位のみしるしとして、代代天皇がおつたへになる御寶物。八咫鏡(ヤタノカミ)・八坂瓊曲玉(ヤマトノタマ)・草薙劍(クサナギ)。

【三十一文字】サンジュウイチモジ 和歌。短歌。五・七・五・七・七の三十一文字から成つてゐるのでかういふ。

【三人寄れば文殊の智慧】サンニンヨレバ 一人ではどうにも考へきれないことでも、三人もして考へればいよくふりがらふ、といふこと。

六 画

【上】シヤウ ①かみ。②うへ。③あがる。④のぼる。⑤あく。⑥のぼす。⑦たてまつる。⑧ほとり。

【上人】シヤウ 僧をうやまふことば。

【上下】シヤウ ①うへした。②のぼりくだり。③往きとかへり。

【上下動】シヤウ 地震(シム)のとき地盤(チダン)が上下にゆれること。

【上下】シヤウ 身分(ブン)のたかい人とひくい人。

【上下一致】シヤウカ 上のものも下のものも心を一つにすること。



【上下】シヤウ

●徳川時代の禮服。

【上巳】<sup>ジャウ</sup> 陰曆三月の初めの巳(い)の日。●陰曆三月三日の節句(ひな)。

【上手】<sup>ジャウ</sup> たくみなこと。●てぎはの上のこと。

【上世】<sup>ジャウ</sup> 次におなじ。

【上古】<sup>ジャウ</sup> おほむかし。

【上代】<sup>ジャウ</sup> 前におなじ。

【上申】<sup>ジャウ</sup> おかみに申し上げる。

【上告】<sup>ジャウ</sup> 三度目の裁判をうづたへること。

【上品】<sup>ジャウ</sup> ひんがよい。

【上官】<sup>ジャウ</sup> うはやく。

【上表】<sup>ジャウ</sup> 自分がかんがへを書いて天子にたてまつること。

【上京】<sup>ジャウ</sup> みやこへのぼること。むかしは地方から京都(キョウ)へ行くこと。今は東京へ行くこと。

【上旬】<sup>ジャウ</sup> 月の一日から十日まで。

【上肢】<sup>ジャウ</sup> 手。

【上途】<sup>ジャウ</sup> かどで。しゆつぱつ。

【上意】<sup>ジャウ</sup> 君のおほしめ。

【土皇】<sup>ジャウ</sup> 位をおゆづりになつた天皇。行くこと。

【上落】<sup>ジャウ</sup> 京都(キョウ)へけること。

【上奏】<sup>ジャウ</sup> 天子へ申し上げること。

【上書】<sup>ジャウ</sup> 自分のかんがへを書いて役所(やくしょ)にたてまつること。

【上流】<sup>ジャウ</sup> ●かはかみ。●身分のたかい人。

【上院】<sup>ジャウ</sup> 貴族院(キョウ)。

【上聞】<sup>ジャウ</sup> 天子の御耳に入ること。

【上達】<sup>ジャウ</sup> 上手になること。●進歩(しんぱ)すること。

【上弦】<sup>ジャウ</sup> 陰曆(イン)七日八日ごろの月。ゆみはりづき。●(カ)すること。

【上梓】<sup>ジャウ</sup> 書物を出版すること。

【上陸】<sup>ジャウ</sup> 船から陸へ上ること。

【上研潮】<sup>ジャウ</sup> アグとしてくるしは。だんだん満潮(マン)になつてゆくしほ。

【上甲板】<sup>ジャウ</sup> 船のいちばん上のかんばん。

【上を下への(うわさ)】<sup>ジャウ</sup> ヘノサワガ。土のものを下に、下のものを上にするやうな大へんなざわざ。

【下】<sup>カ</sup> ●した。●しも。●あと。●さがる。●くだる。●おろる。●さぐ。●くだす。●おろす。

【下士】<sup>カ</sup> 陸軍では曹長・軍曹・伍長。海軍では上等兵曹・一等兵曹・二等兵曹。

【下水】<sup>カ</sup> 使(こ)つてきたなくなつた水をながすみぞ。どぶ。

【下女】<sup>カ</sup> めしつかひの女。

【下手】<sup>カ</sup> ●まづい。つたない。

【下男】<sup>カ</sup> めしつかひの男。

【下草】<sup>カ</sup> 草からおろる。

【下知】<sup>カ</sup> いひつけ。さしづ。めいれい。

【下品】<sup>カ</sup> ひんがない。い

【下位】<sup>カ</sup> ●したのくらゐ。ひくいやく。●下の方。

【下命】<sup>カ</sup> めいれいをくだす。いひつける。

【下問】<sup>カ</sup> 自分よりめしたのものにたづねる。

【下部】<sup>カ</sup> 下の方。「男」

【下部】<sup>カ</sup> めしつかひのベシモ。

【下肢】<sup>カ</sup> 足。

【下痢】<sup>カ</sup> はらくだり。

【下降】<sup>カ</sup> くだる。おろる。さがる。

【下弦】<sup>カ</sup> 陰曆(イン)二十二三日頃の半圓の月。

【下旬】<sup>カ</sup> 月の二十一日から終りまで。

【下劣】<sup>カ</sup> いやしい。

【下流】<sup>カ</sup> ●かはしも。●

身分のひくい人。

【下界】<sup>カ</sup> 人の住むところ。人間界(ニョウ)。

【下婢】<sup>カ</sup> めしつかひの女。

【下落】<sup>カ</sup> 物のねだんのやすくなること。「男」

【下僕】<sup>カ</sup> めしつかひのボク。

【下層】<sup>カ</sup> したの方。

【下賤】<sup>カ</sup> みぶんのいやしいもの。「たまはること」

【下賜】<sup>カ</sup> 天子などから物をくだしぐすり。

【下劑】<sup>カ</sup> くだしぐすり。

【下襲】<sup>カ</sup> したぎ。東帯(トウ)の時下にきるもの。

【下手人】<sup>カ</sup> 人をころした本人。

【下情上達】<sup>カ</sup> じやウタツしものやうすがお上(カ)にわかるやりにする。

【下情上通】<sup>カ</sup> じやウツウまへにおなじ。

【万】<sup>マン</sup> 萬(マン)部九畫(マン)の簡易字體。●(カ)を見よ。

【不】<sup>フ</sup> ずぬ。せず。あらず。しからず。下の字の意味をうち消す字。

【不才】<sup>フ</sup> おろか。才智(チ)のないこと。

【不日】<sup>フ</sup> 近いうちに。

【不毛】<sup>フ</sup> 草木の生えぬあれ地。

【不用】<sup>フ</sup> いらぬ。つかは

【不平】<sup>フ</sup> へい 氣に入らない。ふそくに思ふ。

【不可】<sup>カ</sup> よくない。いけな

【不可能】<sup>カ</sup> ノカ ともできな

【不可解】<sup>カ</sup> カイ わけがわから

【不可思議】<sup>カ</sup> シギ 「不思議」

【不安】<sup>フ</sup> 氣がかり。しん

【不利】<sup>フ</sup> ためにならぬ。そ

【不肖】<sup>フ</sup> ●おろか。●自

【不治】<sup>フ</sup> なほらない。

【不幸】<sup>フ</sup> ●ふしあはせ。●み

【不幸中の幸】<sup>フ</sup> フカウチュ

●ふしあはせの中でもまづ

まづよい方である、といふ

意味。

【不作】フ サク 作物〔サツ〕のできがわるいこと。「き」。

【不束】フ ツツカ ぶゆきとど

【不和】フ 仲のわるいこと。

【不在】フ ザイ いるす。

【不吉】フ キツ めでたくない。えんぎがわるい。

【不明】フ メイ ●はつきりせぬ。●あたまがわるい。

【不法】フ ハフ 道にはづれる。ふとどき。

【不快】フ クワイ ●おもしろくない。●病氣〔ヤ〕。

【不朽】フ キウ ながく世にのこりつたはる。

【不足】フ ソク ●たらぬ。●氣に入らぬ。

【不便】フ ベン 便利でない。思ふやうにならぬ。

【不問】フ モン ゆるして問ひた

ださないこと。

【不問に附す】フ モン セメ ないことにする。

【不具】フ グ ●かたは。●そろはぬこと。足らぬこと。手紙のをはりに書くことば。

【不祥】フ シャウ めでたくない。えんぎがわるい。

【不詳】フ シャウ つまびらかでない。よくわからぬ。

【不備】フ ビ そなはらぬこと。足らぬこと。手紙のをはりに書くことば。

【不服】フ フク したがはぬ。もつともと思はぬ。「き」。

【不時】フ ジ 思ひがけないと

【不時着陸】フ ジヤク リク 航空機が豫定〔ヨ〕しないので臨時に地上に下りつくこと。

【不時着陸地点】フ ジヤク リク チヤン チ 不時着陸の航空機の下り

つくところ。

【不義】フ ギ 道にそむくこと。

【不滅】フ メツ ほろびない。無くならない。

【不遇】フ グウ ふしあはせ。

【不埒】フ ラチ ふとどき。不都合〔ゴ〕。

【不例】フ レイ 身分の高い人の病氣をいふことば。

【不逞】フ テイ おこなひのよくないこと。不平をもつこと。

【不敵】フ テキ 物事におそれない。

【不圖】フ ト おもひがけなく。

【不興】フ キョウ ●おもしろみがない。●きげんがわるい。

【不動】フ ドウ うごかない。

【不振】フ シン ふるはない。いきほひがあらぬ。

【不審】フ シン がてんがゆかない。

【不慮】フ リョ 思ひがけない。

【不満】フ マン 氣に入らない。不足に思ふ。「てみない」。

【不徳】フ トク 身に徳をそなへ

【不測】フ ソク はかり知られない。

【不運】フ ウン ふしあはせ。

【不豫】フ ヨ 天子の御病氣。

【不磨】フ マ いつまでもきえな

【不覺】フ カク うっかりしてゐ

【不寐】フ シツケ ぎやうぎのわるいこと。不作法〔サ〕。

【不實】フ ジツ ●まことでないこと。いつはり。●しんせつげがない。はくじやう。

【不潔】フ ケツ きたない。

【不遜】フ ソン おごりたかぶる。「い」。

【不穩】フ ブン おだやかでない。

【不斷】フ ダン ●たえず。いつも。●平生〔シ〕。●思ひきりがよくない。

【不世出】フ セイ めつたに世の中に出ないといふこと。で、きはめてすぐれてゐることにいふ。「す」。

【不如歸】フ キ ジョ ほととぎ

【不如意】フ ニヨ ●思ふままにならぬ。「い」。●くらしむきがらくでない。「ない」。

【不透明】フ トウ すぎとほら

【不名數】フ メイ 單位のない普通の數。

【不作法】フ ハフ ゼんさいなふるまひをすること。

【不信任】フ シン 安心してま

かしておかれぬ。

【不夜城】フ ヤウ ともしびの光がかがやいて、夜も晝のやうにあかるいにぎやかなところ。

【不相应】フ サウ つりあはない。似合はしくない。

【不得意】フ トク ヘた。

【不得手】フ テ フエ うまくない。

【不倒翁】フ タウ おきあがりこぼし。

【不調法】フ テウ ●物事にゆきとどかぬ。ふつつか。●あやまち。そこつ。

【不思議】フ シ おもひはかられないこと。がてんのいかぬこと。

【不凍港】フ カウ 多でも氷のはらない港。

【不動産】フ ドウ 土地や家屋などのやうに、その在る場

所をかへることの出来ない財産〔ザン〕。

【不都合】フ ゴウ ●都合がわるい。●ふとどき。ふらち。

【不敬罪】フ ケイ 皇室に對し奉つてふれいになることをした罪〔ジ〕。

【不導體】フ タイ 熱や電氣をよくみちびかないもの。

【不愉快】フ クワイ おもしろくない。心もちがわるい。

【不屈不撓】フ タツ 心をまげずにどこまでもやりとほす。

【不得要領】フ トク 要領〔リョ〕を得ぬ。あいまいでつかまへどころがない。

【不歸の客】フ キノ 死んだ人のこと。

四 畫

10 【且】シヨ ●かつ。●しばらく。

11 【丕】ヒ おほいなり。

【丕承】シヨウ 大いにうけつぐ。

【丕業】ゲフ 大きなしごと。

【丕顯】ケン 大いにあらはれること。

【丕績】セキ 大きなてがら。

12 【世】セイ よ。

【世人】ジン よのなかの人。

【世上】ジャウ よのなか。せけん。「ゑ」。

【世才】サイ 世わたりのち

【世俗】ゾク ●世のならは

【世話】セ 人のめんだうを見  
ること。

【世路】セイ 世わたり。

【世局】セイ 世のありさ  
ま。世のなりゆき。

【世紀】セイ 一世紀は百年。

【世評】セイ 世けんのは  
さ。ひやうばん。

【世帯】セイ 一家のくらしを  
たてること。しよたい。

【世務】セイ 世の中のしご  
と。「ま。」

【世態】セイ 世の中のありさ  
か。はり。

【世襲】セイ 官位(ヤウ)・職業  
・財産などを代代うけつぐ  
こと。

【世捨人】ビト 僧のこと。

【世道人心】セダウ せけ  
んの道理(リ)と人の心。

【世に處す】セニ 世をわ  
たる。世に立つ。

【世世の跡】アト 各時代  
のものごとのあつたあと。

【世故に長ける】セコエ 世  
の中のことをよくわきま  
へる。

【丘】キウ

【丘陵】キウ をか。小高い  
土地。

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ 十千の第三。

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【丙】ヘイ

【中止】チュウ ちゆうとでや  
める。

【中日】チュウ 彼岸(ヒツ)の七  
日間のまんなかの日。

【中元】チュウ 陰曆七月十五  
日。盂蘭盆(ウランボン)。

【中古】チュウ だうぐなどの  
すこし使つたもの。

【中古】チュウ 次におなじ。

【中世】チュウ なかむかし。

【中世】チュウ 古代(コ)から現代(コ)にい  
たるまでの中ごろの時代  
(コ)。

【中外】チュウ うちとそ  
と。①国内と外国。

【中正】チュウ 一方にかたよ  
らないでただしい。

【中立】チュウ どちらにもつ  
かないでゐること。

【中旬】チュウ 月の十一日か  
ら二十日まで。

七 畫

【並】

【並】(立部五畫)の簡易字  
體。ITOKを見よ。

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【並】

【中秋】チュウ 陰曆八月十五  
日。この夜月見をする。

【中途】チュウ なかほど。

【中絶】チュウ なかほどでき  
れる。

【中食】チュウ ひるめし。

【中流】チュウ 川のまんな  
かへん。①なかほどの階級  
【中流】チュウ ②。

【中堅】チュウ 大將の居る  
ちん。①水陣。②ものごと  
のだいじなところ。

【中傷】チュウ 人のわるくち  
をいつてその人の名譽(リ)を  
きずつけること。

【中腹】チュウ 山のなかほ  
ど。

【中腹】チュウ ばらをとてて  
みるさま。

【中庸】チュウ かたよらぬこ  
と。ほどよいこと。

【中毒】チュウ どくにあたる  
こと。

【中樞】チュウ 物のしんとな  
つて最も大切なところ。

【中興】チュウ 一度おとろへ  
たのをなかごろになつて又  
さかんにすること。

【中斷】チュウ なかほどでき  
れる。

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【中斷】チュウ

【丸藥】グワン まるめたくす  
り。

【丸太】マル けづらないで丸  
くりぬいてつくつた舟。

【丸木舟】マルキ 一本の木を  
くりぬいてつくつた舟。

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丸木舟】マルキ

【丹頂】タン いただきがあ  
かいといふことで、丹頂鶴  
【丹頂】タン ①。

【丹頂】タン ②。

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【丹心】タン まごころ。

【丹田】タン 臍(ヒ)から一寸  
ほど下のところ。

【丹青】タン 赤と青。①あ  
のぐや繪(エ)のこと。

【丹青の妙】タン 繪(エ)  
のたいへんうまいのにい  
ふ。

【丹青の美】タン 美の  
いろどりのうつくしいこ  
と。

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹青の美】タン

【丹頂】タン

【丹頂】タン

【主位】キ シュ 主となる地位

【主要】エウ シュ かんじん。かなめ。

【主計】ケイ シュ 軍隊で會計【得】のことをつかさどるやうなもの。

【主客】カク シュ ●主人ときやく。●おもなものとうけたりのもの。【どる】。

【主宰】サイ シュ 主としてつかさずるもの。

【主婦】フ シュ ●女あるじ。●主人のつま。

【主眼】ガン シュ めぼしいところ。かんじんのところ。

【主従】ジュウ シュ あるじとけらい。【自分のかんがへ】。

【主義】ギ シュ 守つてかへない

【主事】ジ シュ 主になつて事をとりあつかふ人。

【主筆】ヒツ シュ 新聞・雑誌などに、かしらだつて筆を執るもの。

【主動】ドウ シュ さきに立つてはたらく。

【主幹】カン シュ とりしまり。支配【し】する人。

【主賓】ヒン シュ 一番おもだつたおきやく。

【主張】テイ シュ 自分のかんがへをいひはること。

【主権】ケン シュ 國をさめる最高の權力。

【主観】クワン シュ 外にある一切のものに對して自分の心のはたらきをいふ。

【主人公】ジュンコウ シュ あるじ。中心になる人物。小説や芝居などで中心となつてゐる人物。おほだてもの。

【主治醫】ヂイ シュ 主となつて治

ノ部

【主として】シテト おも

【乃】ダイ ナイ

【乃公】ダイ コウ おれ。われ。目

【乃父】ダイ ファー ちち。父が子に

【乃至】ナイス ①はじめから

【九重】クウ ジュウ 天皇の御所。

【九死一生】クウシ イッセイ 十

【九牛の一毛】クウウ イッチョウ

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【乞食】キキ シヨク ものもらひ。

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【久】キウ

【之に反して】コレニモトニカハツテ

【之を久しうす】ヒサシク

【四畫】

【乍】サ

【乎】コ

【乏】ハフ

【九畫】

【乘】シヨウ

【乗客】ジヨウカク 船・車などに

【乗法】ハフ カげざん。

【乗除】ジヨウ カげざんとわりざん。

【乗船】セン 船にのる。

【乗組員】キン 船に乗つてゐて、航海のしごとをするもの。

【乙】イツ

【乙女】メツト むすめ。少女。

【乙夜の覽】イツヤ ノラン 天子の

【九】ク

【九】ク

【九】ク

【九】ク

【九】ク

【乱】ラン

【乳】ニユウ

【乳牛】ニユウ ちちをしぼり

【乳汁】ニユウ ちちのこと。

【乳母】ニユウ 母に代つて子供

【乳兒】ニユウ ちのみこ。

【乳房】ニユウ ちちのき。

【乳臭】ニユウ ちちくさい。

【乳齒】ニユウ ちのみごに生

【乳兄弟】チキヤウ 他人であるが、同じ人の乳をのんでそだつたもの。

十 畫

35 【乾】ケン カン

●かわく、●ほす、●ひる、●いぬる。西北、●そら。天。

【乾物】ブツ 乾いたもの。

【乾板】カン 寫眞【乾】のたね

【乾坤】ケン 天地。乾は天、坤は地。

【乾徳】ケン 天皇の御徳。

【乾燥】カン かわく。

【乾燥無味】カン サウ 詩や文章のおもしろくないこと。

十二 畫

36 【亂】ラン

●みだる、●みだす、●みだれ。

【亂入】ラン みだれ入る。あ

【亂心】ラン 気がちがふ。

【亂打】ラン むやみに打ちた

【亂世】ラン みだれた世の

【亂行】ラン みだらなおこ

【亂臣】ラン 國をみだすわる

【亂麻】ラン みだれもつれた

【亂筆】ラン なぐりがき。

【亂脈】ラン みたれてすぢ

一 畫

37 【了】レウ

●さとる、●あきらか、●をはる。

【了承】レウ しようちす

【了解】レウ はつきりとよく

【了】レウ わかる。がてんする。

●こと。ことがら。●り

【事件】ケン できごと。【き。

【事局】ケン 事のなりゆ

【事故】ケン さはり。まちがひ。

【事宜】ケン 事のほどよいこと

【事項】ケン ことがら。

【事業】ケン しごと。

【事情】ケン ことのわけ。

【事務】ケン しごと。つとめ。

【事蹟】ケン ことのあつたあ

【事實】ケン じつさいのこと

【事變】ケン かはつたできごと。

【事の由】ケン ことのお

【事とす】コト しごととす

【事に従ふ】コトニ つか

【事後承諾】コトノチ 事後

【事を構ふ】コトヲ 事件を

二 部

30 【二】ニ

【二心】ニシン ふたごころ。

【二言】ニゴン いひなほし。

【二毛作】ニマウサク 同じ田

【二百十日】ニヒヤク トツカ

【二】ニ

【二兎を追ふ者は一兎を

【二】ニ

【云云】ウン ことばをはぶく

【云爲】ウン いふこととおこ

【互】ゴ

【互角】ゴカク まけずおとら

【互助】ゴゴ だがひにたすけ

【互選】ゴ なかまのうちか

【五色】ゴシキ 青・黄・赤・白

【五官】ゴクワン 目・耳・鼻・

【五倫】ゴリン 人として最も大

【五常】ゴジャウ 人の常に守ら

【五穀】ゴコク 米・麦・豆・粟・

【五體】ゴタイ 頭と手足・兩足

【五月雨】ゴメイ 陰暦五月頃に

【五輪の塔】ゴリン 地・水・

【五十三次】ゴジツジ 三條大橋までの間にあつた

【五分五分】ゴブ 両方がお

【五里霧中】ゴリキウ 心が

【五重の塔】ゴジュウ 層根

【五風十雨】ゴフウジュウ 五日に

【五十歩百歩】ゴジュウボ 大



へんちがふやりに見えるが、じつさいは大したちがひのないこと。にたりよつたり。

48 【井】 セイ

ぬ。ぬど。

【井泉】セイ セン めど。あどみづ。

【井然】ゼン セイ きちんとしてゐるさま。

四 畫

44 【互】 コウ

わたる。つづく。

六 畫

45 【亞】 ア

つぐ。

【亞流】ウ アリ ◎おなじ道をまなんで居る人。たぐひ。ともがら。◎第二位の人。◎

その流儀(りぎ)をつぐ人。【亞麻】マ 草の名。莖から絲をとり、實から油をとる。

【亞鉛】エン とたん。

【亞歐】ア オウ アジャとヨーロッパ。

上部

一 畫

46 【亡】 バウ

◎うしなふ。◎ほろぶ。◎にく。◎しぬ。

【亡父】フ バウ なくなつた父。

【亡君】クン バウ 死んだ主君。

【亡者】ジャ バウ 死んだ人。

【亡命】メイ バウ 自分の國をにげ出すこと。

【亡國】コク バウ ほろびた國。

【亡魂】コン バウ 死んだ人のたましひ。

四 畫

47 【交】 カウ

◎まじはる。◎まじはり。◎まじふ。◎まじる。◎まじも。かほるがはる。◎かはず。やりとりする。◎

【交叉】カウ サウ すちかひにまじはる。

【交友】カウ イウ ともだち。

【交互】カウ ゴウ たがひに。かほるがはる。

【交代】カウ タイ かはりあふ。

【交付】カウ フ ものをわたす。

【交易】カウ イ したがひに品と品をととりかへてあきなふ。

【交迭】カウ テツ 入りかはる。

【交渉】カウ セフ かけあふ。

【交情】カウ ジャウ まじりの上し。◎はりあふ。

【交替】カウ タイ 入れかはる。か

【交換】カウ クワン とりかへる。

【交通】カウ ツウ ゆききをするこ

【交際】カウ サイ つきあひ。

【交誼】カウ ギ ともだちのしたし。

【交錯】カウ サク いりまじる。

【交戦】カウ セン いくさをする。

【交々】カウ ゴモ かほるがはる。たがひに。

【交譲】カウ ジャウ 互にゆづりあふこと。

48 【亦】 エキ

また。もまた。

六 畫

49 【享】 キヤウ

うく。

【享有】キヤウ イウ うける。うけたもつ。◎しのかず。

【享年】キヤウ ネン 生きてゐたと

【享受】キヤウ ジュ うける。うけとる。

【享樂】キヤウ ラク たのしむ。

50 【京】 ケイ

みやこ。

【京師】シイ 天子のおすまひになるみやこ。◎地。

【京畿】ケイ ケイ みやこちかくの

【京阪地方】チヘウ ケイヘン 京都地方と大阪地方。

51 【齊】

齊(齋部)の簡易字體。にたを見よ。

七 畫

52 【亭】 テイ

◎やどや。◎ちん。あづまや。

【亭主】シユ テイ ◎一家のあるじ。◎をつと。◎さま。

【亭亭】テイ テイ 高くそびえたつ

九 畫

53 【齋】

齋(齋部三畫)の簡易字體。にたを見よ。

人 部

54 【人】 ジン

ひと。

【人工】ジン コウ 人のしわざ。

【人口】ジン コウ ◎ひとかず。◎人のうはさ。

【人才】ジン サイ はたらきのある

【人文】ジン ブン 文明(ぶんめい)。

【人生】ジン セン 人の一生(いっせい)。

【人君】ジン クン 天子。

【人臣】ジン ジン けらい。臣民。

【人材】ジン ザイ はたらきのある人。

【人材登庸】ジンザイ トウヨウ はたらきのある人をひきあげてもちひること。

【人品】ジン ヒン ひとがら。

【人事】ジン ジン ◎人のなすべきこと。◎人の身の上に関すること。◎

【人相】ジン サウ 人のかはかた

【人格】ジン カク ひとがら。

【人氣】ジン キ 世間(せけん)の人の氣うけ。

【人物】ジン ブツ ◎ひと。◎ひとがら。◎すぐれた人。

【人員】ジン キン 人かず。

【人倫】ジン リン ◎人のふむべきみち。◎人のあひだがら。

【人畜】ジン ショク 人と人にかはれるけもの。

【人情】ジン ジヤウ ◎おもひやり。なまけ。◎人のこころ。

【人道】ジン ダウ ◎人のふみおこなふべきみち。◎人のあるくみち。

【人望】ジン バウ 世間(せけん)の人の氣うけ。にんき。

【人煙】ジン エン 人家のかまどから立つけむり。

【人參】ジン シン ◎藥草の名。◎





【代金】ダイキン ものを買つてはらふかね。

【代書】ダイショ ひとにかはつて書くこと。

【代理】ライダイ かはり。

【代参】ダイサン ひとに代つて神佛にまゐること。

【代價】ダイガイ ねだん。「書く。」

【代筆】ダイヒツ ひとにかはつて

【代名詞】ダイメイシ 名詞のかはり用ひることば。私・汝・彼・これ・それなど。

【代議士】ダイギシ 人民に選舉せられ、その代表となつて帝國議會に出席し、法律をつくることにある人。衆議院議員(サウジヤクイン)。

65 〔令〕

レイ  
リヤウ  
①いひつけ。②おきて。

③つかさ。地方の長官。④よい。

【令兄】レイケイ 人の兄をうやまつていふことば。「ん。」

【令名】レイメイ よいひやうば

【令旨】レイウジ 皇后・皇太后・皇太子・親王のおほせ。又、それを書いたもの。

【令狀】レイジャウ 役所から出す命令のかきつけ。

【令辰】レイシン めでたい時。

【令弟】レイテイ 人の弟をうやまつていふことば。

【令姉】レイシ 人の姉をうやまつていふことば。

【令妹】レイメイ 人の妹をうやまつていふことば。

【令息】レイソク 人のむすこをうやまつていふことば。

【令孫】レイソン 人の孫をうやまつていふことば。

【令嬢】レイジャウ 人のむすめをうやまつていふことば。

【令室】レイシツ 人の妻をうやまつていふことば。

【令閨】レイケイ まへにおなじ。

【令夫人】レイフジン まへにおなじ。

66 〔以〕

イ  
①もつて。②おもふ。

【以上】ジョウイ ①これより上。②これををはり。

【以下】カ イ これより下。

【以内】ナイ これよりうち。このうち。

【以外】グワイ そのほか。

【以來】ライ それから。

【以往】ワウ そののち。

【以東】トウ これより東。

【以前】イゼン これよりまへ。

【以後】ゴイ これよりのち。そののち。

【以爲】オモヘ おもふのに。

【以心傳心】イシンシン 心から心に傳へる。ことばや文字をつかはずにこちらの心を人にさとらせる。

四 畫

67 〔仰〕

ギヤウ  
カウ  
①あふぐ。②おほせ。

【仰山】ギヤウサン ①おほげさ。②たいそり多いこと。

【仰天】ギヤウテン ひどくおどろくこと。

【仰臥】ギヤウグワ あふむきにねる。

68 〔仲〕

チュウ  
チユウ

なか。

【仲介】チュウカイ なかだち。

【仲春】チュウシュン 春の中ごろ。陰曆(イナリキ)二月。

【仲秋】チュウシュウ 秋の中ごろ。陰曆(イナリキ)八月。

【仲裁】チュウサイ なかなほりをさせること。

69 〔件〕

ケン  
くだん。ことがら。【件數】ケン スウ ことがらのかず。

【件の如し】ケンノゴトシノ 前に書いた文面の通りである。

70 〔任〕

ジン  
①つとめ。やくめ。②まかす。③たふ。こらへる。【任用】ヨウニン 人にやくめをあてがつてつかふ。

【任地】ニンチ 役につくためにゆくところ。

【任命】ニンメイ 役につかせる。

【任免】ニンメン 役につかせたりやめさせたりすること。

【任侠】ニンケフ をとこぎ。をとこだて。

【任意】ニンイ 心のまま。かつて。

【任務】ニンム つかとめ。やくめ。

【任期】ニンキ 役についてゐる間。

71 〔企〕

キ  
①くはだつ。②くはだて。

【企及】キキフ できる。

【企業】キゲフ 仕事をおこすこと。

【企圖】キキョウ ①くはだてはかること。もくろみ。

72 〔伊〕

イ  
これ。

73 〔伍〕

ゴ  
①くみ。なかま。②五と同じ。

【伍長】ゴチャウ 陸軍軍人の階級(ケイ)兵長の上、軍曹の下。

74 〔伏〕

フク  
①ふす。②かくす。③し たがふ。

【伏在】フクザイ ひそんでゐる。

【伏兵】フクヘイ 敵を不意におそふため、敵にきづかれぬ所にまち伏せておく兵。ふせい。

【伏奏】フクソウ 天子に申し上げること。

【伏罪】フクザイ つみにおちること。

〔伏線〕

フクセン 文章などで、後にのべようとするところが前にほのかけておくこと。

【伏魔殿】フクマデン 秘密(ヒソカ)のひそんでゐるあやしい家。

【伏し轉ぶ】フクシマロブ ころげまはる。

75 〔伐〕

ハツ  
①うつ。②きる。

【伐木】ハツボク 木をきる。

【伐採】ハツサイ 木をきりとる。

76 〔休〕

キウ  
①やすむ。②やすみ。③やむ。④よろこび。

【休日】キウジツ やすみの日。

【休止】キウジツ とちゆうでやめる。

【休心】キウシン あんしん。

【休刊】キウ カン 新聞・雑誌の發行をしばらく休むこと。

【休息】キウ ソク やすむ。一む。

【休業】キウ グフ しごとをやすむ。

【休戚】キウ セキ よろこびとかなしみ。

【休暇】キウ カ 休す。

【休憩】キウ ケイ やすむこと。

【休養】キウ ヤウ 休んで元氣をとりもどす。「やすむ」。

【休職】キウ ショク しばらく職を

【休戦】キウ セン 敵とみかたと申しあはせて、しばらくせんさをやすむこと。

【休學】キウ ガク 學校へ出ること

【休火山】キウ クワザン 一時噴火のやんでゐる火山。

【休らふ】キウ ラフ やすむ。

77 【仮】カ 假(人部九畫)の簡易字體。L(仮)を見よ。

78 【會】カイ 會(日部九畫)の簡易字體。L(會)を見よ。

五 畫

79 【伯】ハク かしら。をさ。

【伯父】ハク フ 父母の兄。

【伯母】ハク ボ 父母の姉。

【伯爵】ハク シヤク 華族(二)の爵位(ヤ)の三番目。

【伯仲の間】ハク チユウ マ ざりおとりのないこと。にたりよつたり。

【伯林】ハク リン ドイツの首府(二)。

80 【伴】ハン とも。ともなふ。

【伴侶】ハン バン なたにあはせて

【伴奏】ハン ソウ 楽器をならすこと。又、その曲。

【伴食】ハン ショク 身分のたかい人の食事(二)のおしやうばんをすること。はたらきがなくて役に居るものをあざけつていふことば。

81 【伸】シン のぶ。のばす。

【伸長】シン チヤウ ながくのばす。

【伸張】シン チヤウ のびはること。ひろげること。

【伸縮】シン シユク のびぢぢみ。

82 【伺】シ シ

83 【似】ジ うかがふ。うかがひ。

【伺候】シ コウ 目上の人のこきげんうかがひに行くこと。

【伺察】シ サツ 様子を見たり見

【似而非】シ ニテヒ 同じやうでも實はちがつてゐる。えせ。

【似つかはし】シ ツカ ハシ にあつてゐる。

84 【但】タン ただ。ただし。

【但書】タン ショ 本

文の次に、先づ「但し」と書いて、それから本文につきいろいろせつめいする文。

85 【位】イ くらゐ。

【位記】イ キ くらゐをさづけるかきつけ。

【位階】イ カイ 位の階級(二)。(今は一位から八位まで、各正・従に分かれて十六階ある)

【位牌】イ ハイ 木のふだに死んだ人の戒名(二)を記してまつるもの。

【位置】イ チ 物のある場所。

【位人臣を極む】イ シンラキジ キハ くらゐが臣下として一番上にすすむ。

86 【低】テイ ひくし。たる。

【低下】テイ カイ ひくくなる。さがる。

【低回】テイ クワイ 考へながら行つたりもどつたりすること。

【低利】テイ リ やすいりそく。

【低唱】テイ シヤウ こゑをひくくしてうたふ。

【低廉】テイ レン ねだんが安い。

【低級】テイ キフ 身分のひくい階級(二)。「おとつてゐること」。

【低減】テイ ゲン へる。へらす。

【低頭】テイ トウ あたまをさげること。

【低聲】テイ セイ ひくいこゑ。こゑ。

【低氣壓】テイ キ アツキ 氣壓のひくいところ。即ち空気のうすいところ。

【低能兒】テイ ノウジ あたまのたらしきのにぶい子供。

87 【住】チュウ すすむ。すまふ。とどまる。

【住居】チュウ キョ すすむところ。

【住所】チュウ ショ すすんでゐるところ。

【住持】チュウ チ 寺のかしらの僧。

【住職】チュウ ショク 前におなじ。

【住めば都】チュウ ミヤコ どんな

【佐】サ たすく。

【佐官】サ クワン 大佐・中佐・少佐をいふ。

【佐幕】サ バク 幕府(二)をたす

88 【佐】サ たすく。

【佐官】サ クワン 大佐・中佐・少佐をいふ。

【佐幕】サ バク 幕府(二)をたす

89 【佑】イウ たすける。たすけ。

【佑助】イウ ジョ 助ける。

90 【何】カ なに。いづれ。

【何人】カ ヒト だれ。たれ。

【何人】カ ヒト いくにん。

【何方】カ イダ どちら。どつち。

【何分】カ ブン とうしても。

【何卒】カ トゾ どうぞ。「しも」。

【何等】カ ラン どのやうな。少

【何處】カ イツ どこ。

【何くれと】カ ナニ ナニや



客。①とくべつにまねいた客。

【來診】ライ 来て診察〔サ〕してもらふこと。

【來應】ライ 人の來ることをうやまつていふことば。

【來會】ライ よりあひの席に來る。

【來觀】クワン 來て見る。

【來襲】ライ せめよせる。

101 【侈】シ ①おごり。②おごる。

102 【例】レイ ①ためし。②ならはし。③たとへ。

【例外】グワイ きまりのほか。規則〔サ〕のほか。

【例年】レイ まいねん。

【例話】レイ たとへとしては

なすはなし。たとへ。

【例祭】レイ まいねんきまつて行はれるまつり。

【例題】レイ けいこするたのめの問題〔サ〕。

【例證】レイ しょうことしであげる例。

103 【侍】シ ①はべる。②さむらひ。

【侍女】シヨ そばにつかへる女。こしもと。

【侍史】シ ①そばちかく仕へるかきやく。②手紙の宛名のわきにそへて相手をうやまふ心をあらはすことば。

【侍臣】シ ①そばにつかへるけらい。

【侍從】ジ ①天子のおそば近くつかへる人。

【侍講】カウ 天子又は皇太子

のおそばに出て書物のからぎをする人。

【侍醫】イ 宮中におつかへしてゐる醫者。

104 【供】ク ①そなふ。②そなへ。③とも。

【供出】キョウ ①さしだすこと。

【供出米】キョウマイ おかみのいひつけで、農家〔サ〕からやくしよに出す米。

【供米】クマイ 神佛にそなへるこめ。「もの。」

【供物】クモツ 神佛にそなへるもの。

【供奉】ブ ①天子のおとも。

【供述】キョウツ ①申したて。

【供託】キョウタク ①品物をさし出してしまつておいてもらふこと。

【供御】ク ①天子のめしあがる御食物。

【供給】キョウキツ ①もとめに應じて品物をさし出すこと。

【供養】クヤウ ①死んだ人又は佛に物をそなへてまつること。

105 【依】エ ①よる。②そのまゝ。

【依怙】コエ ①かた方にひいきすること。えこひいき。

【依託】イトク ①たのむ。たよる。

【依然】ゼン ①もとのまゝ。

【依頼】ライ ①たのみ。たのむ。

【依囑】イヨク ①たのむ。たのみまかせる。

【依願免官】イガンメン ①本人のねがひによつてその役をやめさせること。

七 畫

106 【侮】ブ ①あなどる。②あなどり。

【侮辱】ジュク ①人をばかにしてはづかしめる。「にする。」

【侮蔑】ベツ ①あなどる。ばか

107 【侯】コウ きみ。大名〔サ〕。

【侯爵】コウカク 華族〔サ〕の爵位〔サ〕の二番目。

108 【侵】シン をかす。をかす。

【侵入】シン ①をかし入る。むりに入りこむ。「ふ。」

【侵害】ガイン ①をかしそこな

【侵略】リヤク ①おしいつてむりにとる。

【侵掠】リヤク ①前におなじ。

【侵蝕】シンク ①だんだんくひこむ。

109 【侶】リョ ①とも。つれ。なかま。

110 【便】ベン ①たより。②たよりよし。③ゆばり。いばり。④すなはち。⑤やすむ。

【便利】ベン ①つがふがよい。

【便法】ベン ①つがふのよいしかた。

【便佞】ベン ①口さきがうまくてへつらふ。

【便所】ベン ①かはや。「ね。」

【便船】ベン ①よいついでのお

【便通】ベン ①大小便の通ずること。

【便秘】ベン ①大便が出ぬこと。

【便乗】ベン ①よいついでのお船などにのること。

【便殿】ベン ①貴い人のお休みになる臨時〔サ〕の御殿。

【便器】ベン ①大小便をとるうつは。おかは。おまる。

【便覽】ベン ①見やすいやうに作つた書物。

111 【係】ケイ ①つなぐ。②かかはる。③かかふ。④かかり。

【係争】ケイ ①あらそひ。

【係累】ケイ ①わづらひ。足手まとい。

112 【促】ソク ①うながす。②せまる。

【促進】ソク ①うながしすすめ

113 【俄】ガ ①にはか。

【俄然】ガ ①にはかに。だしぬけに。

114 【俊】シユン ①すぐる。

【俊才】シユン ①すぐれてはたらきのある人。

【俊秀】シユン ①前におなじ。

【俊傑】シユン ①才智があつてすぐれた人。

【俊逸】シユン ①才智がすぐれてゐること。又その人。

115 【俗】ゾク ①ならひ。ならはし。②よのなか。③いやし。

【俗化】ゾク ①俗になる。なみのものとなつてしまふ。

【俗人】ジツク せけんなみの人。

【俗吏】リツク つまらぬやくにん。

【俗物】アツク くだらぬにんげ

【俗歌】カツク はやりうた。

【俗間】カクセ せけん。

【俗事】ジツク 世間のわづらはしいしごと。

【俗字】ジツク 漢字の字體の正しくない字で世間一般に用ひられてゐるもの。

【俗務】ムツク 世の中のわづらはしいしごと。

【俗説】セツク 世間でいひつたへるはなし。●つまらぬかんがへ。

【俗諺】ゲンツク 世間で言はれてゐることわざ。

【俗傳】デンツク 世の中の人のい

ひつたへ。【俗儒】ジツク 心のいやしい學者。

【俗塵】デンツク 世の中のがらはしいわづらひをいふ。

116 【保】ホウ ホウ たもつ。●やす。やすんず。

【保存】ホク なくならぬやうにたいせつにしておく。

【保守】シユ これまで通りにする。ふるいしきたりをかへぬやうにする。

【保全】セン たいせつにしてこはさぬやうにする。

【保安】アン 世の中がやすらかであるやうにする。

【保有】ホウ しっかりともつてゐる。

【保持】ホキ まへにおなじ。

【保育】イク せわをしてそだてる。

【保姆】ホキ 幼稚園(キョウエン)の女先生。

【保留】リウ のこしとどめ。●つかつておく。

【保管】クワン 人のものをあやしなふ。やうじやうする。

【保養】ヤウ からだをやすめやしなふ。やうじやうする。

【保證】シヨウ うけあふ。

【保護】ゴ たいすけまもる。かばふ。

【保護色】シヨク まはりのものの色にせて敵の目をくらまし、自分をまもるのにつがふよくできた動物のからだの色。

【保護國】コク 自分國の力で立つことが出来ず、他の強い國にたすけてもらつてゐる國。

【保護鳥】ホゴ 一年中、又はある時期だけとることを法律でとめられてゐる鳥類。

117 【俠】ケフ ①をときぎ。②をときだて。③弱きをたすけ強きをくちく心。

【俠客】カク ときだて。をときぎのある人。

【俠氣】キフ をときぎ。

【俠骨】コツ まへにおなじ。

118 【信】シン ①まこと。②まかす。③たより。おとづれ。④しるし。

【信心】シン 神や佛をがみいふること。

【信用】ヨウ うたがはぬ。あてにする。たしかであるとみこむ。

【信任】シン 信じて事をまかせる。

【信者】ジヤ 信仰する人。

【信徒】トシン まへにおなじ。

【信仰】カウ 神佛を信じすがる。

【信念】ネン たしかだと信じこんだ心。

【信書】シヨウ てがみ。

【信託】ダク 信じてことをまかせたのむ。

【信教】ケウ 宗教を信ずること。

【信義】ギン まことであつて正しいこと。

【信頼】ライ あてにする。たのみにする。

【信號】ガウ あひづ。

【信天翁】アリ 熱帯(ニホウ)の

島に住む鳥。

八 畫

119 【修】シウ シニ ①をさむ。②をさます。

【修了】レウ ならつてしまふ。

【修正】セイ なほす。

【修行】ギヤウ ①佛法(ブツ)をさめる。②いろいろの器(ウ)をねつしんにならふ。

【修好】カウ つぎにおなじ。

【修交】カウ 國と國とがなかよくつきあふこと。

【修身】シウ 悪いことをせず、いいことをするやうに身をさめる。

【修業】ゲフ がくもんやわざをならひをさめる。

【修理】リシ なたす。

【修繕】セン 前におなじ。

【修養】ヤウ 道をさめ心をやしなふ。

【修築】チク たてものなどをつくるひなほす。

【修得】トク がくもんやわざをさめて身につける。

【修飾】シヨク かざる。「る。

【修學】ガク がくもんをす

【修熟】ジュク けいこして上手になる。

【修練】レン みがききたへ

120 【俱】クク ともに。

【俱樂部】クラ ①おほぜいでこしらへたなかま。②なかなかのよりあひばしよ。

121 【併】ハイ

①たはむれ。②やくしや。

【併人】ジン 併句をつくる人。

【併句】ケイ 五七五の三節十、七音でつくる詩。

【俳優】イウ やくしや。

122 【俵】ヘウ たはら。

【俵給】キフ 給料(キョウ)。

123 【俸】ホウ ふち。てあて。きふれう。

124 【併】ハイ ①ならぶ。②あはす。③しかし。

【併用】ヨウ あはせ用ひる。

【併合】ガフ あはせる。ひとつにする。

【併吞】ドン あはせのむ。い

つしよにしてとつてしまふ。  
【併發】ヘイ いつしよにおこ

【併置】ヘイ いつしよにおこ

【倉】サウ

【倉卒】ソツツ にはか。あわてる。

【倉皇】クワウ あわてる。

【倉庫】サウ くら。

【個】カ

【個人】ジン ひとりの人。

【個人主義】シユギ 個人の利益ばかりをたいせつであ

るとして社會又は國のためを思はない主義。

【個性】セイ 人人めいめいのもちまへ。

【個條】カウ ことからの一つ

【個個】コウ ひとつびとつ。お

【倍】バイ

【倍加】バイ 二倍にふえる。

【倍数】バイ ある數のいく倍かにあたる數。

【倒】タウ

【倒死】タウ のたれしに。ゆ

【倒産】サン しんだいかぎ

【倒置】タウ さかさまにお

【倒潰】タウ たふれつぶれ

【倒幕】タク 幕府をたふすこ

【倒影】タウ さかさまにうつ

【候】コウ

【候鳥】コウ わたりどり。季

【候補】コウ ある地位を得ようとするのぞみ。又、その

【倚】イ

【倚頼】ライ たよる。たのむ。

【倚託】タイ 前におなじ。

【倚藉】イ たよつてその力をかりる。

【借】シヤク

【借入】シヤク かりいれる。

【借用】シヤク かりてつか

【借地】シヤク かりた土地。

【借金】シヤク かりたかね。

【借財】シヤク 金をかりる。

【借料】シヤク かりちん。

【借家】シヤク かりいへ。し

【借覽】シヤク 本などをかり

【倡】シヤウ

【値】チ

【値遇】チ であふ。人に知られて重く用ひられる。

【倦】ケン

【倦怠】ケン あきてなまける。

【倦厭】ケン あきていやになる。

【倫】リン

【倫理】リン 人の行ふべき道。

【倫敦】ロン イギリスの首

【倭】ワ

【假】カ

【假令】カ 上しや。よしん

【假作】カ かりにつくる。

【假定】カ かりにさだめる。

【假面】カ 木や土で顔の形

【假借】カ かりる。

【假裝】カ かりに身なりを

【假死】カ ちよつと見てほん

【九畫】

【假設】カ かりにこしらへ

【假初】カ ちよつと。

【假病】カ びやうきのふ

【假託】カ かくつける。こ

【假分數】カ 分子が分母

【假名遣】カ 假名のつか

【偉】キ

【偉人】キ すぐれた人物。

【偉大】キ すぐれてりつ

【偉功】キ すぐれたてが

【偉績】キ まへにおなじ。

【偉勳】キ まへにおなじ。

【偉業】キ 大きなしごと。

【偉觀】キ さかんな見もの。

【偉丈夫】キ すぐれて

【偏】ヘン

【偏見】ヘン かたよつたかん

【偏士】ヘン かたるなか。

【偏屈】ヘン かたいぢ。

【偏重】ヘン 一方だけをお

【偏狹】ヘン 心がせまい。

【偏頗】ヘン えこひいき。○

140 借 [借] カイ

【借樂】カイ 人とともにたのしむこと。

【借老同穴】ドウケツ 生きてはともに老い死んではおなじ穴に葬られること。夫婦のつきせぬえにし。

141 停 [停] テイ

【停止】テイ さしとめる。

【停泊】テイ 船が港にとどまる。

【停車】テイ くるまをとめる。

【停車場】テイシヤ 汽車のとどまるところ。○驛〔じ〕。

【停電】テイ 電気がとまる。

【停學】テイ 生徒がわるいことをしたとき、その罰〔ばつ〕をとる。

【停留】テイ とまる。

【停留所】テイリウ 電車や乗合自動車のとどまるところ。

【停會】クワイ 會議をある期間だけやめること。

【停滯】タイ とどこほる。とどまる。

142 健 [健] ケン

【健在】ケン たつしやにくらしてゐる。

【健全】ケン すこやか。たつしや。④かたよらないでしつかりしてゐる。

【健兒】ケン げんきなわかも。

【健忘】ケン わすれつばい。

【健筆】ケン 文字又は文章をたつしやに書くこと。

【健脚】ケン たつしやな足。

【健康】ケン すこやか。まめ。

【健啖】ケン おほぐひ。

【健闘】ケン よくたたかふ。

【健氣】ケン かひがほしいこと。心がけのよいこと。

【健胃劑】ケンキ 胃を丈夫にするくすり。

143 側 [側] ソク

【側面】ソク よこがは。

【側聞】ソク ほのかにきく。うはさじきく。

【側壁】ソク よこのしきり。

144 偵 [偵] テイ

【偵察】テイ 敵のやうすをさぐる。

145 偶 [偶] グウ

【偶人】グウ にんぎやう。

【偶作】グウ ふと思ひついて出来た詩や歌。

【偶成】グウ まへにおなじ。

【偶感】グウ ふと心に思ひうかんだかんじ。

【偶然】グウ 思ひもよらず。はからず。ふと。

【偶像】グウ 木・石・金・土

などで作った神佛又は人物のかたち。〔こゝろ。〕

【偶發】グウ 思ひがけなくお

【偶數】グウ 二でわりきれるかず。二・四・六・八・十など。

十 畫

146 傅 [傅] フ

【傅育】イク かしづきそだてる。

147 傍 [傍] ハウ

【傍系】ケイ えだ葉の血すぢ。

【傍訓】ケン ふりがな。

【傍輩】ハウ 友達。なかま。

【傍觀】クワン わきから見てゐる。手だしをせぬ。

【傍聽】バウ 演説・裁判・議事などをその場にあつてきく。

【傍若無人】バウジャク 「かたはらに人無きが如し」といふことで、人まへをばからず自分勝手のことをするのにいふ。

148 傑 [傑] ケツ

【傑出】ケツ すぐれてゐる。

【傑士】ケツ 前におなじ。

【傑作】ケツ すぐれて出来のよいもの。(詩歌・文章・繪畫・彫刻などにいふ)

【傑物】ケツ すぐれてえらい人。

149 傘 [傘] サン

【備忘】ビウ わすれたときの用意。

【備品】ビン そなへつけの品物。

【備考】カウ 参考のために備へる。

151 傲 [傲] カウ

【備忘】ビウ わすれたときの用意。

【備品】ビン そなへつけの品物。

【備考】カウ 参考のために備へる。

十一 畫

152 催 [催] サイ

【催促】サイ らながす。せきたてる。

【催眠】サイ ねむくなる。

153 傭 [傭] ヨウ

【傭兵】ヨウ 給料〔こぎ〕を出してやとつた兵士。

【傭聘】ヨウ やとつてまねきよせる。

154 傲 [傲] ガウ

【傲慢】ガウ おごりたかぶつたさま。

【傲語】ガウ おごりたかぶつたことば。



155 傳【傳】デン

●つたふ。●つたはる。●つたへ。

【傳令】デン めいれいをつたへる。又、その人。

【傳言】デン ことづて。「る。

【傳來】デン つたはつて來

【傳記】デン 人の一しやうが

【傳染】デン りつる。つたは

【傳授】デン つたへさづけ

【傳説】デン いひつたへ。か

【傳票】デン 銀行や會社など

で、支拂又は收入などの時に出す紙きれ。

【傳聞】デン つたへきく。人

【傳道】デン 教をつたへひろ

【傳達】デン とりついで送り

【傳統】デン 系統をうけつた

【傳播】デン つたはりひろま

【債】サイ

【債券】サイ 金をかりかしし

【債權】サイ かしぬしがかり

【債鬼】サイ かりぬしが、か

【債務】サイ かりたものをか

157 傷【傷】シヤウ

●いたむ。かなしむ。●きずつく。●そこなふ。●やぶる。●きず。

【傷心】シヤウ 心をいため

【傷害】シヤウ きずつける。

【傷創】シヤウ きず。

【傷病兵】シヤウ けが、

【傾】ケイ

【傾向】ケイ かたむき。いき

【傾倒】ケイ ふかく心をよせ

【傾注】ケイ 一つの事に心

【傾斜】ケイ かたむく。なな

159 僅【僅】キン

【傾聽】ケイ 一心にきく。

【僅僅】キン わづかに、たつ

【僅少】キン わづかばかり。

【働】ドウ

【働蜂】ハタラク 蜜蜂の中

【像】ザウ

【僑】ケウ

【儀仗兵】ギチャウ 儀仗を帯

【儀式】ギキ しき。

【儀表】ギヘウ てほん。

【儀範】ギハン てほん。

【儀容】ギヨウ とりつくりつた

【億】オク

【億兆】テウ 多くの民。「ふ。

【億劫】コフ たいぎにおも

【儉】ケン

【儉約】ケン むだづかひをせ

【儉素】ケン つづまやかでか

163 僕【僕】ボク

●しもべ。めしつかひ。●われ。(自分をへりくだ

【僕婢】ボク 下男・下女。

【僕従】ボク しもべ。めし

【僚】レウ

【僚友】レウ 同じ役の人。

【偽】ギ

【偽名】ギ ろその名。

【偽物】ギ にせもの。

【偽作】ギ にせてこしらへ

【偽造】ギ にせてつくる。

【偽書】ギ にせてこしらへ

【偽筆】ギ 他人の書きぶり

【偽善】ギ うはべをかざつ

【偽證】ギ 裁判所によび

【僧】ソウ

【僧庵】ソウ ぼうずのすむ小

【僧兵】ソウ

【儀仗】ギチャウ 儀式【儀】につ

【儀仗兵】ギチャウ 儀仗を帯

【儀式】ギキ しき。

【儀表】ギヘウ てほん。

【儀範】ギハン てほん。

【儀容】ギヨウ とりつくりつた

【億】オク

【億兆】テウ 多くの民。「ふ。

【億劫】コフ たいぎにおも

【儉】ケン

【儉約】ケン むだづかひをせ

【儉素】ケン つづまやかでか



僧兵

十四畫

171 儒 ジュ

がくしや。

【儒教】 ジュ 孔子によつて唱へ出されたをしへ。

【儒者】 ジュ 孔子(子)・孟子(子)の學問を修めた學者。

【儒學】 ジュ 儒教(子)を研究する學問。

【儒佛】 ブツ 儒教と佛教。

十五畫

172 償 シヤウ

① つぐのふ。② つぐのひ。

【償金】 シヤウ キン つぐのひの金。

【償却】 シヤウ キヤク かりをかへ

173 優 イウ

① やさし。② すぐる。③ まさる。④ ゆたか。⑤ やくしや。

【優越】 イウ ニツ まさつてゐること。 「よしあし。」

【優劣】 イウ レツ まさりと。 「よしあし。」

【優美】 イウ ビ やさしくうつくしい。 「い。」

【優良】 イウ リヤウ すぐれてよい。

【優秀】 イウ シウ すぐれてゐる。

【優等】 イウ トウ なみよりすぐれてゐる。 「す。」

【優遇】 イウ グウ てあつくもてな

【優待】 イウ タイ まへにおなじ。

【優詔】 イウ セウ てあつしみこと

【優渥】 イウ アク てあつひ。 なさけぶかい。

【優雅】 イウ ガ したやかで品(ヒ)がよい。 「れてゐる。」

【優勢】 イウ セイ いきほひがすぐ

【優先權】 イウ セン 他の人よりも先にとることのできる權利。

【優柔不斷】 イウ ジウ グブグブしてゐて、おもひきりがわるい。

【優勝劣敗】 イウ ショウ ナ ぐれた者は勝ち、劣つた者はまけるといふこと。

十六畫

174 儲 チョ

① たくはふ。② たくはへ。③ まうく。

【儲位】 チョ キョ 皇太子の位。

【儲君】 チョ キョ 皇太子。

儿部

三畫

175 允 イン

① まこと。② ゆるす。

【允可】 イン カ ゆるす。 ききとどける。

【允許】 イン キョ まへにおなじ。

【允文允武】 インブン インブ 「まこととに文まことに武」といふことで、天子の學問・武藝にすぐれてゐられることをほめたたへていふことば。

176 元 ゲン

① もと。はじめ。② かしら。

【元日】 ゲン ジツ 一年のはじめ

の日。一月一日。

【元旦】 ゲン タン ① 元日のあさ。② 元日。

【元年】 ゲン ネン 年號(號)のかはつたはじめのとし。

【元元】 ゲン ゲン ① もと。根本(もと)。② たみ(民)。

【元老】 ゲン ナン ながいあひだたいせつな役に居て、國にたいそつてがらのあつた人。

【元來】 ゲン ライ もとより。はじめから。 「しら。」

【元兇】 ゲン キョウ わるものか

【元祖】 ゲン ソウ 物ごとをはじめた人。

【元首】 ゲン シュ 國のかしら。○君主。○帝王。

【元素】 ゲン ソン どうしても二つ以上のもに分けることの出來ない物質(物質)。酸素・水素・窒素など。

【元帥】 ゲン スキ 陸海軍の大將で元帥府につらなる人。

【元服】 ゲン フク むかし男が一人前になつた時の祝のしき。

【元勳】 ゲン クン 國にたいそつてがらのあつた人。

【元始祭】 ゲン シ サイ 一月三日に宮中で行はせられるまつり。

三畫

177 兄 ケイ

あに。

【兄弟】 ケイテイ ① あにとおと。② ケヤウダイ

【兄事】 ケイ ケイ 兄と立ててりやまひつかへる。

【兄弟垣に闖ぐ】 ケイテイ グメ うちわげんくわをする。

【兄たり難く弟たり難

し。ケイタリガタクおとりのないこと

178 充 ジュウ

① みつ。② みたす。③ あつ。④ ふさぐ。

【充分】 ジュウ ブン 不足のないこと。

【充血】 ジュウ ケツ 血が一ところにあつまる。

【充足】 ジュウ ジク みちたりる。みたす。 「ちる。」

【充實】 ジュウ ジツ すきまなくみ

【充滿】 ジュウ マン いっぱいにな

【充填】 ジュウ テン つめる。つま

四畫

179 兆 テウ

① うらなひ。② ざんし。

しるし。③ 億の萬倍。

【兆民】 テウ ミン おほくの人民。

【兆候】 テウ コウ きざし。しるし。

180 兇 キョウ

① わるし。② わるもの。

【兇手】 キョウ シュ 手を下して人を殺したものの下手人(カシラ)。

【兇行】 キョウ カウ 人をころしたりきずつたりするわるいおこなひ。

【兇徒】 キョウ ト わるもの。わるものども。

【兇漢】 キョウ カン わるもの。

【兇惡】 キョウ アク きはめてわるい。 「せ。」

【兇報】 キョウ ハウ わるいし

【兇器】 キョウ キョウ 人ごろしなどにつかつた道具。

【兇暴】 キョウ バウ あらあらし

【兇變】イ。ヘン キョウ ウ わるいできごと。  
【先】181 セン

【先手】セン テン 碁で石をさきにうつ人。  
【先日】ジツ セン このあひだ。  
【先月】ゲツ セン まへのつき。  
【先方】バン セン 相手の人。  
【先考】カウ セン 死んだ父。  
【先年】ネン セン まへのとし。  
【先帝】テイ セン まへの天子さま。  
【先祖】ゾ セン ①そのちすぢの一ばんはじめの人。②自分の親より前の人たち。  
【先見】ケン セン さきのことを見ぬく。

【先登】セン トウ 第一ばんに敵へきりこむこと。さきがけ。  
【先般】バン セン さきごろ。  
【先頭】トウ セン まつさき。  
【先約】ヤク セン 前のやくそく。  
【先刻】コク セン さきほど。さつき。  
【先鋒】バン セン いくさの時さきにすすむもの。さきて。  
【先陣】チン セン さきがけ。さきぞなへ。  
【先便】ビン セン さきのがみ。  
【先輩】バン セン ①めうへの人。年や學問、位など自分より上にある人。②同じ學校を自分より先に卒業した人。  
【先導】ダウ セン みちあんない。  
【先驅】ケン セン ぎやうれつものさきがけ。

【先鞭】セン ベン さきだつて手をつけること。  
【先鞭をつける】センベン ヲツケル へよりさきに手をつける。  
【先天的】テン テン テン うまれつき。  
【先進國】セン シン セン はやくからひらけすすんだくに。  
【先決問題】セン ケツ モン ダイ 一ばんさきにきめておかなければならぬことがら。  
【先入主となる】セン ニフ ナル さきにきいた方のことが信じられやすいといふこと。  
【光來】クワウ ライ 人の來るのをうやまつていふことば。  
【光臨】クワウ リン 前におなじ。

【光明】クワウ ミヤウ あかり。ひかり。けしき。  
【光景】クワウ ケイ ありさま。やかり。いろどり。  
【光彩】クワウ サイ いろはしいひかり。いろどり。  
【光彩陸離】クワウ サイ リ タラシイ そろそろ美しいさま。間。  
【光陰】クワウ イン としつき。時。  
【光線】クワウ セン ひかり。  
【光輝】クワウ キ ヒかり。かがやき。  
【光榮】クワウ エイ けまれ。  
【光澤】クワウ タク つや。ひかり。  
【克己】クツ キ オのれにかつ。

五畫

【克復】クツ フタ もとのありさまにかへる。  
【免】184 メン

①まぬがる。のがる。ゆるす。  
【免疫】メン エキ 病氣(びやうき)にからぬ力をもつこと。  
【免官】メン クワン やくをやめさせる。  
【免職】メン ショク 前におなじ。  
【免除】メン チョ ゆるす。  
【免租】メン ソ 租税(そ)をゆるす。  
【免税】メン ゼイ まへにおなじ。  
【免許】メン キョ ゆるし。  
【免許狀】メン キョ ジヤウ 免許のかきつけ。  
【免訴】メン ソ うつたへられた

【兎】185 ト

【兎角】ト カク ①どうかかからか。②かれこれ。③どうかする。と。  
【兒女】ジ ヨ ①をとこの子とをんなの子。②こども。こどもら。  
【兒孫】ジ ソン 子やまご。まごどもら。  
【兒童】ジ ヲウ こども。  
【兒戲】ジ ギ こどものあそび。

六畫

八畫

【党】187 トウ

【競】188 キョウ

【入】189 ニフ

入部

【入京】ニフ キヤウ 東京または京都にはいること。  
【入浴】ニフ ヲク 入る。ふろにはいる。  
【入來】ニフ ライ おいで。來ること。をりやまつていふことば。  
【入門】ニフ モン ①でしいり。②はじめて學ぶ人によくわかるやりに作つた書物。てびき。  
【入神】ニフ シン 神のしわざではないかと思はれるほどうまいこと。  
【入念】ニフ ネン ねんいり。  
【入貢】ニフ コウ 外國から來て、みつぎものをたてまつる。  
【入院】ニフ イン 病院にはいる。  
【入梅】ニフ バイ つゆのいり。陽曆六月十日ごろ。「と。  
【入寂】ニフ ジャク 僧の死ぬこと。

【入費】ニフ かかり。

【入滅】ニフ 僧の死ぬこと。

【入朝】ニフ 外國人がわが國に来ること。○來朝。

【入場】ニフ その場所にはいる。

【入營】ニフ 兵隊となつて兵營にはいること。

【入學】ニフ 學校にはいる。

【入御】ニフ 天子様が與御殿へおはいりになること。

【入寇】ニフ 外國から攻めて來る。

【入魂】ニフ 心やすい。な

【入道】ニフ 僧になる。○佛道に入つた三位以上の人をいふ。

【入道雲】ニフ 雲 かつの空にむくむくと入道のあた



のやりに出てくるも。

【入選】ニフ 選に入る。えらばれる。○當選。

二畫

【内】ナイ

【内心】ナイ ところのうち。

【内外】ナイ うちとそと。内國と外國。

【内外多事】ナイ うちとそと。ちもそともいそがしいこと。

【内宮】ナイ 伊勢の皇大神宮。

【内地】ナイ くにのうち。

○ほんごく。○本土。

【内治】ナイ 國のうちのみつりごと。

【内科】ナイ 内臟(びん)のやまひをなほす醫術(びん)。

【内相】ナイ 内務大臣。

【内侍】ナイ 宮中におつかへする女官。

【内侍所】ナイ 三種の神器の一なる入咫鏡(びん)をおまつりしてある宮中の御殿。賢所(びん)。

【内海】ナイ 陸地と陸地とにほさまれてゐるうみ。うちうみ。

【内規】ナイ うちわだけのき

【内意】ナイ 心のうちに思ふこと。ないないの考へ。

【内情】ナイ うちわのやう

【内帑】ナイ 天子のおてもと

【内助】ナイ 妻が家にあつてその夫に力をそへること。

【内閣】ナイ 政府の各大臣があつまつて、國のまつりごとを相談するところ。

【内訌】ナイ うちわもめ。

【内約】ナイ ないないのやく

【内通】ナイ ひそかに敵に心を通じる。うらざり。

【内應】ナイ まへにおなじ。

【内密】ナイ ないない。ないしよ。

【内諾】ナイ ないないにしよ

【内裏】ナイ 天子のおすまひ。

【内實】ナイ うちわのじつさいのやうす。うちま

【内談】ナイ ないないの相談

【内職】ナイ 本職のひまにするしごと。

【内亂】ナイ 國内のみだれ。

【内證】ナイ ないしよ。ないない。うちわ。

【内臟】ナイ はらわた。ざうふ。胃・腸・肺など。

【内用藥】ナイ のみぐすり。

【内服藥】ナイ のみぐすり。

【内親王】ナイ 皇子以下皇支孫にいたるまでのひめ

【内憂外患】ナイ 國內のことから來る心配と外國との問題(びん)のために

【内閣總理大臣】ナイ 國の

【全】ゼン 各省大臣の上であり、内閣のかしらとなつて行政を統一する大臣。○首相。

【全力】ゼン ありたけのちから。

【全國】ゼン 國ぜんたい。國

【全土】ゼン まへにおなじ。

【全身】ゼン からだちゆう。

【全快】ゼン びやりきがす

【全治】ゼン まへにおなじ。

【全癒】ゼン まへにおなじ。

【全長】ゼン ぜんたいの長さ。

【全勝】ゼン まるがち。か

【全般】ゼン のこらず。ぜん

【全滅】ゼン のこらずほろび

【全然】ゼン まつたく。まる

【全集】ゼン 或人のあらはし

【全額】ゼン のこらずのた

【全焼】ゼン まるやけ。

【全盛】ゼン まつさかり。き

【全篇】ゼン 書物のはじめか

【全廢】ゼン すつかりやめ

【全體】ゼン すべて。みな。

【全權】ゼン すべてのけん

【全權委員】ゼン ある

【全速力】ゼン できるだ

【兩】リヤウ

【兩人】リヤウ ふたり。

【兩立】リヤウ ならびたつ。

【兩全】リヤウ どちらもうし

【兩舌】リヤウ りそをつくこ

【兩面】リヤウ うらおもて。

【兩端】リヤウ りやうはらの

はし。

【兩様】リヤウ ふたいろ。

【兩親】リヤウ ふたおや。父母。

【兩斷】リヤウ ふたつにたち

【兩替屋】リヤウ お金のとりかへをする店。

### 八部

193' 【八】ハツ

●やつ。●やつつ。

【八方】ハツ 四方(東・西・南・北)と四隅(東南・東

北・西南・西北)。

【八卦】ハツ うらなひ。易

【八紘】ハツ 八方のすみ。地のはて。

【八紘爲宇】ハツタワウ 世

界を一つの家とする。世界の國がそれぞれそのところを得て、おだやかにくらすこと。

【八景】ハツ 八つのよいけし

【八咫鏡】カガミ 三種の神器のうちのミカガミ。

【八雲たつ】タツ 出雲の枕詞。

【八方美人】ハツバウ だれにでも気に入られるやうにあしらふ人。

【八岐の大蛇】ヤマタノ素戔嗚尊(スサノヲ)が退治(たいじ)された、頭が入つ、尾が入つあるといふ大きなへび。

【八坂瓊曲玉】マサカニノ三種の神器のうちのひとつ。

### 二畫

194 【公】コウ

●おほやけ。●きみ。

【公正】セイ あきらか度ただし。

【公立】リツ 府縣市町村などで立てたもの。

【公布】フ ひろくしらせ

【公平】ヘイ えこひいきがないこと。

【公式】シキ ●おもてだったやりかた。●すべての場合の型(かたち)となるさだめ。

【公告】コウ 世間いつぱんにつけ知らす。「つていふ」。

【公言】ゲン おほぜいにむか

【公共】キョウ 世の中ぜんたい。

【公共心】シン コウキョウ 自分一人のためでなく、みなの人のため世の中のためにつく

【公共團體】コウキョウ シ 町村など。

【公判】ハン 一ばんの人のまへでさいばんすること。

【公表】コウ おもてむきに世間にしめす。

【公使】シウ 國の代表として外國に行つてゐる役人。

【公事】コウ おほやけのこと。朝廷のこと。(「私事」の反對)

【公設】セツ おほやけの費用でまうけること。

【公報】コウ やくしよから一ばんへの知らせ。

【公道】ダウ 正しい道。「め」。

【公務】ム おほやけのつと

【公然】ゼン おもてむき。

【公然の祕密】コウゼン 表

【公義】コウ 正しい道。

【公卿】コウ むかし、朝廷につかへた身分の高い人。

【公益】コウ ひろく世の中の

【公衆】コウ せけんの人た

【公爵】コウ 華族(ワロウ)の中

【公選】コウ 多くの人からえ

【公認】コウ 國家又は公共團

【公德】コウ せけんのおほぜ

【公職】コウ おほやけのや

くめ。

【公論】コウ ●かたよらない

【公達】コウ かげさまたち。

【公民】コウ 二十五歳以上の

【公民権】コウミン 市町村の

【公文書】コウブン 役所から

【公開状】コウカイ ある人に

【公明正大】コウメイ 心に

【公明正大】コウメイ 心に

【公明正大】コウメイ 心に

と。

195 【六】ロク

【六合】ロク 天地と四方。○

【六花】ロク 雪のこと。

【六法】ロク 「ロツボウ」とよ

【六軍】ロク 天子のぐんぜ

【六親】ロク 父・母・兄・弟・

【六親】ロク 父・母・兄・弟・

【六親】ロク 父・母・兄・弟・

【共同】コウ 一つしよにな

さうとする心。

【公共團體】コウキョウ シ 町村など。

【公判】ハン 一ばんの人のまへでさいばんすること。

【公表】コウ おもてむきに世間にしめす。

【公使】シウ 國の代表として外國に行つてゐる役人。

【公事】コウ おほやけのこと。朝廷のこと。(「私事」の反對)

【公設】セツ おほやけの費用でまうけること。

【公報】コウ やくしよから一ばんへの知らせ。

【公道】ダウ 正しい道。「め」。

【公務】ム おほやけのつと

【公然】ゼン おもてむき。

つてする。○一致。

【共有】キョウ 一つしよにも

【共犯】コウ 二人以上のも

【共和】コウ 大ぜいが力を

【共和國】コウコウ 定まつた君

【共鳴】キョウ ●同じ音を出

【共通】キョウ どちらにもあ

【共謀】キョウ ともににか

【共進會】キョウシン 多くの

物を集め、これを大ぜいの人に見せてそのよしあしを定める會。

五 畫

197 【兵】ヘイ ヒヤウ

●つはもの。(いくさする人。又、いくさだらぐ) ●いくさ。戦争。

【兵戈】ヘイ いくさ道具。戦争のこと。

【兵力】ヘイ リョク 兵士のかず。

【兵士】ヘイ ぐんじん。へいたい。

【兵書】ヘイ いくさのしかたを書いた本。「た。

【兵法】ヘイ いくさのしか

【兵役】ヘイ エキ 兵士となるつとめ。

【兵事】ヘイ ジ いくさについて

のことがら。軍隊についてのことから。

【兵馬】ヘイ いくさだらぐと馬。●いくさ。○軍事。

【兵器】ヘイ いくさのたぐ。

【兵營】ヘイ 兵たいの居るい

【兵曹】ヘイ サウ 海軍下士官。(陸軍の軍曹にあたる)「へ。

【兵備】ヘイ いくさのそな

【兵亂】ヘイ ラン いくさ。「の。

【兵糧】ヘイ ラウ 兵隊のたべも

【兵站部】ヘイ タンブ いくさの時

に軍隊のうしろにあつて、軍用品をあつめたり、おくつたりするところ。

【兵馬の權】ヘイ バケン 軍隊をすべつかさどる權力。

六 畫

198 【其】キ

●その。●それ。●そ。●其處【コ】 そのところ。そなた。「う。

【其許】モト おまへ。そのは

【其の方】ソノ 目下のものに

向かつていふことば。そち。おまへ。

【其の任にあらず】ソノニ

ズラ そのやくにあたるほどのうでがない。

199 【具】グ

●そなふ。●そなはる。●うつは。だうぐ。●と●もに。●つぶさは。

【具申】シン グ しくはく申しあ

【具足】ソク グ よろひ。

【具有】イグ ウ そなへてゐる。

【具備】ビグ ことごとくそなはる。

【具陳】グ チン しくはくのべ

【具象】グ シヤウ 次におなじ。

【具體】グ タイ 形をそなへてゐること。

【具限の士】グ ガン ものごとのよしあしを見わかる力を持つてゐる人。

200 【典】テン

●のり。おきて。●ふみ。●書物。●つかさどる。●すけ。

【典例】テン レイ きまつてゐるし

【典型】テン ケイ かた。てほん。

【典雅】テン ガ たくたくしてひん

【典籍】テン セキ しよもつ。

【典禮】テン レイ さだまつてゐるれいしぎ。  
【典據】テン キヨ よりどころ。  
【典範】テン パン 模範たるべきおきて。○法典。

八 畫

201 【兼】ケン

●かぬ。あはす。●かねて。前以て。

【兼用】ケン ヨウ 一つで二つ以上

【兼任】ケン ニン やくをかけもち

【兼備】ケン ビ かねそなへる。

【兼業】ケン ゲツ 二つ以上の業を

いとなむ。

十四 畫

202 【冀】キ こひねがふ。  
【冀望】キ バウ のぞみ。のぞむ。

口 部

二 畫

203 【四】シ

圓(口部十畫)の簡易字體。【四】を見よ。

三 畫

204 【冉】ゼン

「伊弉冉尊」は「イザナミノ

ミコト」。

205 【册】サク

●かきつけ。ふみ。●さ

四 畫

206 【再】サイ

●ふたたび。

【再三】サン サイ 二ども三ども。

【再生】サイ セイ いきかへる。上

【再造】サイ ザウ つくりなほす。

【再婚】サイ コン 二度目のけつこ

【再犯】サイ ハン ふたたび罪をを

【再考】サイ カウ かんがへなほ

【再拜】サイ ハイ ふたたびくりかへしておしぎをする。手紙の終りにつける敬語。

【再建】サイ ケン たてなほす。

【再發】サイ ハツ またおこる。

【再會】サイ ワイ ふたたびあ

【再舉】サイ キョ ふたたび事をお

【再選】サイ セン ふたたびえらば

【再興】サイ コウ すたれたのをまた

七 畫

207 【冒】バウ

をかす。

【冒險】ケン バウ あぶないことを

【冒頭】トウ バウ まへおき。

【冒瀆】トク をかしげがす。ぶれいをする。

【部】

【二畫】

208 【元】 ジョウ

【元長】 ジョウ ムダが多くてながたらしい。

【元員】 ジョウ ムダであまつてゐる人かず。

【元談】 ジョウ ムダばなし。

【元費】 ジョウ ムダなつひえ。

【七畫】

209 【冠】 クワン

【冠】 かんむり。かしら。いちばん上の位。

【冠者】 クワン 元服してかんむりをつけた少年。

【冠絶】 セツ 第一番にすぐれてゐる。

【冠禮】 レイ 男子が二十歳になつてはじめて冠をいただくぎしき。○元服。

【冠婚葬祭】 クワンコン 元服と婚禮と葬式とお祭。儀式やおまつり。

【八畫】

210 【冥】 メイ

【冥冥】 メイ くらいさま。

【冥土】 ド メイ 死んでからたましひのゆくところ。よみぢ。あの上。

【冥途】 ド メイ まへにおなじ。

【冥加】 ガ ミヤウ かみやほとけ

【冥利】 ミヤウ 前におなじ。

【冥晦】 クワイ まつくら。

【冥想】 サウ メイ ふかくかんがへる。「はひ。」

【冥福】 フク メイ 死んだ後のさい

【三畫】

211 【冬】 トウ

【冬季】 キ トウ ふゆ。

【冬至】 ジ トウ 一年の中で日の一ばんみじかい日。陽暦では毎年十二月二十二日頃に

【冬眠】 ミン トウ 蛇・蛙などが多の間何もたべずに土の中に

【冬期】 トウ ふゆのあひだ。

【冬木立】 フユコ 多になつて葉のおちた木のたつてゐる林。

【五畫】

212 【冶】 ヤ

【冶】 いる。かねをとかしてゐる。なまめかしい。

【冶金】 キン 金属をふきわける。

213 【冷】 レイ

【冷水】 スキ つめたい水。

【冷水摩擦】 レイスキ つめたい水でからだをこするこ

【冷汗】 カン レイ ひやあせ。

【冷却】 キヤク さめる。ひえる。

【冷笑】 セウ はかにしてわらふ。あざわらふ。

【冷評】 ヒヤウ ひやかし。

【冷氣】 レイ つめたい空氣。

【冷淡】 タン よそよそしい。

【冷酷】 コク はなはだむごたらしい。

【冷靜】 セイ おちついてしづかなこと。

【冷遇】 グウ そまつなあつかひ。「くはへる。」

【冷蔵庫】 ザウコ 夏などに、たべものなどをくさらないやうにつめたくしてしまつておくもの。

【八畫】

214 【凄】 セイ

【凄艶】 エン すごいほどうつくしい。

【凄慘】 セイ むごいこと。

【凄愴】 セイ ものすごい。

【凄風】 フウ ものすごいかぜ。

【凄雨】 ウ セイ ものさびしくふるあめ。「げなこと。」

【凄凉】 セイ すごくさびし

215 【准】 シユン

【准尉】 ジュン 少尉のすぐ下の位の軍人。

216 【凍】 トウ

【凍死】 シ トウ こごえじに。

【凍原】 ゲン こほりつめてゐる平原。

【凍結】 ケツ こほる。

【凍傷】 シヤウ しもやけ。

【十四畫】

217 【凝】 ギョウ

【凝固】 コ ギョウ かたまる。

【凝結】 ケツ ギョウ かたまる。

【凝視】 シ ギョウ じつとみつめる。「つまること。」

【凝集】 シフ ギョウ かたまつてあ

【凝滯】 タイ ギョウ とどこほる。はかどらぬ。「ること。」

【凝議】 ギョウ よく相談をす

【凡部】

【一畫】

218 【凡】 ハン

【凡人】 ジン ふつうの人。

【凡庸】 ヨウ あたりまへ。

【凡骨】 ボン もろもろ。か

【凡例】 レイ 書物のまへが

【凡俗】 ソク つまらぬ人物。

【凡くら】 クラ つまらない

人。智恵や考へのない人。

三 畫

219 処

處(戸部五畫)の簡易字體。2091を見よ。

十 畫

220 凱

凱歌【ガイ】

【凱歌】ガイ かちいくさをよるこぶらた。「かへる。凱旋【ガイ】いくさにかつて

口部

二 畫

221 凶

【凶】キヨウ あし。わるし。わざ

はひ。

【凶報】キヨウ ①わるい知らせ。②死んだしらせ。

【凶年】キヨウ ①ききんどし。②前におなじ。

【凶作】キヨウ ①作物のよくみのらぬこと。②不作。

【凶事】キヨウ えんぎのわるいこと。不吉(フキョウ)なこと。

【凶夢】キヨウ わるいゆめ。

三 畫

222 凸

【凸】トツ ①なかだか。②凸凹。

【凸凹】トツ たかひく。てこぼこ。③凸凹。

【凸起】キツ たかくもりあがつたところ。「かがみ。

【凸面鏡】トツメン 中だかのキヤウ

223 凹

【凹】アフ ①なかびく。②ぼこ。

【凹凸】トツ たかひく。てこぼこ。③凸凹。「かがみ。

【凹面鏡】アフメン 中くぼのキヤウ

224 出

【出】シユツ スキ ①いづ。②でる。③いだす。④だす。

【出入】ニフツ でいり。だし。いれ。「す。くわじ。

【出火】クワツ くわじを出水【スキ】水がでる。おほみづ。

【出生】シユツ 子がうまれ

【出産】サン 前におなじ。

【出世】シユツ りつばな人になること。「とめにでる。

【出仕】シユツ やくしよへつ

【出立】タツツ でかける。

【出色】シユツ ひときはめだつ。

【出身】シユツ ある學校またはある土地から出たこと。

【出帆】バンツ ふねがみなとを出る。ふなで。

【出沒】ボツ 見えたりかくれたり。「りだす。

【出兵】ベイ へいたいをく

【出師】スキ まへにおなじ。

【出征】シユツ 兵隊となつて戦地【チ】にゆくこと。

【出典】シユツ よりどころ。③典拠【チ】。

【出家】ケツ ①僧になる。

【出現】シユツ あらはれる。

【出陣】チンツ いくさにて

てゆく。

【出演】シユツ えんぜつやげいなどにでる。

【出奔】シユツ にげてあとをくらます。

【出版】バンツ 書物をつくつて世の中に出す。③刊行。④印行。

【出動】シュツ 出てはたら

く。(軍隊の出ることに多くつかふ)

【出馬】シュツ ①馬のつて

【出納】シュツ ①出。②出。③出し。④出し。

【出張】シュツ 職務【ギョウ】のためによそへ出かけること。

【出御】ギョ 天子がおでましになること。「びだつ。

【出發】ハツツ でかける。た

【出頭】シュツ ある場所に出る。かほを出す。(おもに役所などに出ることにいふ)

【出願】シュツ ねがひでる。

【出藍】ランツ あるからとつた青色がもとのあるよりこいやうに、弟子が先生よりえらくなることにいふ。

六 畫

225 函

【函】カン ①はこ。②よろひ。

刀(リ)部

226 刀

【刀】タウ ①かたな。

【刀工】コウ ①かたなかぢ。

【刀圭】ケイ ①くすりをもるさし。②醫術。醫者。

【刀槍】サウ ①かたなとやり。

【刀劍】ケン ①かたなとつるぎ。「まつていふことば。

【刀自】ジ ①年とつた女をうや

一 畫

227 刃

【刃】ニン ①やいば。②は。

【刃傷】ヤウ ①はもので人をきずつけること。

二 畫

228 分

【分】ブン ①わかつ。②わく。③わ

【分室】ブン ①一つのへやから

【分立】リツツ べつべつに立

【分布】ブン わかれちらば

【分歧】ケン わかれたえだみ

【分歧點】ケンキ わかれるところ。

【分明】メイ ①はつきりしてあ

【分秒】ベウ ①一分一秒。わづ

【分限】ゲン ①身のほど。

【分別】ベツ わきまへ。かん

【分散】サン ①わかれわかれ

【分派】バン わかれ。

【分泌】ビン ①動物の内部か

【分業】ブン おほぜいの人が

【分業】ブン おほぜいの人が

【分業】ブン おほぜいの人が

【分業】ブン おほぜいの人が

【分業】ブン おほぜいの人が



【分配】ブン わけてくばる。

【分析】ブン こまかにわけ

【分際】ブン ザイ みぶん。「る。

【分裂】ブン わかれる。さけ

【分解】ブン まとまつてゐる

【分銅】ブン はかりのおも

【分量】リブン かさ。

【分類】ブン 種類(ルキ)にした

【分離】リブン はなれる。

【分擔】ブン あることを手わ

【分掌】ブン 手わけしてし

【分水界】ブン スキ 次(ガイ)に同

【分水嶺】ブン スキ 二つの河

【切】セツ サイ

【切迫】セツ さしせまる。お

【切開】セツ きりひらく。

【切實】セツ まことに。たし

【切諫】セツ 思ひきつていさ

【切望】セツ しきりにのぞ

【切腹】セツ はらをきる。

【切齒】セツ はぎしり。はが

【切斷】セツ たちきる。

【刈】カイ カイ

【刈込】カイ 木や草をかりと

【刊】カン カン

【刊行】カン 本にして出す。

【刑】ケイ ケイ

【刑法】ケイ 刑罰の事をさだ

【刑事】ケイ 刑法について

【刑場】ケイ しおきば。

【刑罰】ケイ つみ。(刑はおも

【刑務所】ケイ ム 罪をかし

【列】レツ レツ

【列記】レツ ならべてかく。

【列傳】レツ 多くの人の傳記

【列世】レツ だいたい。上よ。

【列席】レツ その場につらな

【列車】レツ 車をいくつもつ

【列國】レツ 多くの國。

【列島】レツ ならびつづいて

【列聖】レイ セイ 代代の天子。

【列強】レイ ケツ つよい國。

【列擧】レイ ケツ ならべたてる。

五 畫

【初】シヨ シヨ

【初日】シヨ ニチ はじめの日。

【初志】シヨ はじめのかんが

【初心】シヨ まだことになれ

【初頭】シヨ はじめ。

【初冬】シヨ ふゆのはじめ。

【初老】シヨ 四十歳のこと。

【初旬】シヨ ユン 月のはじめの

【初步】シヨ ホ 十日のあひだ。○上旬

【初更】シヨ カウ 午後八時ごろ。

【初秋】シヨ シウ あきのはじめ。

【初夏】シヨ カ シウ なつのはじめ。

【初春】シヨ シユン 春のはじめ。

【初期】シヨ キ はじめのころ。

【初等】シヨ トウ 「初步」に同じ。

【初陣】シヨ チン はじめていくさ

【初學】シヨ ガク まなびはじめ。

【初一念】シヨ ネン 思ひこんだ一心。

【初對面】シヨ タイ はじめて

【判】ハン ハン

【判別】ハン みわける。

【判決】ハン ケツ さびき。よしあ

【判決例】ハン ケツ さいばん

【判然】ハン ゼン はつきりと。

【判定】ハン テイ みわけさだめ

【判明】ハン メイン はつきりとわか

【判事】ハン ジン 裁判官(サイジ)。

【判断】ハン ダン よしあしをかん

【別】ベツ ベツ

【別居】ベツ キヨ わかれてくる

【別状】ベツ ジヤウ かはつたやう

【別派】ベツ パツ ほかの流儀(リウギ)。

【別荘】ベツ サウ 本宅からはなれ

【別條】ベツ テウ かはつたこと。

【別紙】ベツ シヤウ ほかの封筒(フウ)

【別封】ベツ アウ ほかの封筒(フウ)

【別離】ベツ リ ヲヘがみ。

【別離の宴】ベツ リ ノエン わかれ

【別懇】ベツ コン ひじやうになか

【別天地】ベツ テンチ せけんとか

【別世界】セカイ 前におなじ  
【別格官幣社】ワシカク  
ヤ 臣下で國家に格別のでが  
らのあつた人をまつつてあ  
るやしろ。

237 利

【利】リ  
①とし。するどい。②ま  
うけ。

【利口】リコウ ①かしこい。②  
口さきがうまい。

【利己】リコ 自分のためだけを  
はかること。

【利子】リシ 「利息」に同じ。

【利用】リヨウ ためになるやう  
にうまくつかふこと。

【利他】リタ 他人のためをはか  
ること。

【利息】リソク 金をかりた額と  
してはらふかね。

【利害】リガイ そんなとく。

【利益】リエキ ①ためになるこ  
と。②まうけ。「ぐみ」。

【利器】リキ ①よくきれるはも  
の。②べんりなきかい。

【利殖】リシヨク 金をふやすこ  
と。

【利發】リハツ かしこい。「利」。

【利權】リケン 利益を得る權

【利率】リツ 利子のわりあ  
ひ。

【利潤】リジュン まうけ。「心」。

【利慾】リヨク まうけたがる

【到底】テイダイ とても。

六 畫

238 到

【到】タウ  
いたる。

【到來】ライ ①くる。②ほか  
からもらふ。

【到來物】モノ ほかから  
もらつたもの。

【到着】チャク つく。

【到達】ダツ とどく

239 制

【制】セイ  
①さだむ。きめる。②と  
どむ。おさへる。③おさ  
て。のり。

【制壓】セイ 自由にできぬや  
うにおしつけること。

【制止】セイ とめる。やめさ  
せる。

【制定】セイ さだめる。「り」。

【制度】セイ おきて。きま  
【制規】セイ さだめ。きそく。  
【制服】フク セイ きめられてゐる  
きもの。

【制裁】サイ ころしめ。  
【制札】サイ してはならぬこ  
とをかいた立札(227)。



240 刷

【刷】サツ  
【制御】セイ おさへ治める。  
【制限】セイ かぎり。①し  
きりをつける。「ぼうし」。

【制帽】セイ きめられてゐる

【刷子】サツ はけ。ブラシ。

【刷毛】ケ 前におなじ。

【刷新】サツ すつかりあたら  
しくする。

241 券

【券】ケン

てがた。ふだ。

【券面】ケン てがたの表にか  
いてある金高。

242 刹

【刹】サツ  
てら。

【刹那】ナ セツ ごくみじかい時  
間。

243 刺

【刺】セキ  
①さす。②とげ。③せし  
む。④なふだ。

【刺青】セイ いれずみ。○文  
身。「人」。

【刺客】セキ だましうちする  
身。

【刺戟】ゲキ かんじさせる。  
つよく心をつきうごかすこ  
と。

【刺繡】シウ むひとり。  
【刺身庖丁】バウチヤウ さ  
しみつくる時使ふ庖丁。

244 刻

【刻】コク  
①きざむ。②とき。

【刻下】カク ただいま。「る」。

【刻苦】クク ほねをりつとめ  
【刻苦勉勵】ベンレイ ほね  
をりつとめてべんきやうす  
る。「き」。

【刻限】ゲン きめられたと

【刻刻】コク だんだん。

【刻一刻】コク イツ しいし  
だい。だんだん。

七 畫

245 則

【則】ソク  
①のつとる。②のり。③  
すなはち。

246 削

【削】サク  
けづる。

【削除】サク けづりのける。  
はぶく。

【削減】ゲン けづりへらす。

247 刺

【刺】ラツ  
もとる。

248 前

【前】ゼン  
①まへ。②さき。③すす  
む。

【前略】ゼン 普通てがみの  
前にかく文をはぶくこと。

【前半】ゼン はじめの半分。

【前身】ゼン 以前(21)の身  
分。

【前古】ゼン むかし。

【前世】ゼン まへのよ。

【前兆】ゼン まへじらせ。  
【前非】ゼン まへにしたわる



249 剖

【剖】ボウ  
①さく。②わかつ。

250 剛

【剛】ガウ

【前記】ゼン まへにかいてあ  
【前科】ケン まへに罪をか  
して罰せられたこと。

【前途】ゼン ゆくさき。

【前述】ゼン まへのべた  
こと。

【前裁】ゼン ①にはびさきにう  
ゑた草木。②にはさき。う  
ゑこみ。

【前後】ゼン あとさき。

【前驅】ゼン 馬につて列の  
まつさきにたつもの。さき  
がけ。

八 畫

249 剖

【剖】ボウ  
①さく。②わかつ。

250 剛

【剛】ガウ

こはし。つよい。

【剛直】ガウ チョク つよくてただしい。

【剛情】ジャウ かないぢで人にしたがはない。ぐわんこ。

【剛健】ガウ ケン つよくちやうぶなこと。

【剛膽】ガン タン きものふといこと。

【剛邁】ガウ マイ つよくてすぐれてゐる。

【剛毅】ガウ キ こころのしつかりしてゐること。

【剛氣果斷】ガウキ ガウケン 心がしつかりとしてゐて思ひきりよくはきはきしてゐる。

251 【劑】

劑(刀部十四畫)の簡易字體。252を見よ。

252 【剝】

ハク

はぐ。むく。

【剝脱】ハク タク はがしおとす。又、はがれおちる。

【剝落】ハク ラク はがれおちる。

【剝奪】ハク ダク はぎとる。

【剝製】ハク セイ 鳥やけものなどの皮をとり、それでもつて實物に似せてつくること。

九 畫

253 【剩】

ジヨウ

あまる。あまり。あまつさへ。おまけに。

【剩員】ジヨウ キン 上けいの人かす。

【剩餘】ジヨウ ヨウ あまり。

254 【副】

フク

そふ。そへ。たすけ。かなふ。

【副因】フク イン おもなる原因にそうてそのたすけとなつた原因。

【副本】フク ホン 原本のうつし。

【副官】フクワン 陸海軍人の長官についてこれをたすけるやくめ。

【副將】フクシャウ 主將の次で、主將をたすけるもの。

【副署】フクショ 勅語の御名御璽に關係の大臣が姓名をそへがきすること。

【副業】フクガク かたてまの家業。ないしよく。

【副食物】フクシヨク おかず。さい。

【副産物】フクサン 目的の品をつくる時、そのついでに出来る品。

十 畫

255 【割】

カツ

さく。わる。わり。わりあひ。

【割烹】カツ バウ れうり。「ぬ。

【割腹】カツ プク はらをきつて死

【割愛】カツ アイ をしいけれども思ひきつてすてる。

【割據】カツ キョ 土地を分かち取つてそこにたてこもる。

【割讓】カツ ヤウ 一部分を他へゆつること。

【割印】カツ イン 二つの書きものの双方へかけて一つの印をおすこと。

256 【創】

サウ

きざつく。きざす。きりきず。はじむ。

【創立】サウ リツ はじめて立てる。

【創見】ケン サウ 新しいかんがへ。

【創建】ケン サウ 始めてたてる。

【創設】セツ サウ はじめてまうける。

【創始】シ サウ ものごとはじめる。

【創作】サク サウ あたらしくつくること。又、新しくつくれた詩や小説。

【創造】サウ サウ はじめてつくる。つくりだす。

【創業】ゲフ サウ 業をはじめめる。國のもとのゐるをたてる。

【創傷】シャウ サウ きず。

十三 畫

257 【劇】

ゲキ

はげし。しばぬ。

【劇甚】ゲンキ ジン はなはだしい。

【劇烈】ゲキ レツ はげしい。

【劇務】ゲキ ム いそがしいつとめ。

【劇職】ゲキ ショク 前におなじ。

【劇場】ゲキヤウ しばるごや。

【劇戦】ゲキ セン はげしいたたかひ。

【劇薬】ゲキ ヤク 分量(ワタ)をまぢがふと死ぬこともあるつよくすり。

【劇變】ゲキ ヘン きふにかはる。

十四 畫

258 【劑】

ザイ

まぜあはせたくすり。

259 【劍】

ケン

つるぎ。

【劍士】ケン シン 次におなじ。

【劍客】ケン カク けんじゆつのでまい人。

【劍術】ケンジュツ 撃劍(ウチ)。

【劍道】ケンダウ 前におなじ。

【劍舞】ケンブ 詩をうたひながら刀を持つてまふ舞。

力 部

260 【力】

リキ

ちから。つとむ。

【力作】リキ サク ほねををつてつくる。その作品。

【力士】リキ シ すまふとり。

【力行】リキヨク カウ 力をつくして行ふ。「たらき。

【力量】リキヤウ リヤウ うでまへ。は

【力説】リキセツ セツ ねつしんにと

【力戦】リキョク セン ちからをつくしてたたかふ。

三 畫

261 【功】

クウ

いさを。てがら。しごと。

【功名】クウ ミヤウ てがらを立てて名をあげる。

【功臣】クウ シン てがらのあるけらい。

【功勞】クウ ラウ てがら。ほねをり。

【功業】クウ ゲフ てがらとなつたしごと。いさを。「と。

【功罪】クウ ザイ てがらとつみ

【功德】クウ ドク 人のためにするよいこと。めぐみ。

【功績】クウ セキ てがら。



【勘氣】カン 次におなじ。

【勘當】カン 親や主人がその子や弟子「子」とのえんをきること。

【勘辨】カン ゆるす。がまんする。こらへてやる。

273 【務】ム

●つとむ。●つとめ。

十 畫

274 【勝】シヨウ

●かつ。●かち。●すぐる。●四まさる。●たふ。●あけて。

【勝手】カツ ●わがまま。●だいたいどころ。●やうす。●右手。

【勝地】シヨウ けしきのすぐれてよいところ。

【勝利】リシヨウ 勝ち。

【勝負】シヨウ 勝ち負け。

【勝敗】シヨウ 勝ち負け。

【勝景】シヨウ よいけしき。

【勝算】シヨウ かつみこみ。

【勝報】シヨウ かつたしらせ。

【勝氣】カチ まげんき。

【勝ちどき】カチ いくさに勝つたときにみんなの兵たがさけぶときのこと。

【勝手元】カッチ ●だいたいの入口。●ものをにたきするところ。

275 【勞】ラウ

●つかる。●いたはる。

【勞力】ラウ 是たらき。ほねをり。

【勞役】ラウ ちからしこと。

【勞苦】ラウ つかれくるしむ。ほねをる。○苦勞。

【勞働】ラウ ほねをつてはたらく。「ふ金」。

【勞銀】ラウ はたらいてもら

十一 畫

276 【募】ボ

●つめる。

【募集】ボ ひろくもとめあつめる。

277 【勢】セイ

いきほひ。

【勢力】セイ いきほひ。ちから。

【勢力範圍】セイリョク いきほひの行きとどく所。

【勢望】セイ いきほひと人のうけ。

【勢援】セイ いきほひをつけたりおし。

278 【勤】キン

●つとむ。●つとめ。

【勤王】キン 「勤皇」に同じ。

【勤皇】キン 「キンノウ」とよむ。天皇の御ためにつくすこと。「せいだす」。

【勤勉】キン つとめはげむ。

【勤務】キン つとめ。

【勤情】キン せいだしてつとめるのと、なまけるのと。

【勤勞】キン ほねをつてはたらく。

【勤儉】キン よくはたらいて、むだつかひをしない。

【勤績】キン ひきつついてつとめる。

【勤學】キン せいだしてまな

【勤行】ゴン ●佛教の道をよくをさめつとめること。

●佛のまへにお経「きん」を上げる。おつとめ。

十四 畫

279 【勳】タン

●いさを。●いさをし。てがら。

【勳功】タン いさを。てがら。

【勳位】タン てがらのあつたものにきづけられるくら

【勳章】タン てがらのあつたことをあらはすために賜

十五 畫

280 【勵】レイ

●はげむ。●はげます。

【勵精】レイ こころをはげます。せいだす。「る」。

【勵聲】レイ こゑをはり上げる。おつとめ。

【勵行】レイ ●はげましてさせる。●はげんで行ふ。

十八 畫

281 【勸】クワン

すすむ。

【勸告】クワン わけをはなしてすすめる。

【勸業】クワン 産業をすすめる。はげますこと。

【勸誘】クワン すすめる。

【勸學】クワン がくもんをすすめる。「つのること」。

【勸進】クワン 寄附金などを

【勸進帳】クワン 寺などをたてるときそのいはれを

書いて、寄附「金」をあつめるのに使ふ帳面「せん」。

【勸善懲惡】クワンセン よいことをすすめる、わるいことをこらす。

勸 部

一 畫

282 【勺】シヤク

ますめ。一合の十分の一。

二 畫

283 【勾】コウ

●ひく。●かかはる。●まがる。

【勾玉】マガ むかし、人のくびかざりに用ひた「玉」の形をした玉。



【勾配】コウ かたむきのどあひ。

284 【勿】モチ なかれ。

【勿論】モチ いふまでもなく。

【勿體】モチ ものものしい。

【勿體ない】モチ ●をしい。●おそれ多い。

【勿體ふる】モチ たいそうらしくふるまふ。

285 【匁】メイ

もんめ。一貫の千分の一。

三 畫

286 【包】ハウ

●つつむ。●つつみ。

【包含】ハウ ふくみもつ。

【包括】クワツ 一つにひきく  
あめる。

【包容】クワツ 一つみいれる。

【包装】クワツ 荷つくり。

【包藏】クワツ つつみかくす。

【包圍】クワツ とりまく。かこ  
心にいだく。「む。

ヒ部

三畫

287 【化】ケツ

●かはる。●ばく。ばけ  
る。●ばかす。

【化石】セキ 動物や植物の石  
となつたもの。「どかぬ地。

【化外】クワツ 政治のゆきと

【化合】クワツ 二つ以上のもの

がひびあつて全くべつもの  
ものとなること。

【化膿】クワツ うむこと。

【化身】ケン シン 生まれかはり。

【化粧】ケン シヤウ おつくり。お  
しやれ。

三畫

288 【北】ホク

●きた。●にく。●まけ  
てにげる。

【北辰】シン ホク 北極星のこと。

【北風】フウ ホク きたかぜ。

【北國】コク ホク きたの方の國。

【北狄】チキ ホク 北の方のやばん  
じん。

【北端】タン ホク 北のはし。

【北極】キョク ホク 地軸(チ)の北  
のはし。せかいの北のはて。

【北極星】ホク キョク 北極の  
天にかがやく星、いつも動  
かない。

【北緯】ホク キ 赤道から北にあ  
る緯度。「かひ。

【北邊】ホク ヘン 北の方のくにざ  
ら緯度。

【北米】ホク ベイ 北アメリカ合衆  
國。

【北斗星】ホク ト 北極星の近  
くにある七つの星。○北斗  
七星。

【北半球】ホク タ 地球を赤  
道で南北にわけた北の半  
分。

二部

四畫

289 【匠】シヤウ

たくみ。

290 【匡】キヤウ  
ただす。すくふ

【匡正】キヤウ セイ ただしなほ  
す。

【匡救】キヤウ キヤウ わるいことを  
やめさせ、すくひたすける

八畫

291 【匪】ヒ

●あらず。(非に同じ)●  
わるし。

【匪徒】ヒ ト 團體(クワ)をくんで  
人を殺したり物をぬすんだ  
りしてあるくわるもの。

【匪賊】ヒ シヤク 前におなじ。

七部

二畫

292 【匹】ヒツ

●たぐひ。なかま。●ひ  
き。(反物二反のこと)  
又、牛馬などを數へるに  
いふ。

【匹夫】ヒツ 身分のひくい  
男。

【匹夫の勇】ヒツ ユウ 血氣に  
まかせた勇氣。かんがへの  
あさい勇氣。「女。

【匹婦】ヒツ 身分のひくい

【匹敵】ヒツ テキ つりあふ。

293 【区】ク

區(【部】九畫)の簡易字  
體。に【部】を見よ。

五畫

294 【医】イ

醫(【部】十一畫)の簡易字

九畫

295 【匿】トク

●かくる。●かくす。  
【匿名】メイ トク ●名をかくす。  
●本名でない別の名。

【區別】ベツ トク わかち。○差別。  
わける。

【區域】キキ トク しきり。さかひ。

【區區】クク トク ●まぢまぢ。いろ  
いろ。●つまらない。「り。

【區劃】クワク トク わかつ。しき  
り。

【區裁判所】クサイイ トク 一ぱ  
ん下の裁判所。

十部

297 【十】ジフ

【十全】ジフ セン 十分にゆきとど  
いて手おちのないこと。

【十分】ジフ ブン たらぬところが  
ない。

【十方】ジフ バウ 八方に上と下を  
加へたもの。

【十干】ジフ カン 甲子乙丑丙寅丁  
卯辰巳未庚申辛酉壬戌癸  
亥をいふ。

【十二支】ジフ シ 子丑寅卯辰巳未申酉戌亥をいふ。

【十二分】ジフ ニ 十分(【部】)と  
いふのをつよくいつたこと  
ば。

【十六夜】イザ ヨヒ 陰曆十六日の  
夜。

【十五夜】イザ ヨヒ ●陰曆十五日  
の夜。●特に陰曆八月十五  
日の夜。

【十字街】ジフ ジ ヨツツジ。

【十人十色】ジフ ジン 人が  
十人あればその性質(【部】)も  
十いろあるといふこと。で、  
人は何人あってもみなそれぞ  
れちがふといふたとへ。

【十二単衣】ジフ ニ 平安朝  
時代の女官のしやうぞく。



【十善の君】ジフ セン 天子  
のこと。

【十中八九】ジフ チュウ 十  
はかた。たいがい。

【十重二十重】ジフ ト かさ

なつた上にもかさなること。

一 畫

208 【千】セン

ち。百の十倍。

【千木】チ 神社のやねの雨はしにくみ合はせて高くつきだしてある木。



【千代】チ 千年。長い年月のこと。

【千代田の宮】チヨダ 皇居

【千代に八千代に】チヨニニ 永久に榮えますやうにといふことば。

【千古】コ がおほむかし。

【千秋】セン シウ 千年。ながい年月。

【千秋樂】ラク センシウ しばるやすまふなどのおしまひ。

【千載】ザイ セン 千年。ながい年月。

【千載一遇】センザイイチゲウ 千年にひとといふやうな中中こないよいをり。

【千草】チサ いろいろのくさ。

【千鈞】ケン セン ひじやうに重いこと。

【千金】キン セン たくさんのおか

【千尋】チン ヒロ 尋は六尺。たいそう長いこと、高いこと、深いことにいふ。

【千慮】リョ セン いろいろのかんがへ。手おちのないやうにかんがへること。

【千山萬水】バンセンマンスイ たく

さんの山や川。

【千仞の山】センジン 一仞は四尺。ひじやうに高い山。

【千言萬語】バンゴ いろいろさまざまのことば。

【千辛萬苦】バンシン さまざまのなんぎくらう。

【千差萬別】バンサ いろいろさまざま。

【千軍萬馬】バンケン 多くの兵士やたくさんの馬。

【千篇一律】センペン どれもこれも同じやうで變化のないこと。一本てうし。

【千變萬化】バンケン いろいろにかはること。

二 畫

299 【升】シヨウ

ますめの名。一合の十倍。

300 【午】ゴ

うま。(十二支の第七)ひる。

【午前】ゼン 夜中の十二時すぎからひるの十二時まで。ひるまへ。

【午後】ゴ ひるの十二時すぎから夜の十二時まで。ひるすぎ。

【午砲】ハウ ひるをしらせる大砲。どん。

【午睡】スキ ひるね。

【午餐】サン ひるめし。

三 畫

301 【半】ハン

なかば。はんぶん。

【半月】ゲツ 一月のはんぶん。

ん。ゆみはりづき。

【半生】ハン セイ 一しやうがいのはんぶん。

【半身】ハン シン からだはんぶん

【半面】ハン メン かたかたは。

【半島】ハン タウ 一方だけ陸地に

つづき、そのほかはすべて海にかこまれた土地。

【半開】ハン カイ はんびらき。

●やばんではないが、文明(ワタ)とまでは行かぬ状態(ワタ)。

【半徑】ハン ケイ さしわたしのは

【半途】ハン ト ちゆうと。「る。

【半減】ハン ゲン はんぶんへ

【半熟】ハン ジュク なまにえ。

【半死半生】ハンシハシヤウ 死

にかかつてゐること。

【半信半疑】ハンシンハンギ はん

ぶんはんたうとおもひ、はんぶんはうそではないかと思ふこと。

六 畫

302 【卑】ヒ

●ひくし。●いやし。

【卑下】ゲヒ へりくだる。

【卑近】キン ヒ てぢか。○通俗。

【卑屈】クヒ ツ いくぢがない。

【卑劣】レツ ヒ ころろがいやし

い。

【卑怯】ケフ ヒ おくびやう。

【卑怯未練】ヒケフ ヒケフ おくび

やうではぢをしらない。

【卑賤】セン ヒ 身分がひくい。

303 【卒】ソツ

●しもべ。めしつかひ。●兵士。●をはる。死ぬ。

●にはかに。●つひに。

【卒去】ソツ キョ 五位以上三位以下

【卒倒】ソツ タウ にはかにおぼえ

がなくなつてたふれる。

【卒然】ソツ ゼン にはかに。

【卒業】ゲフ ソツ 業をはる。

【卒塔婆】ソツ ト にはかにたてる

木のはしら。

304 【卓】タク

●たかし。●すぐる。●つくゑ。

【卓子】タク シ つかゑ。テーブル

【卓見】タク ケン すぐれたかんが

【卓越】タク エツ すぐれる。

【卓識】タク シキ すぐれたかんが

【卓抜】タク バツ すぐるよりぬけ

【卓上】タク タク つくゑの上。

【卓絶】タク ゼツ たいへんすぐれ

てゐる。づぬけてゐる。

305 【協】ケフ

かなふ。

【協力】ケフ リョク 力をあはせ

【協同】ケフ ドウ 心をあはせる。

【協定】ケフ テイ さうだんしてき

【協約】ケフ ヤク さうだんした上

でやくそくする。「うだん。

【協賛】ケフ ギ ばなしあひ。さ

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協賛】ケフ サン 力をあはせてた

【協心戮力】ケフシン 心をあはせ力をあはせて一生けんめいにやること。

七 畫

308 【南】ナン

●みなみ。●みんなみ。

【南方】ナン ミナミの方。みなみの國の方。みなみの國。

【南國】ナン ミナミの方にある國。

【南瓜】カボチャ たうなす。

【南面】ナン ミナミの方にむく。●君となつて國を治める。

【南極】ナン キョク 地軸〔地〕の南のはし。せかいの南のはし。

【南下】ナン ミナミの方へゆくこと。

【南端】ナン ミナミのはし。

【南緯】ナン 赤道から南の緯度。

【南蠻】ナン 足利時代の末から徳川時代にかけてわが國に來たポルトガルやイスパニヤの人などの國をかういつた。

【南蠻人】ナンバン 南蠻の國

【南半球】ナンキウ 地球を赤道で南北にわけた南のはし。

十 畫

307 【博】ハク

ひろし。

【博士】ハカ ●學者。ものしり。

【博士】ハク 専門〔学〕のがくもんにすぐれた人に授けられる學位。

【博愛】ハク ひろく愛する。

【博聞】ハク ひろく聞いてよくものごとを知つてゐる。

【博聞強記】ハクブンキョウキ ひろく聞きよくおぼえてゐること。

【博識】ハク ものしり。

【博學】ハク がくもんひろく博してゐる。

【博覽】ハク ひろく本をよんでものごとを知る。

【博物學】ハクブツツ 動物學、植物學、礦物學などをひつくるめてかういふ。

【博物館】ハクブツツ いろいろのものをならべて人に見せるところ。

【博覽會】ハクワン 産業や學藝についての品物をあつめならべて人に見せる會。

【博覽達識】ハクワンタクシキ たくさんの本をよんで、もの

道理にあきらかなこと。【博愛衆に及す】ハクアイオソ ひろく多くの人をいつくしむ。

卜 部

三 畫

308 【占】セン

●うらなふ。●うらなひ。●しむ。

【占據】セン ある場所をとつてそこにたてこもる。

【占有】セン 自分のものとして持つてゐる。

【占領】セン 取つて自分のものにする。

P(ㇷ)部

四 畫

309 【印】イン

しるし。

【印行】イン インさつして發行する。

【印形】イン イン。はん。

【印章】イン イン。はん。

【印判】イン イン。はん。

【印紙】イン ショウモンなどにはるきつて。

【印刷】イン イン はんにしたものをする。

【印象】イン イン ある感じが心にうつり、あとまでのこること。

【印鑑】イン イン 市・區役所、町・村役場にとどけておいたはん。

310 【危】キ

あやふし。あぶない。

【危地】キ あぶないところ。

【危殆】キ あやふい。あぶない。

【危惧】キ あやぶみおそれる。

【危急】キ さしせまつてあやふい。

【危急存亡】キキフ のこるかほろびるかといふあやふききほどこころ。

【危害】キ キザツつたり殺したりすること。わざはひ。さいなん。

【危険】キ あぶない。「と」。

【危篤】キ 病氣のおもいこと。

【危機】キ あぶないとき。

五 畫

311 【却】キヤク

●しりぞく。●かへつて。

【却下】キヤク さげもどす。

ねがひを取り上げない。

312 【卵】ラン

たまご。

【卵形】ラン たまごがた。

【卵生】ラン たまごからうまれる。

【卵白】ラン たまごのしろみ。

【卵黄】ラン たまごのきみ。

六 畫

313 【卷】ケン

●まき。●まく。

【卷末】ケン マツ 本のをはりのところ。

【卷尾】ケン 前におなじ。

【卷首】ケン 次におなじ。

【卷頭】ケン 本のはじめ。

七 畫

314 【卸】シヤ

●おろす。●おろし。

【卸賣】ウロシ おろし屋から小賣する人になること。

315 【即】ソク

●つく。●すなはち。

【即日】ソク その日。

【即位】ソク 天子が御くらむにおつきになる。

【即決】ソク その場ですぐきめる。

【即死】ソク その場ですぐ死ぬ。



【即時】ソク その時すぐ。

【即刻】ソク 「即時」に同じ。

【即金】ソク そのときすぐはらふ金。

【即吟】ソク そのばですぐ詩・歌・俳句などを作ること。

【即席】ソク そのば。そのばですぐつくること。●まにあはせ。

【即答】ソク そのばですぐへんじする。

九 畫

316 【卿】ケイ

●大臣。●天子がその臣下をおよびになるおことば。

【卿相】シヤウ 天子をたすけてまつりごとにあづかる高い役目。

尸部

二 畫

317 【厄】ヤク

わざはひ。

【厄日】ヤク わざはひの日、二十十日など。

【厄難】ヤク わざはひ。さいなん。

【厄介】ヤク ●めんだう。●じやま。

【厄介者】ヤク カイ もてあましのもの。

七 畫

318 【厘】リン

●一錢の十分の一。●一分の十分の一。

319 【厚】コウ

あつし。

【厚恩】コウ あついでぐみ。

【厚意】コウ しんせつ。

【厚志】コウ しんせつ。

【厚情】コウ てあついい心。

【厚顔】コウ つらの皮があつい。あつかましい。「と。」

【厚薄】コウ あついとろすい

【厚誼】コウ ●したしみ。●しんせつ。

【厚遇】コウ てあつくもてなす。しんせつにとりあつかふ。よいたいぐう。

八 畫

320 【原】ゲン

●はら。●もと。おこり。

はじめ。●たつめ。

【原文】ゲン もとのまの文。

【原本】ゲン もとのかきつけ。もとの書物。「三色。」

【原色】ゲン 赤・黄・青の

【原因】ゲン おこり。もと。

【原由】ゲン 前におなじ。

【原告】ゲン うつたへ出た人。

【原油】ゲン くみとつたままの石油。

【原料】ゲン もと。材料(びやう)。

【原案】ゲン はじめのかんがへ。

【原則】ゲン もとになるきそ

【原野】ゲン のはら。「り。

【原理】ゲン おほもとのだう

【原價】ゲン もとね。

【原稿】ゲン したがき。○草稿。

【原籍】ゲン もとの戸籍。○本籍。

【原産地】ゲン ●産物のできるもとの土地。●一ばんはじめに産出(しゅしゅ)したところ。

【原動力】ゲン ドウ 機械(きがい)をうごかすもとなるちから。

【原始林】ゲン シ むかしから木をきらないもとのままの林。

十 畫

321 【厥】ケツ

●その。●それ。

十二 畫

322 【厭】エン

●あく。●いとど。

【厭世】エン 上の中がいやになる。

【厭氣】エン いやなきもち。

ム部

三 畫

323 【去】キョ

キョ

【去月】キョ まへのつき。○先月(きんげい)。

【去年】キョ まへのとし。○昨年(きんねん)。「する。」

【去來】キョ いたり来たり

【去就】キョ さるかそのままにをるか。そむくかしたがふか。

九 畫

324 【參】サン

●みつ。●三。●まじはる。●まゐる。

【參上】サン まゐる。うかがふ。あがる。(へ)の家に行く(こと)。

【參堂】サン 前におなじ。

【參内】サン 宮中にまゐる。

【參朝】サン 前におなじ。

【參酌】サン てらし合はせてよい所をとりわるい所をすてる。「ち。」

【參道】サン おまゐりするみ

【參加】サン なかまにはい「につらなる。

【參列】サン まゐつてその席

【參政】サン 國のせいちにあ

【參考】サン てらしあはせてかんがへる。

【參照】サン ひきあはせて見る。

【參詣】サン 神や佛におまゐりする。

【參拜】サン 前におなじ。

【參宮】サン 伊勢神宮におまゐりする(こと)。

【參與】サン あづかる。さうだんにのる。

【參謀】サン いくさのはかり

【參觀】サン 行つて見る。

【參集】サン あつまる。

【參會】サン くわいに出る。

【參籠】サン 神社やお寺など

### 又部

325 【又】イウ  
また。

### 一畫

326 【又】サ  
こまぬく。うでぐみする。また。ふたまた。

【叉手】サ シユ うでぐみする。

### 二畫

327 【及】キフ  
およぶ。およぼす。および。

【及第】キフ ダイ しけんにとほる。【及第】と落第。

【及落】キフ ラク 及第【及第】と落第。

328 【友】イウ  
とも。

【友人】ジユウ ともだち。

【友情】ジヤウ ともだちのよしみ。

【友誼】ギイウ 前におなじ。

【友邦】ハイウ したしいくに。

【友軍】グンイウ みかたのぐんたい。【友軍】とる道。

【友義】ギイウ ともだちに對す。

【友愛】アイイウ 兄弟又は友だちがなかよくすること。

329 【反】ハン  
かへる。かへす。かへつて。そむく。

【反日】ハン ニチ はんたい。日本にたいする。

【反目】モクハン ならみあふ。に

らみあひ。【つく。】

【反抗】ハン カウ てむかふ。たて

【反旗】ハン キ むほんのはた。

【反旗を翻す】ハンキヲヒルガヘス むほんすることをいふ。

【反省】ハン セイ 自分のしたこと はわるくなかつたかとかんがへること。

【反映】ハン エイ うつりあふ。てりあふ。

【反問】ハン モン とひかへす。

【反側】ハン スウ 一たびのみ下したたべものを又口にもどしてかむこと。

【反射】ハン シヤ てりかへし。

【反復】ハン ブク くりかへす。

【反逆】ハン ギヤク そむく。むほんする。むほん。

【反駁】ハン バク 他人のかんがへにはんたいしてこれを言ひ

こめる。【反對】ハン あべこべ。

【反動】ハン ドウ はねかへり。

【反響】ハン キヤウ びびきかへる。やまびこ。こだま。ある人のしたことが他にもびびくこと。「紙。反古。

【反故】ハン ホゴ 書きそんじの

330 【双】  
雙（佳部十畫）の簡易字體。にひをいよ。

### 六畫

331 【叔】シユク  
をち。親の弟妹。

【叔父】フシユク 父母の弟。をち。

【叔母】ボシユク 父母の妹。をち。

332 【取】シユ  
とり。とる。

【取引】ヒキ トリ ものの賣つたり買つたりすること。一か。

【取捨】シヤ トリ とるかすてる

【取締役】トリスマリ 株式會社の重役。「世のうはさ。

【取沙汰】サダ トリ ひやりばん。

【取敢へず】アヘズ トリ 取るべきを取らずに。すぐに。第一に。まづ。

333 【受】ジユ  
うけ。うけく。

【受信】シユ テガミヤでんしんをうけとる。

【受納】ナフ ジユ うけをさめる。

【受理】リ ジユ うけつける。

【受領】リヤウ ジユ うけとる。

【受驗】ジユ シケン しけんをうける。

### 十四畫

334 【叡】エイ  
さとし。あきらか。

【叡才】サイ エイ 次におなじ。天子のことにつかふ。

【叡智】チ エイ すぐれた才智。

【叡威】カン エイ 天子のおほめ。

【叡聖】セイ エイ 天子の御徳をほめたてまつるに用ひることば。

【叡聞】ブン エイ 天子のおきき。

【叡慮】リョ エイ 天子のみことろ。

【叡覽】ラン エイ 天子の御覽。

### 十六畫

335 【叢】ソウ  
くさむら。むらがる。

【叢生】ソウ セイ あつまつてはえる。あつむ。

【叢雲】ムラ ムラ むらがりあつまる。【叢雲の劍】ノツルギ 三種の神器の一。○草薙の劍。

【叢書】ソウ ショ 一まとまりの書物。【叢書】「あつめたもの。

【叢談】ソウ ダン 多くのはなしを

### 口部

336 【口】コウ  
くち。

【口頭】トウ コウ くちさき。ことば。

【口上】ジョウ コウ ことばでいふ

【口外】グワイ コウ くちに出していふ。ひとにしやべる。

【口吻】フン コウ くちぶり。はなしぶり。【口吻】「いひ。

【口舌】ゼツ コウ くちさき。もの

【口腔】カウ コウ くちのなか。

【口碑】ヒ コウ いひつたへ。

【口徑】ケイ コウ 物の口のさしわ

【口述】ジュツ コウ 口でのべる。

【口約】ヤク コウ 口やくそく。

【口語】ゴウ コウ はなしことば。【口語】（文語の對）

【口實】ジツ コウ いひくさ。いひわけ。いひぶん。

【口錢】セン コウ 手数料【口錢】。

【口論】ロン コウ くちあらしひ。

【口繪】エ コウ 本や雑誌【口繪】な

どのはじめにつける繪。  
 【口すざぎ】クチくらし。スギ。  
 【口惜し】クチくやしい。ワシ。  
 【口ずさむ】クチサム。小こゑに詩や歌などをうたふ。

二畫

337 【古】コ  
 ①いにしへ。むかし。②ふるし。③ふる。  
 【古人】ジン。むかしの人。  
 【古文】ブン。むかしの文。  
 【古代】ダイ。むかし。いにしへ。  
 【古今】コン。むかしといま。  
 【古格】カク。むかしのかた。いにしへの法式(22)。  
 【古老】ラウ。ものしりのとしより。

【古來】ライ。むかしから。  
 【古風】フウ。むかしのふう。  
 【古典】テン。①むかしのぎしき。②むかしの書物。  
 【古制】セイ。①むかしのおきて。②むかしのつくりかた。  
 【古參】サン。ふるくからその仕事をしてゐる人。ふるがは。  
 【古跡】セキ。むかし物事のあつたあと。  
 【古蹟】セキ。前におなじ。  
 【古語】ゴ。むかしのことば。  
 【古稀】キ。七十歳。「い。  
 【古雅】ガ。ふるびてひんがよさのあつたところ。  
 【古戰場】チヤウ。むかしくさのあつたところ。  
 【古往今來】コワライ。むかしからいままでのあひだ。

338 【句】ク  
 くぎり。

【句集】クツ。俳句(27)をあつめた本。

【句讀點】クツトウ。文章のくぎりに打つ點。文章の意味の切れるところを句といひ、一句のなかでちよつと語の切れるところを讀(よみ)といふ。句點(28)には「。」讀點(29)には「、」を用ひる。

339 【只】シ  
 ただ。

【只管】シタ。そればかり。ただひとすちに。いちづに。

340 【叫】ケウ  
 さけぶ。

【叫喚】ケウワン。さけびよぶ。わめく。

341 【召】セウ  
 ①めし。②めす。

【召集】セウ。めしあつめる。よびあつめる。

【召喚】セウ。よびよせる。

【召還】セウ。よびもどす。

【召使】セウ。下男又は下女。

342 【可】カ  
 ①べし。②まじく。まきいれる。③よし。

【可否】カ。よしあし。

【可決】カ。よいときめる。

【可能】カ。できる。なし得られる。

【可憐】カ。かはいらしい。②かはいさう。

【可笑し】カ。おもしろい。

笑ふべきである。

343 【台】タイ  
 ①身分のたつとい人。②臺(至部八畫)の簡易字體。1935を見よ。

【台閣】タイ。内閣。

【台命】タイ。皇族の御命令。

【台覽】タイ。たつとい人のごらんになること。

344 【叱】シツ  
 しかる。

【叱咤】シツ。しかりつける。

【叱責】シツ。しかりせめる。

345 【史】シ  
 ①ふみ。②れきし。③ふびと。

【史上】シ。歴史(21)の上で。

【史書】シ。歴史(21)の書

【史家】シ。歴史家(21)。「物。

【史料】シ。歴史(21)をしらべるもとなる材料(22)。

【史蹟】シ。歴史(21)にのこる事件(23)のあつた土地。

【史學】シ。歴史(21)の「ん。

【史籍】シ。歴史(21)のほ

【史實】シ。歴史(21)上の事實(24)。

346 【右】ウ  
 みぎ。

【右折】ウ。みぎにをれる。

【右翼】ウ。本隊の右の方に

【右往左往】ウ。多くの人のあちらこちらへゆき

【右に出づ】ウ。上にで

【叶】ケフ。かなふ。協(十部六畫・30)に同じ。

347 【叶】ケフ

348 【司】シ  
 ①つかさ。つとめ。②つかさどる。

【司令】シ。さしづすること。

【司法】シ。よしあしを裁判

349 【号】ガウ  
 號(申部七畫)の簡易字體。2025を見よ。

【三畫

350 【吃】キツ  
 キツ

①どもる。②どもり。③くらふ。くふ。

【吃水】キツ。船のその水に

【吃驚】キツ。おどろく。び

351 【各】カク  
 おのおの。めいめい。

【各國】カク。くにくに。

【各自】カク。めいめい。おの

【各所】カク。そこそこ。あち

【各地】カク。ここかしこ。

【各員】カク。めいめいの人。

【各位】カク。おのおのがた。

【各種】カク。いろいろ。さま

【各般】カク。前におなじ。

352 【合】 ガフ

●あふ。●あはす。●一升の十分の一。

【合一】ガフ あはせて一つにする。

【合同】ガフ いっしょにする

【合羽】ツカ



紙にあぶらをひいて水をほそぬやうに

した雨衣(合羽)。

【合併】ガツ 一しよにする。

【合體】ガツ 一しよになる。心をあはせる。

【合流】ガフ 一しよになる。一つになつてながれる。

【合格】ガフ しけんじに及第(及)する。

【合意】ガフ 心があふ。さうだんづく。

【合計】ガフ 數(カ)をみな合はせる。

【合理】ガフ りくつにあふ。

【合金】ガフ 二以上の金屬(メタル)をあはせてつくつたかね。

【合掌】ガツ 手をあはせて

【合唱】ガツ こゑを合はせてうたふこと。

【合奏】ガツ いろいろの樂器(楽器)の調子を合はせてならすこと。

【合戦】ガツ たたかひ。いく

【合點】ガツ さとる。わかる。承知(承知)し。しやうちしたしるしに首を前に下げること。

【合議】ガフ よりあつてさう

だんする。「あひだ。」

【合間】マヒ すきま。てすき。

【合圖】アヒ しらせのしるし。

353 【吉】 キツ

●よし。めでたい。●さいはひ。しあはせ。

【吉日】ニチ よい日。めでたい日。

【吉辰】キン 前におなじ。

【吉祥】キツ めでたいしるし。

【吉例】レイ よいためし。

【吉事】キチ よいこと。めでたいこと。

【吉凶】キツ めでたいこととめでたくないこと。

【吉兆】キツ めでたいまへじらせ。

【吉報】キツ よいしらせ。

【吉凶禍福】キツキョウ めでたいこととえんきのわるいこと。わざはひとしあはせ。

354 【同】 ドウ

おなじ。

【同日】ジツ おなじ日。

【同一】ドウ おなじこと。ひとつ。

【同士】ドウ なかま。つれ。

【同化】ドウ あひてを自分と同じやうにする。「く。」

【同行】ドウ いっしょにゆ

【同行】ギョウ みちづれ。

【同伴】ドウ みちづれ。

【同志】ドウ こころざしの同じ人。なかま。

【同門】ドウ おなじ先生のでし。

【同窓】ドウ 同じ學校を卒業(卒業)した友。「ずること。」

【同感】ドウ おなじやうに感(感)ずる。

【同情】ドウ おもひやり。

【同胞】ドウ きやうだい。

【同盟】ドウ やくそくしてな

【同僚】ドウ おなじところに

【同居】ドウ 一しよにすむ。

【同視】ドウ おなじやうにみ

【同意】ドウ 「おなじ意味(意)」。さんせい。

【同輩】ドウ おなじなかま。

【同種】ドウ おなじ種類。

【同郷】ドウ ふるさとがお

355 名

なじであること。●な。●なづく。名をつける。●人をかぞへることば。

【名目】メイ なまへ。

【名刀】メイ すぐれてよい

【名人】メイ ひじやうにじや

【名手】メイ 前におなじ。

【名士】メイ なたかい人。

【名工】メイ すぐれたさいく

【名匠】メイ 前におなじ。

【名稱】メイ なまへ。

【名山】メイ なたかいやま。

【名文】メイ 名高い文章。すぐれてよい文章。

【名作】メイ すぐれてできたもの。「ば。よいことば。」

【名言】メイ りつばなこと

【名君】メイ すぐれた君。

【名利】メイ めいよとりえ

【名所】メイ なたかいところ。

【名門】メイ 名高い家すぢ。

【名家】メイ 前におなじ。

【名物】メイ その土地ででき

【名産】メイ 前におなじ。

【名狀】メイ ありさまかい

【名狀すべからず】メイ さい

【名流】メイ 名高い人。

●名士のなかま。

【名勝】メイ けしきのよい

【名望】メイ なたかくて人に

【名聲】メイ よいひやうば

【名醫】メイ なたかい醫者(いしや)。

【名將】メイ なたかい大

【名譽】メイ ほまれ。

【名刺】メイ なふだ。

【名主】メイ むかしは今の村

【名だたる】メイ なたかい。

【名に負ふ】メイ なたかい。

【名にし負ふ】メイ 前に

356 〔后〕 コウ

●のち。●きみ。●きさき。●きさい。●きさいともいふ。

〔後の宮〕キサイ きさきぎの敬稱〔後〕。

357 〔吏〕 リ

つかさ。やくにん。

〔吏員〕キン 市町村などのやくにん。

〔吏務〕ムリ やくにんのしごと。

358 〔吐〕 ト

はく。

〔吐血〕ケツ 血〔を〕をはく。

〔吐瀉〕シヤ はきくだし。はくのとはらぐたり。

〔吐露〕トのべあらはす。うちあけていふ。

359 〔向〕 キヤウ カウ

●むかふ。●むく。●むかひ。●むき。

〔向上〕ジャウ 上へ上へとすすむこと。

〔向背〕カウ したがふとそむくと。味方〔か〕になると敵〔か〕になると。

〔向後〕カウ こののち。これ〔か〕になると。

〔向寒〕カウ さむさにむかふ。

〔向暑〕カウ あつさにむかふ。

四 畫

360 〔君〕 クン

きみ。

〔君子〕クン 徳のたかいりつばな人。

〔君主〕クン 一國のかしら。

〔君臣〕クン きみとけらい。

〔君侯〕クン とのさま。

〔君國〕クン 君主のをさめる國。國家。

〔君側〕クン きみのおそば。

〔君命〕クン きみの御命令〔ごめい〕。

〔君臨〕クン きみとなつてその國をさめる。

361 〔吞〕 ドン

のむ。

〔吞吐〕ドン のんだりはきだしたり。

362 〔吟〕 ギン

●うめく。●うたふ。

〔吟味〕ギン とりしらべる。

〔吟詠〕ギン 詩や歌をうたふ。

363 〔否〕 ヒ

●いな。●いなむ。いやがる。

〔否定〕ヒ うちけす。さうでないとする。

〔否決〕ケツ さうだんの上、そのことが成りたないやうにきめる。

〔否認〕ヒン みとめない。

〔否否〕イナ いやいや。いいえ。

〔否む〕イナ きききれない。ことわる。

364 〔含〕 ガン

ふくむ。

〔含有〕ガン なかにふくみもつ。

〔含蓄〕ガン ふくみたくはへる。うはべだけでなく中にふかい意味をもつ。

〔含嗽〕ガン うがひ。

365 〔呈〕 テイ

●しめす。あらはす。●すすむ。さしあげる。

〔呈示〕テイ みせる。

〔呈上〕ジャウ さしあげる。

366 〔吳〕 ゴ

●支那の昔の國の名。●くれ。●くれる。●くる。あたへる。つかはす。

〔吳服〕ゴク おりもの。

〔吳越同舟〕ゴエツ 仲のわるいものが一つところにをること。むかし支那で、吳の國と越の國は仲がわるかつた。

367 〔吸〕 キフ

すふ。

〔吸入〕キフ すひこむ。すひ入れる。

〔吸引〕キン すひよせる。

〔吸收〕シウ すひとる。すひこむ。

〔吸盤〕キン ものにすひつくためについているもの。たこやいかの脚〔あし〕にある。

368 〔吹〕 スキ

ふく。

〔吹奏〕スキ らつば・笛などをふきならす。

〔吹聴〕フイ 人につけ知らせる。いひふらす。

〔吹雪〕フブ はげしい風にかれてみだれ散つて降る雪。

〔吹流し〕フキ いくすぢかの布を輪にして長さをの

はしにつけ、風に吹きなび

かすもの。

369 〔吾〕 ゴ

●われ。●わが。●あ。

〔吾人〕ゴん われわれ。われら。

〔吾妻〕ゴマ 江戸のこと。關

370 〔告〕 コク

つぐ。

〔告白〕ハク かくさずにいふ。

〔告示〕ゴク くれわたし。ふれ。一般〔びん〕に知らせること。○布告〔ふこく〕。

〔告別〕ゴク わかれをつけ

る。いとまごひをする。

〔告諭〕ゴク つげさとす。

〔告知〕ゴク つげしらせる。○通知。

〔告訴〕ゴク うつたへ出る。

〔告發〕ゴク 人のをかしたつみをおかみに申しでる。

〔告辭〕ゴク いひきかせることば。

371 〔呂〕 リヨ

つらねる。

〔呂律〕ロツ ものいふ調子。

五 畫

372 〔周〕 シウ

●めぐり。まはり。●めぐる。まはる。●めぐらす。●あまねし。ひろくゆきわたる。

〔周密〕シウ こまかにゆきわたる。

【周壁】シウ まはりのかべ。

【周知】シウ みんなの人が知る。「く。ぬけぬげがない。

【周到】シウ よくゆきとど

【周遊】シウ 方をめぐりあ

【周圍】シウ まはり。めぐり。

【周回】シウ 前におなじ。

【周章】シウ あわてる。

【周章狼狽】シウシヤウ 大

【周旋】シウ とりもち。せわ。

【味】ミ

【味方】カタ 自分の方のなか

【味醂】リン あまい酒(サ)の

【味噌】シウ みそ。食料品。

【味覺】カク あちをしりわけ

【呼】コ

【呼吸】キフ すつたりはいた

【呼氣】キフ はくいき。

【呼應】コウ よべばこたへ

【呼號】ガウ さけぶ。

【命】メイ

【命日】メイ 人の死んだ日。

【命中】メイ まちがひなく

【命名】メイ 名をつける。

【命令】メイ いひつけ。おほ

【命脈】メイ いのちのつ

【和】ワ

【和合】ワフ ながよくする。

【和文】ワブン 日本文。

【和洋】ワヤウ 日本と西洋。

【和尚】ワヤウ 僧。

【和製】ワセイ 日本でこしらへ

【和船】ワセン 日本製(ワセン)の

【和氣】ワキ おだやかな心。又

【和解】カイ なかなかほり。

【和歌】カ 三十一文字のう

【和睦】ワク なかよくする。

【和順】ワジュン すなほ。

【和親】ワシン なかよくする。

【和戦】ワセン なかよくするか

【和議】ワギ なかたほりのさう

【和學】ワガク 日本の文學・歴

【和殿】ワテン おまへ。自分と

【和衷協同】ワチュウケフドウ 心を

六 畫

【咫】シ

【咫尺】セキ 目のさきの近い

【咲】セウ

【咸】カン

【咽】イン

【咽下】エン

【咽喉】コウ

【咽頭】トウ

七 畫

【哀】アイ

【哀悼】アイ かなしんで心を

【哀痛】ツイ 前におなじ。

【哀傷】ツイ 前におなじ。

【哀願】グワン せがきかなし

【哀訴】ソウ なきつく。

【哀別】ベツ かなしいわか

【哀憐】レン あはれみ。

【品】ホン

【品行】カウ おこなひ。みも

七 畫

【品行方正】ヘンカウ おこ

【品位】ヘン ヒとがら。

【品格】ヘン 前におなじ。

【品性】ヘン 人がら。人のせ

【品評】ヘン よしあしをさ

【品質】ヘン しながら。した

【員】ケン

【員數】ケン ものかず。

【員に備るのみ】ナハルノ

【員に備るのみ】ナハルノ

七 畫

【哨兵】セウ みはりの兵士。

【哨艦】セウ みはりのぐんか

【哲】テツ

【哲人】テツ 道理にあかるい

【哲學】テツ 天地の間のもと

【喟】バイ

【喟】バイ

【唆】サ

【唆】サ

388 **唇** シン

くちびる。

389 **唐** タウ

●支那の昔の國の名。●から。●もろこし。(支那をいふ)

【唐人】ジン ●支那人。●外國人。「支那」

【唐土】ダウ から。もろこし。

【唐木】カラ 熱帯植物の紫檀

〔シ〕・黒檀〔ツシ〕など。

【唐突】トツ だしぬけ。○突

然。【唐箕】タウ 穀物〔ツツ〕の實

〔ツ〕と穀〔ツ〕とをふきわけ

390 **唯** ユキ

ユキ

●ただ。●それだけ。●はい。(うけこたへするこ

とば)【唯一】ユキ ただひとつ。こ

れだけ。【唯唯】キ ひとつのいひつけを

すなほにきくさま。

391 **唱** シヤウ

●となふ。●うたふ。●よぶ。

【唱歌】シヤウ ●うたをうた

ふ。●ふしのあるうた。

【唱道】シヤウ まつさきにと

なへる。いひはじめる。

【商才】シヤウ まきなひのう

【商工】シヤウ 商業と工業。

【商機】シヤウ しやうばい上

のきつかけ。【商議】シヤウ さうだんしあ

【商人】シヤウ あきなひをす

る人。あきんど。「品」

【商品】シヤウ あきなひの

【商況】シヤウ あきなひのや

うす。「る家」

【商家】シヤウ あきなひをす

【商港】シヤウ 外國とあきな

ひをするみなと。「けひき」

【商略】シヤウ あきなひのか

【商量】シヤウ はかる。はか

りかんがへる。「し」

【商標】シヤウ 商品のめじる

【商業道德】シヤウゲフ あ

きなひをする上にまもらね

ばならぬみち。

393 **問** モン

●とふ。●とひ。

【問罪】モン つみを問ひただ

す。【問罪の師】モンザイ つみ

を問うて征伐〔ツツ〕にゆく

兵。【問答】モン とふとこたへる

と。とひとこたへ。

【問題】モン ●とふべきこと

がら。●うたがひ。

【問はばや】トハ 問ひたい。

【問はまほし】トハ 問う

て見たいものである。

394 **啓** ケイ

●ひらく。●まうす。

【啓白】ケイ 申しあげる。

【啓上】ケイ 申しあげる。

【喜劇】ゲキ 笑はせるしげ

る。「と」

【喜怒】キ よろこびといかり

【喜憂】キ よろこびとしん

ばいと。

【喜壽】キ 七十七歳。

401 **喪** サウ

●うしなふ。●ほろぶ。

●も。(人の死をかなしん

である期間こもつてゐる

こと)【喪祭】サイ さうしきとまつ

り。

【喪主】サイ 主となつてさう

しきをいとなむ人。

【喪章】サイ さうしきのと

ききものにつけるしるし。

【喪失】サイ なくする。

【喪心】サイ 本心をうしな

【啓發】ケイ わからぬところ

ををしへる。

【啓蒙】ケイ 前におなじ。

395 **啞** ア

おし。

【啞生】セイ おしの生徒。

【啞者】シャ おし。

【啞然】ゼン あきれるさま。

396 **啻** シ

●ただ。●ただに。

397 **善** ゼン

よし。

【善行】ゼン よいおこなひ。

【善美】ゼン 申し分なくよく

うつくしい。

【善用】ゼン うまくつかふ。

【善良】ゼン すなほでよ

い。【善惡】ゼン よしあし。

【善意】ゼン よい心。他人の

ためを思ふ心。「く」

【善導】ゼン よい方へみちび

【善男】ゼン ほとけを信心す

るをいふ。「るをんな」

【善女】ゼン ほとけを信心す

【善根】ゼン よいむくいをう

けられるよいおこなひ。

【善後策】ゼン ゴ ことのおと

じまつをよくするはかりご

と。

【喉自慢】ノド こゑとふし

まはしをとくいにすること。

と。うたのうまいのをとく

いがること。

399 **喚** クワン

よぶ。

【喚問】クワン よびだして問

ふ。

【喚起】クワン よびさます。

400 **喜** キ

●よろこぶ。●よろこび。

●このむ。●よし、のぶ」

ともよむ。

【喜色】キ むれしさうな

かほつき。

【喜捨】キ よろこんで神社

や寺又は貧しい人のために

金やものを出すこと。

【喪神】サウ 前におなじ。  
【喪服】モク 喪(モ)のあひだきてゐるきもの。

402 【單】タン

●ひとへ。●ひとつ。●ひとり。

【單一】イツ ただひとつ。

【單位】キ ものをかぞへるときのもとなる量の名。長さの單位は米(メ)。重さの單位は瓦(ワ)。

【單騎】タン 一人のうまのり。

【單衣】タン ひとへのきもの。ひとへ。

【單身】タン ただひとり。

【單獨】タン 前におなじ。

【單語】タン ひとつひとつのことば。

【單調】タン かはつたことのないこと。一本でうし。

【單純】タン ●こみいつてゐない。●まじりけがない。

【單刀直入】タン タウニフ。●ただ一人で敵の陣(陣)にきりこむこと。●前おきなしにすぐ問題(問題)の中心にはいること。

十 畫

403 【嗣】シ

●つぐ。●あとをうけつぐ。●よつぎ。●あとつぎ。

【嗣子】シ あとつぎ。

十一 畫

404 【嘉】カ

●よし。●よみす。●よいとする。

【嘉例】レイ よいためし。

【嘉言】ゲン よいことば。

【嘉辰】シン めでたい日。

【嘉納】ナフ よろこんでうけいれる。

405 【嘗】シヤウ

●なむ。●あぢはふ。●なめる。●こころみる。●ためす。●かかつて。●まへかた。

406 【喫】キツ

●のむ。●くふ。

【喫茶】キツ ちやをのむ。

【喫煙】キツ たばこをすふ。

【喫驚】キツ びつくりする。

十二 畫

407 【噲】ソ

味噲(味)は食品の名。

408 【囑】

囑(口部二十一畫)の前易字體。エロを見よ。

十三 畫

409 【器】キ

うつは。

【器用】キ たくみ。じやうず。

【器具】キ うつは。だうぐ。

【器物】キ 前におなじ。

【器械】キ しかけただうぐ。きかち。

【器量】キ リヤウ ●やくにたつはたらき。●かほかたち。みめ。

410 【噴】フン

ふく。はく。はきだす。

【噴煙】フン ふきだすけむり。

【噴火】フン 火山から火や煙をふき出すこと。

【噴水】フン ●ふきあげる水。●水をふき出させるしかけ。●ふきあげ。

【噴出】フン ぶきだす。ぶきでる。

【噸】トン 重さの單位。一キログラムの千倍。

十六 畫

412 【嚮】キヤウ

●むかふ。●むかひ。

【嚮日】キヤウ ほうにひ。

【嚮背】カウ したがふかそむくか。

【嚮導】キヤウ みちあんない。

十七 畫

413 【嚴】ゲン

●おごそか。●いかめし。●きびし。

【嚴父】ゲン 父をうやまつていふことば。

【嚴君】ゲン 前におなじ。

【嚴禁】ケン きびしくさしとめる。

【嚴然】ゼン いかめしいさま。きびしいさま。「い。」

【嚴正】ゼン きびしく正し。

【嚴守】シケン かたくまもる。

【嚴命】ゲン きびしいいひつけ。

【嚴格】ゲン きびしくただし。

【嚴重】ゲン きびしい。

【嚴密】ゲン きびしくこまかい。「き。」

【嚴寒】カン きびしいさむい。

【嚴冬】トウ さむさのきびしい冬。

【嚴肅】シユク おごそかでただし。

【嚴罰】ゲン きびしいばつ。

【嚴談】タン てきびしいかけあひ。

十九 畫

414 【囊】ナウ

●ふくろ。

【囊中】ナウ ●ふくろのなか。●さいふのなか。

二十一 畫

415 【囑】シヨク

たのむ。簡易字體は囑。

【囑託】シヨク ●たのみまかせる。●たのみまかせた人。

口 部

二 畫

416 【囚】シウ

●とらふ。●とらはる。●めしうど。●罪人(サイ)。

【囚人】シウ さいにん。めしうど。

【囚徒】シウ 前におなじ。

【囚獄】シウ らうや。刑務所

【囚虜】シウ とりこ。「(417)。」



417 【四】シ

●よつ。●よつつ。



【四阿】アマ  
方には  
しらを  
たてた  
かべの

ない小屋。ちん。

【四方】ハウ 東・西・南・北。

【四季】キ 春・夏・秋・冬。

【四圍】キ まはり。

【四周】シウ まはり。

【四時】ジ 春・夏・秋・冬。

【四季】キ 前におなじ。

【四肢】シ てあし。

【四恩】オン 天地の恩・國王の恩・父母の恩・他人の恩。

【四海】カイ 四方の海。○世

界。一る。

【四散】サン ちりぢりにな

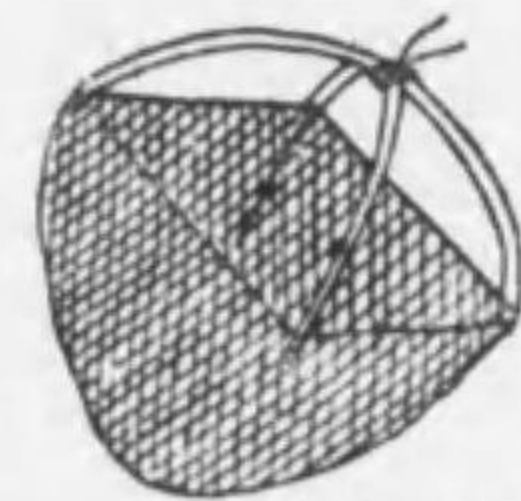
【四則】ソク よせざん・ひき

ざん・かけざん・わりざん

の四つ。

【四隣】リン 四方のとなり。

あたりきんじよ。



【四つ手】

デヨツ 四

すみを竹

ではり、

水の中に

しづめて

魚をとるあみ。

【四つ足】ヨツ 四本の足。け

ものこと。

【四方山】ヤマ いろいろ。

【四方拜】ハイ 一月元旦に

天皇陛下が天地四方の神

ををがみたまふ儀式(マヒ)。

【四六時中】シロクジ 二十

四時間中。一日中。

【四分五裂】シブン ばらば

らになること。

【四百餘州】ヨシヤク 支那

全國をさしていふことば。

【四季折折】フリフリ 春・

夏・秋・冬のそのときどき。

【四苦八苦】ハツク ひと

うなぐるしみ。

【四捨五入】ゴニフ 四以下

のはしたをきりすて、五以

上のはしたを上にくらるへ

きりあげること。

【四通八達】ハツタツ 道が

四方八方に通じてるて便利

なこと。

【四方の山山】ヤマヤマ あ

たりのいろいろの山。

【三】畫

【回】クワイ

●めぐる。まはる。●めぐらす。●かへす。●まはす。●めぐり。●まはり。●たび。(度)

【回天】クワイ おとろへた勢

【回向】カウ 死んだ人のさい

はひをいのつてする法事

【回收】クワイ とりもどす。

【回状】クワイ 方方へまはす

てがみ。

【回章】クワイ 前におなじ。

【回忌】クワイ 人が死んでか

ら毎年まはつてくる、その

人の死んだと同じ月の同じ

日。

【回答】クワイ こたへ。へん

【回復】クワイ もとのとほり

【回航】クワイ 船が方方のみ

などによりみちしてくること。

【回轉】クワイ まはる。まは

【回禮】クワイ れいまはり。

【回顧】クワイ すぎさつたこ

とを思ひかへす。

【回想】クワイ 前におなじ。

【回覽】クワイ じゆんおくり

にまはして見る。

【回覽板】クワイ つぎつぎ

とまはして見るかきつけを

はさんだ板。隣組(ナリ)など

でつかふ。

【因果】クワイ ●原因と結果。

【因果應報】クワイ ●よい

【困】クワン

ことをすればよいむくいがあり、わるいことをすればわるいむくいのあること。

【困業】クワン かたくな。ぐわ

んこ。

【困由】クワン もと。みなもと。

【困循】クワン ぐづぐづ。

【困縁】クワン ゆかり。えん。

まへからきまつてゐること。

【困習】クワン 古くからつたは

つて来たならはし。

【困襲】クワン これまでのしき

たりにしたがふこと。

【困】クワン

【困苦】クワン くるしみ。なん

【困】クワン

【困】クワン

【困却】クワン こまつてしま

【困窮】クワン びんばふでく

【困難】クワン なんぎ。

【困じ果てる】クワン こま

つてしまふ。

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【困】クワン

【固着】クワン かたくつく。

【固執】クワン じぶんのかんが

へをどこまでもおしとほす

【固疾】クワン まへからかかつ

てゐて中なほらぬやま

【固體】クワン かたまつて變ら

ぬ形をもつてゐるもの。(液

體・氣體と共に三體といふ)

【固唾】クワン ひきしまつたと

き口の中にたまると。

【固辭】クワン かたくことわる。

【固定資本】クワン 何回も

くりかへしてつかはれるも

【固】クワン

【固】クワン

國(口部八畫・た)の古字。

八 畫

423 卷 ケン

①めぐる。②をり。(動物をいれておくところ)

【圈内】ケン カざられたくぎりのうち。

【圈點】ケン まるい點。詩や文章の大切なところにつける。

424 國 コク

くに。

【國力】リコク くにのちか

【國土】ドコク くに。

【國史】シコク くにの歴史(い)

【國士】シコク その國のすぐれた人物。

【國文】ブンコク 日本語の文章。○和文。一あひ。

【國交】カウコク 國と國とのつき

【國禁】キンコク くにでさしとめること。

【國境】ケンコク くにのさか

【國法】ハフコク くにのきそく。

【國家】カコク くに。

【國典】テンコク 國のおきて。

③くにのきしき。④わが國の書物。

【國手】シコク なたかい醫者(い)

【國俗】ゾコク その國のならば

【國防】バウコク 國のまもり。そ

【國本】ホンコク くにのもと。

【國是】ゼコク 國がよいとして

みとめた政治の方針。

【國務】ムコク 國のせいぢ。

【國政】セイコク 前におなじ。

【國書】シコク ①わが國の書

物。②政府がその國の名で

ほかの國へやるてがみ。

【國威】キコク くにのるくわ

【國光】クワウコク 前におなじ。

【國葬】サウコク おかみでするさ

【國事】ジコク 政治上のことが

【國歩】ホコク 國のうんめい。

【國步艱難】カンナンコク 國の

いきほひのふるはぬこと。

【國際】サイコク 國と國とのくわ

【國會】クワイコク 帝國議會。

【國情】ジヤウコク 國のやうす。

【國學】ガクコク わが國の文學。

歴史などをしらべる學問。

【國歌】カク 祝日などにうた

ふことにきめてあるその國

のうた。日本では「君が代」。

【國粹】スキ 國のすぐれてる

ところ。

【國稅】ゼイコク 中央政府の費用

【國論】ロンコク その國ぜんたい

の人のかんがへ。

【國憲】ケンコク 國のおほらとに

なるおきて。

【國運】ウンコク 國のうんめい。

【國體】タイコク くにがら。

【國寶】ハウコク 國のたから。

【國民性】コクミンセイ その國民

のせいしつ。

【國民皆兵】カイヘイコク 國の

男子はみな兵となるさだ

【國務大臣】コクムダイジン くにのまつりごとをあづかる大臣。

【國初以來】コクシヨ くにがはじめてからこのかた。

九 畫

425 韋 キ

①かこむ。②かこぶ。③かこみ。④かこひ。

【圍碁】ゴキ 碁をうつ。

【圍繞】セウキ とりかこむ。

十 畫

426 園 エン

【園丁】エンテイ にはつくり。う

【園丁】エンテイ にはつくり。う

【園生】フソ 其の。には。

【園藝】ゲイン にはつくりのわざ。草や木をつくるわざ。

【園遊會】エンイウ ひろい庭に客をまねいてごちそうする會。

427 圓 エン

①まろし。②まるし。③まる。④一錢の百倍。

【圓形】エンケイ まるいかたち。

【圓周】エンシウ まるいものま

【圓滑】エンクワツ まるくなめら

【圓滿】エンマン 十分にみちる。

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓熟】エンジュク ものごとによ

【圓轉】エンテン ①まはる。ころ

【圓筒】エントウ まるいつつ。

【圓錐形】エンスイ 先がとが

【圓盤】エンベン まるいばん。圓

【圓案】エンアン 模様(い)のくふ

【圓面】エンメン へつ。

【圓畫】エンゲツ ぼ。



【圓盤】エンベン まるいばん。圓盤投(てんぱん)につかふ。

十一 畫

428 圖 ツト

①はかる。②はかりごと。

【圖書】シヨ 本(ほん)。

【圖案】アン 模様(い)のくふ

【圖面】メン へつ。

【圖畫】ゲツ ぼ。

【圖解】カイ 表(あ) かいせつ

【圖書館】トシヨ 多くの書物

【團子】ダン 米の粉(こな)を水

【團扇】ウチ かせをおこすも

【團欒】ダン あつまつてたの

【團體】ダン あつまつて一く

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

【團體教練】ケウレン 人人

# 土部

430 【土】ト

つち。

【土人】ジン ●もとからそこにすんでゐる人。●やばんじん。

【土民】ミン 前におなじ。

【土工】ドウ ●どかた。●土木(ツツ)の工事(コウシ)。

【土木】ドウ たてものや道などをこしらへるしごと。

【土葬】サウ 死んだ人を土にうめること。

【土砂】シャ つちやすな。

【土地】チ ●ぢめん。●ところ。

【土俗】ゾク その土地のならはし。

【土器】キ 土やきのうつは。

【土産】サン その土地にできるもの。

【土産】ミヤ みやげ。

【土着】ダク その土地に生れて、その土地にすんでゐること。

【土藏】ザウ つちぐら。

【土壤】ジャウ つち。

【土筆】ツク くさの名。



【土用干】ボシ ムしばし。

## 三 畫

431 【在】ザイ

●あり。●います。●おなか。

【在位】ザイ 天子のみくらにいらつしやるあひだ。

【在中】ザイ なかにある。

【在住】ザイ すむ。「と。」

【在處】ザイ ゐな。くにも。

【在所】ザイ 前におなじ。

【在宅】ザイ 家にある。

【在世】ザイ 世の中に生きてゐるあひだ。「る。」

【在京】ザイ みやこにゐる。

【在來】ザイ これまでどほり。「で民間にある。」

【在野】ザイ 官につかへない。

【在留】ザイ とどまつて住んでゐる。

【在職】ザイ 職務について

ゐる。つとめてゐる。

【在勤】ザイ 前におなじ。

【在郷】ザイ ●ふるさとにゐる。●ゐな。

【在學】ザイ 學校の生徒となつてゐる。

432 【地】チ

つち。

【地下】カチ ●地の下。●地のな。●あの上。めいど。

【地方】ハウ ●國のうちの一部分。●ゐな。

【地表】ヘウ 土地の表面(ヘン)。

【地代】ダイ 土地のかりちん。

【地位】チ ゐどころ。くらゐ。

【地味】チ つちの上しあし。土地のたち。

【地味】ミチ はで愛ないこと。

【地租】ソ 土地にかかるぜいきん。

【地域】キキ 土地のゝぎり。

【地殻】カク 地球の陸地の表面(ヘン)。「ま。」

【地形】ケイ 土地のありさま。

【地震】シン 土地がふるひうごくこと。ぢしん。

【地峡】ケフ 水と水とはさまれたせまい陸地。

【地質】シツ 土地の性質。

【地軸】チク 地球の中心をつらぬいて、南北兩極に及ぶものと考へられてゐる直線。

【地點】テン 一定の場所。

【地勢】セイ 土地のありさま。土地のたかひく、山川のやうすなど。

【地熱】ネツ 地球の内部につ

つまれてゐる熱。

【地盤】デン ●土地の表面。●ことをするどだい。

【地方官】クワン 府縣知事などの役人。

【地方版】パン ある地方のことを多くのせて其の地方にくばる新聞。

【地久節】セツ 皇后陛下の御たんじやう日。

【地平線】セン 地めんと空とがひとつになつてゐるやうに見えるところ。

## 四 畫

433 【坂】ハン

さか。(阪に同じ)

【坂路】サカ さかになつてゐるみち。

【坂東】バン 箱根の關から東

の八箇國のことを昔坂東といつた。

【坂東太郎】タラウ 利根川のこと。

434 【均】キン

ひとし。

【均一】キン ひとしい。さべつがない。

【均等】キン 前におなじ。

【均衡】カウ つりあひ。

【均齊】キン つりあひのとれてゐること。

【均霑】ケン ひとしくうるほふ。同じやうに利益をうける。

435 【坊】パウ

●まち。●てら。●小さな子。●僧。

【坊主】パウ 僧。

【坊間】バン せけん。

436 【坐】ザ

●すわる。●そぞろに。●何となしに。●せき。(席)くらす。

【坐席】ゼキ すわるばしよ。

【坐食】シヨク はたらかずにくらす。「こと。」

【坐業】ゲフ すわつてするしごと。

【坐臥】ゲワ すわるとねると。

【坐視】ザ 手だしをしないで

【坐作進退】ザサ すわつたり立つたり、進んだりしりぞいたり。たちゐるまひ。

437 【坑】カウ

あな。

【坑口】カウ あなのいりぐ

【坑夫】カウ 鑛物などを採出すしごとをする人夫。  
【坑道】カウ あなまち。

五 畫

438 【坤】コン つち。  
【坤徳】トク 皇后陛下の御徳。

480 【坪】ヘイ つほ。(一坪は六尺四方)

440 【垂】スキ たる。さがる。●なんなんとす。ならうとする。なりかかる。

【垂下】スキ たれさがる。  
【垂示】スキ をしへしめす。

【垂教】ケウ 前におなじ。

【垂直】スキ まつすぐにさがる。

【垂漚】スキ ●よだれをたらす。●たいへんほしがる。

【垂乳根】スキ ●うみのほはおや。●おやのこと。

六 畫

441 【型】ケイ ●かた。いがた。●のりてせん。

442 【垣】エン かき。  
【垣根】カキ ●垣のねもと。●ぞいて見る

【垣間見】カイ すきまからの

443 【埋】マイ うづむ。●うづまる。●うづめる。●うづまる。

【埋木】ウモレ ながく土の中

にうづまつてゐた木の、化石しかかつて黒くなつたもの。●めた炭火。

【埋火】ウツミ 灰の中

【埋骨】コツ ほねをうづめる。●死んだ人をうづめる。

【埋没】ボツ うづもれて見えなくなる。

【埋葬】サウ 死んだ人を土中にうづめてほうむる。

【埋蔵】サウ うづめかくす。うづめてしまつておく。

【埋立地】ウメ 海や沼などであつたのをうめたてて陸地としたところ。

444 【城】ジヤウ セイ

しる。●しろのるすや

【城代】ジヤウ しろのるすや

【城郭】クワク しろ。とりで。

【城址】ジヤウ しろあと。

【城壁】ジヤウ 城のまはりのかき。城の土手。●町。

【城下】ジヤウ しろのある

【城下の盟】ジヤウカ いくまにまけ、城の下まで敵に攻め入れられて降参。●する

八 畫

446 【域】キキ ●さかひ。かぎり。●場所。

【域内】キキ きまつたばしよのうち。●をぬける。

【域を脱す】キキヲ しきり

446 【執】シツ とる。

【執心】シツ ふかくおもひこむ。●「だ心。」

【執念】シツ ちかく思ひこん

【執着】シツ 「執心」に同じ。

【執行】シツ とりおこなふ。●「シエギヤウ」ともよむ。

【執政】シツ せいぎをとりおこなふこと。又、その人。

【執拗】シツ ●かたい。●しつこい。正しくは「シツアウ」とよむ。

【執業】シツ 取りついで夫平に申しあげること。

【執務】シツ しごとをする。

【執箠】シツ ふでをとつてものを打く。

【執権】シツ つかし將軍をた

447 【培】バイ すけて政府をとりあつかつた後。

【培養】バイ つちかひやしな

ふ。草木を手入れしてま

【培】バイ つちかひ

448 【基】キ ●もと。●もと。●もと。

【基本】キ ちもと。もと。

【基金】キ ちもととなるか

【基礎】キ どだい。いしず

【基督教】キリスト 耶穌教

449 【埼】キ さまき。(崎に同じ)

【埼玉】サイタマ 關東地方にある縣の名。埼(こ)を「サイ」とよむのは管使(ごんじ)。

450 【窟】クツ ほり。

451 【堂】ダウ ●神佛をまつつてあるところ。●さかんなさま。

【堂宇】ダウ たら。

【堂堂】ダウ さかんなさま。いかめしくりつばなさま。

452 【堅】ケン かたし。

【堅牢】ケン かたくてちゆうぶ。

【堅固】ケン 前におなじ。

【堅壁】ケン せめおとしにく

【堅積】ケン いかたいとりで。

【堅忍】ケン がまんづよい。

【堅不拔】ケンバツ じつとこらへて心をうごかさな

【堅實】ケン てがたい。まち

【堅城】ケン かたくてたや

【堅魚木】ケン 神社の屋根



461 【堆】タイ ●うづたかし。●をか。

【堆肥】タイ うまの草などを

【堆積】タイ うづたかくちも

九 畫

454 **堤** テイ

つつみ。どて。

【堤防】テイ つつみ。どて。

455 **堪** カン

たふ。しのぶ。こらへる。

【堪忍】カン たへしのぶ。こらへる。がまんする。

【堪能】カン わざにすぐれてゐる。「ぞくする。」

【堪能する】カン ノウ まん

456 **報** ハウ

●むくゆ。●むくろ。●しらせ。しらせ。しらせ。

【報告】ハウ しらせ。

【報知】ハウ 前におなじ。

【報道】ハウ 前におなじ。

【報恩】オン おんがへし。

【報復】フク しかへし。

【報國】コク 國の恩にむくいる。國のために力をつくす。

【報徳】トク おんがへしする。

【報酬】シウ むくい。おれい。

457 **場** チャウ

ば。ところ。

【場内】ナイ そのばしよのうち。

【場外】ヂヤウ きめられたばしよのそと。

【場合】アヒ そのをり。

【場所】シヨ ところ。

【場所柄】ガテ そのあたりのやうす。

458 **堵** ト

かき。●まみる。きたなくなる。

【堵列】レツ かきを作つたやうに人がならぶ。

【堵に安んずる】トニヤス あんしんして自分の仕事をすること。

十 畫

459 **塊** クワイ

●つちくれ。つちのかたまり。●かたまり。

460 **塔** タフ

●石をつみかさねて高くしたはか。●寺などにある三重・五重などの高いたてもの。

461 **塗** ト

●みち。●どろ。●ぬる。

【塗抹】マツ ぬりつける。ぬりつぶす。

【塗料】レウ ぬる材料。糸のぐ・ペンキなど。

【塗板】バン こくばん。

【塗炭の苦しみ】クルシミ どもみづや火の中に入れられるやうな苦しき。

462 **塚** チョウ

つか。はか。

463 **塞** サイ

●ふさぐ。●ふさがる。(この場合は音ソク)●と(この場合は音サイ)

【塞外】サイ くにざかひよりそと。

464 **塩**

十二 畫

470 **墜** ツキ

●おつ。●おとす。

471 **増** ゾウ

●ます。●多くなる。●ますます。

【増水】ソウ 水かさが多くなる。

【増加】カウ ふえる。多くなる。

【増減】ゲン ふえるとへると。

【増長】ゾウ つけあがる。

【増進】シン すすめる。ふやしすめる。

【増大】ゾウ おほきくなる。ふえておほくなる。

【増給】ゾウ 給料をふやす。

【増補】ゾウ ふやしおぎなす。

【増額】ゾウ たかをます。

【増築】ゾウ たてまします。

【増殖】ゾウ ふえる。●ふやす。

472 **墨** ボク

すみ。●すみ。

【墨守】ボク かくまもつてあらためない。

【墨汁】ボク すみじる。

【墨客】ボク 墨畫などを書いたのしむ人。

【墨痕】ボク すみのあと。筆のあと。

【墨染の衣】ノコロモ 僧のきるくろいきもの。

鹽(南都十三畫)の簡易字體。2725を見よ。

十一 畫

465 **塵** チン

ちり。●ちり。●ちりあくた。●ちり。

【塵芥】カイン ちりあくた。●ちり。

【塵埃】アイン ちりほこり。

【塵煙】エン チン けむりのやうにあがるこみ。

【塵外】ヂン りきよのそと。世ばなれたところ。

466 **孰** ジユク

●がくもんするところ。●いへ。●へや。

【熟生】ジュク ジユク じゆくのせいと。

467 **境** ケイ

キヤウ

●さかひ。●はしよ。●かまへのうち。

【境内】ケイ さかひのうち。

【境界】カイ さかひ。「所」

【境域】キキ かぎられた場

【境遇】キヤウ みのうへ。

【境涯】ガイ キヤウ 前におなじ。

468 **墓** ボ

はか。●はか。

【墓石】ボキ はかいし。

【墓碑】ヒ はかじるしの石、又は木。

【墓地】チボ はかば。

【墓參】ボサン はかまわり。

【墓標】ボヘウ はかじるし。

469 **塀** ヘイ

へい。かこひ。かき。

473【墮】ダ

●おつ。●おとす。

【墮落】ラク 身もちがわるくなる。

474【墳】フン

●ほか。●ぞか。

【墳墓】フン ほか。

【墳墓の地】フンボ わが家の代々のほかのあるところ。生きたれ故郷。

十三畫

475【墮】アウ

をか。

476【墮】コン

ひらく。(新しく土地を開いて田畑にする)

【墮圃】コン ピヤク 土地をきりひ

477【壁】ヘキ

らいて田畑とすること。

●かべ。●かき。●とりで。●がけ。

【壁障】ゲキ かべにかいたる。

478【壇】ダン

一だんたかくなつたとこ

【壇上】ダン だんの上。

十四畫

479【厭】アツ

おす。おしつける。おさへる。

【厭力】アツ カしつける力。

【厭死】アツ おしつけられて死ぬ。

【厭制】アツ むりにおさへつける。

【厭迫】アツ おしつけせま

【厭抑】アツ おさへつけせし

【厭服】アツ おりたおしつけ

【厭倒】アツ おさへつけ

【厭掃】アツ おしもぢめ

480【壕】ガウ

城のまはりの池。

十五畫

481【壘】ルキ

小さい城。

【壘壘】ルキ かさなりつづくさま。

【壘壁】ルキ とりで。

十六畫

482【壞】クワイ

●やぶる。●こぼる。●こぼす。

【壞滅】クワイ こぼれてなくなる。

【壞廢】クワイ やぶれたれ

【壞亂】クワイ やぶれみだれ

十七畫

【壞土】クワイ つち。

土部

484【士】シ

さむらひ。

【士卒】シツ ●さむらひとあしがる。●下士と兵。兵た

【士族】シク わかしさむらひであつた家から。「尉。

【士官】シワン 少尉・中尉・大

【士氣】シキ 兵士のげんき。

【士道】シドウ さむらひの守るべき道。

四畫

485【壯】サウ

●まかんなり。●わかざかり。●つよし。

【壯丁】サウ わかもの。

【壯大】サウ 大きくてりつばである。

【壯年】サウ けつきざかりのとし。

【壯齡】サイ 前におなじ。

【壯快】サウ いさましくきもちがよい。「もの。

【壯者】サウ けつきざかりの

【壯烈】サウ げんきがまかん

【壯健】サウ たつしや。

【壯圖】サウ さかんなはかり

【壯舉】サウ めざましいふるまひ。大きなくほだて。

【壯麗】サウ さかんでうるはしい。りつば。

【壯觀】サウ まかんなみもの。りつばななめ。

【壯絶】サウ すぐれてさかんなこと。

486【壹】イツ

壹(土部九畫)の簡易字

487【壹】イツ

壹(耳部十一畫)の簡易字

九畫

488【壹】イツ

ひとつ。(一に同じ)簡易字

十一畫

489【壽】ジュ

●いのちながし。●とし。●よはひ。●ことほぎ。●ことほぐ。

【壽命】ジュ いのち。

【壽宴】ジュ ながいきをいはふさかもり。「一。

【壽老人】ジュ 七福神の

夕部

四畫

490【麥】マク

麥(麥部)の簡易字

六畫

491【麥】マク

麥(麥部十六畫)の簡易字

七畫

492【夏】カ

なつ。

【夏至】シゲ 一年中でいちばん日のながい日。六月二十一、二日ごろ。

【夏季】キ カ なつのはじめつ。

【夏期】キ カ なつのはじめつ。

【夏蠶】ゴナツ なつのかひこ。

十二畫

【麴】

麴(麥部八畫)の簡易字體。に(三)を見よ。

十三畫

【麴】

麴(麥部九畫)の簡易字體。に(三)を見よ。

夕部

495 【夕】セキ

●ゆふ。●ゆふべ。

【夕陽】セキ ヨウ ゆふひ。

【夕立】ダチ ユフ なつのはじめつにはか雨。

【夕刊】カン ユフ くれがたに出るしんぶん。

【夕風】ユフ ナギ ゆふがたに風がなくなること。

【夕照】セキ ヨウ ゆふやけ。

【夕暮】ユフ ヨレ ゆふがた。

【夕顔】ユフ ガハ 花はゆふがたにさいて朝しほむ。實からかんべりをつくる。

二畫

496 【外】ゲ

●ほか。●そと。●はつす。●はつする。

【外來】ライ ヨソからくる人。

【外人】ジン ヨソの國の人。

【外出】シュツ ヨソへでる。

【外形】ケイ ヨソのかたち。ちへのかつかり。

【外面】メン ヨソに見えるところ。うはべ。うはつら。

【外敵】ゲキ ヨソからせめてくるてき。

【外電】デン ヨソからきた電報。

【外宮】クウ イ勢の豐受大神宮(伊勢)。

【外債】サイ ヨソからの借金。

【外征】セイ ヨソをうつ。

【外交】カウ ヨソとのつきあひ。

【外科】ケウ からだの中や外

の故障(シヨウ)を手術(シユウ)でなほす醫學(イカク)。

【外見】ケン ヨソのうはべのみかけ。みえ。 「せき。」

【外戚】セキ ヨソの母かたのしん

【外侮】ブ ヨソの國又は人からはづかしめられる。

【外泊】ハク ヨソにとま

【外郭】クワク ヨソとまはり。

【外患】クワン ヨソからなやまされる。

【外國】コク ヨソのくに。

【外國貿易】ボウエキ ヨソの國との品物の賣買。

【外寇】コウ ヨソから攻めてくる。

【外遊】ユウ ヨソへ行く。

【外聞】ブン ヨソのせけんへのきこえ。人ぎき。

【外觀】クワン ヨソのうはべ。みかけ。

三畫

497 【夙】シユク

●つとに。早くから。●はやし。

【夙志】シユク シユク 早くからのおもひたち。

【夙夜】シユク ヤ 朝早くから夜おそくまで。

498 【多】タ

●おほし。

【多望】バウ タ みにみがある。

【多様】ヤウ タ いろいろさまさま。

【多額】ガク タ かずのおほいと。

【多大】ダイ タ たくさん。おほ

【多分】ブン タ ①おにかた。②たくさん。

【多少】セウ タ いくらか。すこ

【多用】ヨウ タ 用がおほい。い

【多忙】バウ タ いそがしい。

【多言】ゲン タ ことばかずがお

【多年】ネン タ ながいとしつ

【多事】ジ タ ①しごとが多い。②いそがしい。③できごとが多

【多謝】シャ タ ①あつくれいをする。②心からわびる。

【多量】リヤウ タ かがが多い。

【多藝】ゲイ タ いろいろのげい

【多勢】ゼイ タ おほぜい。

【多端】タン タ ①しごとがいそ

五畫

499 【夜】ヤ

●よ。●よる。

【夜分】ブン ヤ よる。よなか。

【夜陰】イン ヤ よるのくらさ。

【夜半】ハン ヤ よなか。よは。

【夜行】カウ ヤ 上あるき。

【夜前】ゼン ヤ さくばん。きの

【夜來】ライ ヤ ゆふべから。

【夜具】グ ヨソのふとん。

【夜景】ケイ ヨソのわけしき。

【夜業】ゲフ ヨソのしごと。よなべ。

【夜警】ケイ ヨソのよまはり。

【夜話】ワ ヤ ①よるあつまつてはなしすること。②それを書いた本。

【夜學】ガク ヨソのよるがくもん

【夜な夜な】ヨナ ヨソのまいばん。

【夜半の月】ツキ ヨソのよるのつき。よなかのつき。

【夜に乗ず】ヨニ ヨソのよるに

【夜を徹す】テツ ヨソのよるを

【夜すがら】 ガラ ヨス よどほし。

【夜もすがら】 ガラ ヨモス 前に  
おぼし。

【夜をこめて】 コメテ ●ま  
燈夜があけないうち。

【夜からあかつきにかけて】  
夜からあかつきにかけて。

【夜を日につぐ】 ヨラヒ  
よるひるつづけて。

十一畫

500 夢 ム

ゆめ。

【夢幻】 ゲン ゆめうつつ。

【夢想】 サウ ●ゆめにおも  
てみる。●あてもないこと  
を思ふ。

【夢中】 ム ●ゆめのう  
ち。●一生けんめい。

【夢の世】 ノヨ はかないよ  
中。

【夢寐の間】 アヒダ わてあ  
るあひだ。

大部

501 大 タイ

●おほいなり。●おほい  
も。●おほいば。

【大過】 タイ 大きなあやま  
ち。しつばい。

【大人】 ジン 徳の高いりつば  
な人。 「へる人」

【大工】 クダイ 家などをこしら  
へる人。

【大切】 セツ ていねい。だい  
じ。

【大別】 ベツ おほきくわけ

【大本】 ホン おほもと。

【大名】 ナメイ とのさま。

【大成】 テイ りつばにできあ  
がる。

【大兵】 たい たくさんの兵。

【大兵】 ヒヤウ からだのおほ  
きいこと。

【大半】 ハン おほかた。あら  
まし。

【大綱】 カウ 本もと。 「ぎ」

【大局】 キョク 大體のなりゆ  
き。

【大命】 メイ 天皇のごめいれ  
い。 「つりごと」

【太政】 さい 天下を治めるま  
こと。

【大典】 テン ●おほきなぎし  
き。●おほきなぎそく。

【大要】 エウ あらまし。

【大任】 ニン 大きなやくめ。

【大抵】 テイ おほかた。 「ひ」

【大差】 サイ おほきなちが  
い。

【大氣】 カイ 空気。

【大意】 タイ あらましのわ  
たし。

【大家】 ケイ かねもち。 「け」

【大家】 カイ 學問などにすぐ  
れた人。

【大義】 ガイ 國のため君のた  
めにつくすべき国下(下)の  
あも。

【大道】 だう ●ほほのひろい  
道。●人のすみまもるべき  
正しいみち。

【大望】 バウ おほきなぞ  
み。身分にすぎたのぞき。  
「タイマウ」とも訓む。 「る」

【大喝】 カツ 大ごゑでしか  
らう。

【大勢】 せい ●だいたいのや  
うす。●世のなりゆき。

【大勢】 オホ たくさんの人。

【大業】 ガイ 大きなしごと。

【大路】 オホ はほのひろいみ  
ち。大通り。

【大喪】 タイ 天皇・皇后・皇  
太后などがおかくれになつ  
た時の喪(さう)。

【大葬】 タイ 天皇・皇后・皇  
太后などの御葬儀と、それ  
に伴ふふきしき。

【大衆】 シユウ ●多くの  
人。●多くの衆。

【大捷】 セイ 大いに勝つこ  
と。

【大憲】 ケン たいせつなおき  
て。 「かふこと」

【大擧】 キョ 大せいでたちむ  
く。

【大儒】 ジユ 大學者。

【大權】 ケン 天皇が國土・人  
民を支配したまふ権力。

【大略】 リヤク あらまし。

【大亂】 ラン 國が大いにみだ  
れること。

【大禮】 レイ たいせつな  
こと。

【大膽】 タン ものごとにおそ  
れないこと。

【大才夫】 チヤウフ 男子。ま  
すら。

【大丈夫】 チヤウヂウ たしかで  
あること。しつかりして  
ること。

【大宮人】 オホミヤ 宮中につ  
かへる人。 「と」

【大内裏】 だいり 宮城のこ  
ろ。

【大元帥】 ゲンシュウ 陸海軍の  
總大將。天皇陛下御みづか  
らこれにあたらせられる。

【大本營】 ホンエイ 大元帥  
下のおいでになる本營。

【大和魂】 ヤマト 日本人  
けがもつ、世界にくらべる  
もののないりつばな心。や  
まとこころ。

【大晦日】 オホシツカ 一年のい  
ちばんあはりの日。おほつこ

【大禮服】 タイレイ だいに  
儀式の時に用ひる禮服。

【大統領】 だいとうりょう 共和政體  
の國のかしら。人民の選  
ばれたもの。

【大音聲】 だいおんせい おほ  
いこゑ。

【大群團】 だいぐんたん 大そうお  
ほくのあつまり。

【大同小異】 だいどうせうい 少  
しちがひがあること。

【大言壯語】 だいげんさうご 大  
げんご。

【大器晩成】 だいぎばんせい すぐ  
からりつばにできあがると  
いふこと。

502 天 テン

●あめ。●あま。●そら。

【天子】 テン ミかど。天皇。

【天女】 テン 天に住むといふ  
うつくしい女。

【天人】 テン 前におなじ。  
にのぼる。

【天上】 テン ●そら。●天  
のぼる。

【天下】 テン あめがしを  
さかす。●世界。●天國。

【天才】 テン うまれつきすぐ  
れたる。ちあま。

【天井】 テン やねうらには  
りあはれた。

【天窓】 テン やねあけた  
窓。

【天日】 テン 日。太陽。

【天文】 テン 日・月・星など  
についでのこと。

一畫



【天位】<sup>テン</sup> 天子のみくら  
 【天佑】<sup>イウ</sup> 天のたすけ  
 【天性】<sup>セイ</sup> りまれつき。も  
 ちまへ。  
 【天資】<sup>シ</sup> 前におなじ。  
 【天賦】<sup>ブ</sup> 前におなじ。  
 【天稟】<sup>リン</sup> 前におなじ。  
 【天質】<sup>シツ</sup> 前におなじ。  
 【天與】<sup>ヨ</sup> しぜんにそなは  
 つてゐること。  
 【天授】<sup>ジュ</sup> 前におなじ。  
 【天祖】<sup>ソ</sup> 天照大神のこと  
 を申し上げる。  
 【天命】<sup>メイ</sup> うんめい。  
 【天秤】<sup>テン</sup> さをばかり。  
 【天恩】<sup>オン</sup> 天子のごおん。  
 【天災】<sup>サイ</sup> しぜんのさいな

【天盃】<sup>バイ</sup> 「さかづき。  
 天子より下さる  
 【天晴】<sup>ハツ</sup> かんしんしたと  
 きにいふことば。  
 【天然】<sup>ネン</sup> ひとりである  
 もの。○自然。  
 【天涯】<sup>ガイ</sup> ●そらのはて。  
 ●たいそり遠いところ。  
 【天威】<sup>キ</sup> 天子のごみくわ  
 う。  
 【天馬】<sup>バン</sup> よくはしる馬。  
 【天候】<sup>コウ</sup> てんき。「り。  
 【天道】<sup>ダウ</sup> しぜんのたう  
 【天顔】<sup>ガン</sup> 天子のおかほ。  
 【天聽】<sup>テン</sup> 天子がおきき  
 になること。  
 【天職】<sup>シヨク</sup> 天からさづけ  
 られたつとめ。  
 【天理】<sup>リ</sup> しぜんの道理。

【天變】<sup>ベン</sup> そらにおこるか  
 はりごと。  
 【天罰】<sup>バン</sup> 天のばつ。  
 【天機】<sup>キ</sup> ●天子のごきげ  
 ん。●ふかい秘密。  
 【天體】<sup>テイ</sup> 日・月・星など  
 のこと。  
 【天地】<sup>チ</sup> 天と地。「つち。  
 【天壤】<sup>ジャン</sup> 天と地。あめ  
 【天壤無窮】<sup>ムキウ</sup> 天  
 地のあらんかぎりさかえて  
 きはまりないこと。  
 【天覽】<sup>ラン</sup> 天子のごらん  
 なること。「ち。  
 【天壽】<sup>ジュ</sup> きまつたいの  
 【天長節】<sup>テンチャウ</sup> 天皇陛  
 下の御たんじやうびにあつ  
 る祭日。  
 【天守閣】<sup>テンシ</sup> 城の木丸  
 の上にたかくこしらへた

【天刑病】<sup>テンケイ</sup> らい病の  
 こと。  
 【天の原】<sup>アマノ</sup> おほぞら。  
 【天の目】<sup>アマ</sup> 太陽。  
 【天津日嗣】<sup>ヒツギ</sup> 天皇の  
 みくらゐ。  
 【天氣豫報】<sup>テンキ</sup> 天氣の  
 もやうを前もつて知らせる  
 こと。  
 【天地一白】<sup>イチハク</sup> 雪が  
 ふつて見えるかぎりまつし  
 ろなこと。  
 【天真爛漫】<sup>ランマン</sup> すこ  
 しもかざりけのないこと。  
 【天叢雲劍】<sup>アマノムラクモ</sup>



三種の神器の一。○草薙の  
 劍(ヤマトタガヒ)ともいふ。

503 【太】<sup>タイ</sup>  
 ●ふとし。●はなはだ。  
 【太子】<sup>タイ</sup> 天子のよつぎ。  
 皇太子。  
 【太刀】<sup>タチ</sup> かなたな。  
 【太古】<sup>コ</sup> おほむかし。  
 【太平】<sup>ハイ</sup> 世の中がよくを  
 さまつておだやかなこと。  
 【太后】<sup>コウ</sup> 太皇太后・皇太  
 后のこと申し上げる。  
 【太物】<sup>モノ</sup> たんもの。  
 【太閤】<sup>カフ</sup> ●關白(ハクサン)の  
 父である前の關白をいふ。  
 ●豊臣秀吉のこと。  
 【太陰】<sup>イン</sup> 月。  
 【太陰曆】<sup>レイ</sup> タイイン 月(太陰)  
 が地球のまはりを一まはり

するのにかかる時間をもと  
 にしてつくつた曆。○陰曆。  
 ○舊曆。  
 【太陽】<sup>ヤウ</sup> 日。  
 【太陽曆】<sup>レイ</sup> 地球が太  
 陽を一まはりするのにかか  
 る日数を一年とした曆。○  
 陽曆。○新曆。  
 504 【夫】<sup>フ</sup>  
 ●を。●を。●を。●を。  
 【夫人】<sup>フジン</sup> おくさま。  
 【夫妻】<sup>フウサイ</sup> をつとつとつま。  
 ふうふ。  
 【夫子】<sup>フフ</sup> せんせい。  
 【夫役】<sup>フヤク</sup> にんぶとなつて  
 おかみの仕事をすること。  
 【夫婦】<sup>フウフ</sup> をつとつとつま。  
 【夫唱婦隨】<sup>フシヤウフズイ</sup> 夫の  
 いふことに妻がしたがふ。

505 【失】<sup>シツ</sup>  
 なかば。まんなか。  
 506 【失】<sup>シツ</sup>  
 ●うしなふ。●うす。う  
 せる。なくなる。●あや  
 まち。  
 【失脚】<sup>シツキヤク</sup> しくじり。  
 【失火】<sup>シツカワ</sup> あやまつておこ  
 した火事。  
 【失言】<sup>シツゲン</sup> いひそこなひ。  
 【失敬】<sup>シツケイ</sup> ●そさうする。  
 ●さよなら。  
 【失政】<sup>シツセイ</sup> まつりごとをあ  
 やまる。「ふ。  
 【失笑】<sup>シツセウ</sup> ふき出してわら  
 と。しくじり。  
 【失態】<sup>シツタイ</sup> へまをやるこ  
 と。しくじり。

【失意】<sup>シツイ</sup> おもふやうにな  
 らぬ。  
 【失策】<sup>シツサク</sup> しくじり。  
 【失敗】<sup>シツバイ</sup> 前におなじ。  
 【失神】<sup>シツシン</sup> 氣をうしなふ。  
 ぼんやりする。氣ぬけする。  
 【失明】<sup>シツメイ</sup> めくらになる。  
 【失念】<sup>シツネン</sup> わすれる。  
 【失踪】<sup>シツソウ</sup> ゆくへがしれ  
 なくなる。  
 【失望】<sup>シツバウ</sup> あてがはずれ  
 る。がつかりする。  
 【失禮】<sup>シツレイ</sup> そさうする。  
 【失墜】<sup>シツツイ</sup> おとす。うしな  
 ふ。  
 【失職】<sup>シツシヨク</sup> しごとにはな  
 れる。

507【夷】イ

●たひらか。●たひらく。●えびす。

【夷狄】イキテ えびす。開けぬ國の人民。

五 畫

508【奇】キ

●めづらし。●くすし。●二で割り切れない数。

【奇人】キン ジン ふうがはりの人。

【奇才】サイ サイ すぐれた才智のための兵。

【奇抜】キツツ なみはずれ。

【奇怪】クワイ キ あやしい。けしからぬ。「き」。

【奇数】ケイ ケイ めづらしいけし。

【奇策】キツク めづらしいはかりごと。

【奇計】ケイ ケイ 前におなじ。

【奇特】キツク すぐれてかんしんなこと。

【奇術】キツク テジナ。

【奇禍】クワ キ おもひがけないさいなん。「ひ」。

【奇貨】クワ キ もつげのさいは。

【奇勝】キツク けしきのめづらしくよいところ。

【奇習】キツク ふつふつにたいめづらしいならはし。「い習」。

【奇數】ケイ ケイ 二でわりきれない。

【奇績】キツク おもひがけない。てがら。「かみわざ」。

【奇蹟】キツク 不思議なわざ。

【奇選】ケイ ケイ 思ひがけなくであふこと。

【奇麗】レイ レイ すぐれてうつくしい。「りさま」。

【奇觀】クワン キ めづらしいあふしぎでたまらぬこと。

【奇怪至極】クワイキツク 前におなじ。●たいそう道即(じ)にはづれてゐる。

【奈何】カン キ いかにか。どうであるか。

【奈落】ナツク 落ちてく。

【奉公】ホウキョウ ●君のため國のために力をつくす。●主人にかかへられる。

【奉還】ホウワン オかへし申すこと。

【奉行】ボウギョウ 幕府(ぼくご)があつたころの、いろいろな役のかしら。「寺社奉行」。

【奉仕】ボウジ オつかへ申しあて行ふこと。「げる」。

【奉呈】ボウテイ さしあげる。

【奉書】ボウショ おもに儀式に用ひるかみ。「く」。

【奉職】ボウシヨク やくめににつける。

【奉答】ボウダフ おこたへ申しあてる。

【奉送】ボウソウ お送り申しあげける。

【奉迎】ボウゲイ おむかへ申しあてる。「む」。

【奉讀】ボウドク つつしんでよめる。

【奉納】ボウナフ 神佛に物をたて

【奉體】ホウタイ ふかく心にとめてじつさいにおこなふ。

【奉戴】ホウタイ うやまひいたたく。

六 畫

511【奏】ソウ

●まうしあける。●すすめる。●かなづ。

【奏上】ソウ シヤウ 天皇陛下に申しあげる。

【奏聞】ソウ モン 前におなじ。

【奏功】ソウ コウ ●てがらをたてる。●うまくでき上る。

【奏効】ソウ カウ ききめがある。

【奏請】ソウ セイ 天子におねがひ申しあげる。

【奏樂】ソウ ガク 音楽をする。

512【契】ケイ

●ちぎる。約束する。●ちぎり。約束。

【契約】ケイ ヤク やくそく。

【契印】ケイ イン わりいん。わりはん。

513【奔】ホン

●はしる。●せわする。●かけまはる。

【奔放】ホン パウ かつてきまま。

【奔流】ホン リウ はやいながれ。

【奔馬】ホン バン にげはしる馬。

七 畫

514【套】タウ

●かさなる。●おぼひ。●ふるくなる。

九 畫

515【奢】シヤ

●おごる。●おごり。●奢修(しゃしゆ) レヤ おごり。せいをく。

十 畫

516【奥】アウ

●おく。●奥行(おくぎやう) オク 家又は地所などの奥へのながさ。

【奥義】オク ギ おくのて。

【奥附】オク ツケ 本のはりに、ねだんや、本を讀いた人、ましらへた人などを配してあること。

十一 畫

517【奪】ダツ

●うばふ。●奪掠(だつりやく) ダツ リヤク うばひとる。

518【獎】シヤウ

●すすむ。●獎勵(げんごう) レイ ヤウ すすめはげます。

【獎學】ゲイガク 學問をすすめる。

十三 畫

【舊】フン

●ふるふ。●舊聞(きゅうぶん) コウブン ●げんきを出してたかふ。いさましくたかふ。●ぐらんぼる。

【奮起】フン キ ふるひたつ。

【奮發】フン パツ 心をふるひおこす。

【奮迅】フン いきほひするとくふるひたつ。  
 【奮然】フン ふるひたつさま。  
 【奮激】ゲキ はげしくふるひたつ。  
 【奮戦】フン いさましくたたかふ。  
 【奮勵】レン ふるひはげむげんきを出す。

女部

520 【女】ニョ ①をんな。②め。③むすめ。④なんぢ。  
 【女人】ニョ をんな。  
 【女子】シヨ ①をんな。②をんなの子。  
 【女中】ジヨ はしため。下チヌウ

【女工】ヂョ 工場などで手仕事をする女。  
 【女王】ヂョ ①女の王様。②皇族がたのおひめさま。  
 【女帝】ヂョ 女天子。  
 【女史】ヂョ 學問などのできる女の名の下にそへてよぶことば。  
 【女官】ヂョ 宮中につかへてゐる女。  
 【女神】ヂョ 女のかみさま。めがみ。  
 【女房】ニョウ ①つま。②むかし宮中につかへた女官。  
 【女流】リウ をんなのなから。をんな。  
 【女装】ヂョ ①女の上そほひ。②男が女の姿をすること。  
 【女郎花】ヘシ 秋の七草の一つ。

【女丈夫】ヂョ をとこまさりの女。  
 【女らしい】シイ 男らしくない。いくぢがない。  
 三畫  
 521 【好】カウ ①よし。②よしみ。③このむ。④すく。⑤すき。  
 【好例】レイ よいためし。  
 【好尙】カウ このみ。  
 【好機】キ よいをり。  
 【好奇】キ ものずき。「の。  
 【好物】ブツ すきなたべもの。  
 【好惡】カウ すききらひ。  
 【好事】ジ めでたいこと。よいこと。「人。  
 【好事家】カウ ものずきな

【好意】カウ しんせつなころ。「ん。  
 【好評】ヒヤウ よいひやうば。  
 【好學】ガク 學問をこのむ。  
 【好結果】カウ よい結果。よいできばえ。  
 522 【如】ジヨ ①ごとし。②しく。③もし。  
 【如來】ライ ほとけ。  
 【如露】ロ 水まきや、りゑ木に水をかけるのにつかふもの。  
 【如何】イカガ どうである。  
 【如月】キサ 舊曆二月。  
 【如此】カクノ このとおり。



五畫

【如斯】カクノ 前におなじ。  
 【如何にもして】イカニド んなにでもして。  
 523 【妃】ヒ きさきき。  
 524 【妄】マウ ①みだり。②みだりに。  
 【妄言】ゲン あてにならぬことば。  
 【妄語】ゴ 前におなじ。  
 【妄評】ヒヤウ むやみやたらにひひやうする。  
 【妄舉】キョ むでつばうなおこなひ。  
 【妄動】ドウ 前におなじ。

四畫

【妊娠】シン はらむ。みもち。  
 526 【妖】エウ ①なまめかし。②あやし。③わざはひ。④ばけもの。  
 【妖言】ゲン つくり言。うそ。  
 【妖怪】クワイ ばけもの。  
 【妖精】セイ ばけもの。  
 527 【妙】メウ ①たへ(物事のすぐれてゐること、又、ふしぎなこと) ②年がわかい。  
 【妙手】シユ じやうず。上手の人。  
 【妙技】ギ たくみなわざ。  
 【妙味】ミ すぐれてよいあぢ。うまみ。いふにいはいれぬおもしろみ。

【妙所】シヨ すぐれてよいところ。  
 【妙案】アン よいかんがへ。  
 【妙趣】シユ すぐれたおもむき。おもしろみ。  
 【妙齡】レイ としわか。  
 【妙藥】ヤク ふしぎによくきくくすり。  
 528 【妥】ダ ①やすし。②おだやか。  
 【妥協】ケフ をりあひをつけ「る。  
 【妥當】ダウ よくあてはま「る。  
 529 【妨】パウ ①さまたぐ。②さまたげ。  
 【妨止】シバウ じやまをしてとめる。「やまする。  
 【妨害】ガイ さまたげる。じ

530 【妬】ト ねたむ。  
 531 【妹】マイ ①いもうと。②いもと。③いも。  
 532 【妻】サイ ①つま。②めあはす。よめにやる。  
 【妻子】サイ つまと子。  
 【妻女】サイ つま。  
 【妻帯】サイ つまをもつ。  
 533 【姉】シ あね。  
 【姉妹】シ マイ あねといもらと。

534 **【始】** シ

●はじめ。●はじまり。  
●はじむ。●はじまる。

【始末】マツ ●はじめから  
はりまで。●事のわけ。●  
かたづける。處分する。●  
けんやくをする。

【始末書】シヨマツ あやまちな  
どをしたとき、そのわけが  
らを書いてだすかきつけ  
る。

【始業】ゲフ しごとをはじめ  
る。

【始終】ジユウ ●はじめから  
をはりまで。●たえず。つ  
ねに。

535 **【姓】** セイ  
シヤウ  
かばね。みやうじ。

【姓名】メイ みやうじとな。  
【姓氏】セイ うぢ。みやうじ。

536 **【委】** キ

●ゆだね。●まかす。●  
すつ。●くはし。

【委任】ニン まかせる。  
【委員】キン まかされた人。  
【委細】サイ くはしく。

【委曲】キョク 前におなじ。  
【委託】タク たのみあづけ  
る。

【委棄】キ カまはずにうちす  
てておく。

【委囑】ヨク まかせたのむ。

六 畫

537 **【姦】** カン

●みだりがはし。●よこ  
しま。●かしまし。やか  
ましい。

【姦智】カン わるぢゑ。

【姦計】ケイン わるだくみ。

【姦雄】ユウ わるぢゑのある  
英雄。

538 **【姪】** テツ

●めひ(兄弟の生んだ女  
の子)。●まひ(兄弟の生  
んだ男の子)。

539 **【姫】** キ  
ひめ。

540 **【姻】** イン

●よめいり。●むことり。  
●えんぐみ。●えんつづ  
き。しんるゐ。●ちなみ。  
【姻戚】イン 結婚(カウ)して出  
來たしんるゐ。

541 **【姿】** シ

すがた。

【姿勢】セイ からだつき。

542 **【威】** キ

●たけし。●いきほひ。  
●おどす。

【威力】キ いきほひをも  
つて人をしたがはせる力。

【威名】メイ いかめしいい  
うはさ。「きほひ」。

【威光】クワウ いかめしい  
【威服】フク おどかしてした  
がはせる。「す」。

【威風】フウ いかめしいやう  
【威容】ヨウ 前におなじ。

【威儀】キ やうすのいかめし  
いこと。「ましいげんき」。

【威勢】セイ いきほひ。いさ  
【威嚴】ゲン けだかくおごそ  
かなこと。

【威歴】キツ いかめしさでお  
さへつける。

七 畫

543 **【娘】** デヤウ  
むすめ。

【娘子軍】シヤウ 女ばかりで  
つくつた軍隊。

544 **【娛】** ゴ

●たのしむ。●たのしみ。  
【娛樂】ラク たのしみ。

545 **【娠】** シン  
はらむ。

八 畫

546 **【婆】** ハ  
ばば。

【婆心】シン しんせつすぎる

547 **【婚】** コン

●むことり。●よめいり。  
【婚姻】イン ふうふになるこ  
と。えんぐみ。○結婚。

【婚期】キン よめいりする年  
ころ。

【婚禮】レイ えんぐみのし  
き。

548 **【婦】** フ

●よめ。●をんな。  
【婦人】ジン をんな。

【婦道】ダウ をんなのまもる  
べきみち。

【婦徳】トク 女の道にかなつ  
たよいおこなひ。「も」。

【婦女子】シフヂヨ をんなこと

九 畫

549 **【婿】** セイ  
むこ。

550 **【媒】** バイ  
なかだち。

【媒介】バイ なかだち。とり  
もち。

【媒妁】シヤク たかうど。

551 **【媚】** ビ

●こぶ。へつらふ。●こ  
び。へつらひ。

552 **【媛】** エン  
ひめ。

十 畫

553 **【嫁】** カ  
●とづく。よめいりす  
る。●よめ。

554 **【嫉】** シツ

●ねたむ。●そねむ。●  
ねたみ。●そねみ。

【嫉妬】シツ ねたみ。そねみ。  
【嫉視】シツ ねたましくおも  
ふ。

555 **【嫌】** ケン

●きらふ。●きらひ。●  
うたがひ。

【嫌惡】ケン ●きらひにく  
む。●いやがる。

【嫌疑】ケン うたがひ。

十一 畫

556 **【嫡】** チキ  
●むかひめ。本妻。●よ  
つき。

【嫡子】シヤク 本妻の生んだ

あつぎむすこ。よつぎ。あつぎ。【子】  
【嫡出】シヤク 本妻の生んだ  
【嫡男】ナヤク 本妻の生んだ  
あつぎむすこ。

十七畫

557 【孀】チヤウ  
むすめ。

子部

558 【子】シ  
①こ。こども。②ね(十  
一支の第一)。

【子女】シ ちよ ども。  
【子規】シ ほととぎす。  
【子房】シ 雌蕊(シ)の下の  
方のふくれてゐるところ。

【子息】シク むすこ。  
【子孫】ソン ①子やまご。ま  
ご。②ちすぢのすゑ。  
【子葉】シ ヲフ めばえに出る  
葉。

【子守】モリ 子どものもり。

【子弟】シ ①わかいもの。  
わかもの。②子供や弟。

【子爵】シヤク 五爵の第四。

【子午線】シゴ 子は北、午は  
南。即ち地球の南北兩極に  
わたつてかりに引いたたて  
の線で三百六十ある。地球  
上の位置を示す便利のため  
に引いたものである。

【子子孫孫】ソンソン まご  
このすゑ。だいたい。

一畫

559 【孔】コウ  
ク

あな。  
【孔子】シウ むかし、支那に  
うまれた聖人。  
【孔孟】マウ 孔子と孟子。  
【孔雀】ジャク 鳥の名。

三畫

560 【字】ジ  
①もじ。②あざ。③あざ  
な。

【字典】テン 文字のよみかた  
やわけなどを説明した本。  
【字義】ジ 文字のわけ。  
【字體】ジ 文字のかたち。  
文字のかきかた。「讀方」。

【字訓】ケン 漢字の日本風な  
【字音】オン 漢字の音(ハ)。

561 【存】ソン  
ソン

①あり。ある。②ながら  
ふ。いきながらへる。③  
たもつ。④おもふ。⑤い  
たる。

【存亡】ソン 立ちゆくかほろ  
びるか。

【存分】ソン おもひのまま。  
【存立】ソン ほろびずに立つ  
て行くこと。「か」。

【存外】ソン おもひのほ  
【存在】ソン ある。

【存否】ソン あるかないか。  
生きてゐるかあるかないか。

【存命】メン いきてゐる。  
【存念】ネン かんがへ。

【存廢】バン のこしておくか  
やめるか。

【存續】ソン つづく。

四畫

562 【孚】フ  
①とりのたまご。②たま  
ごをかへす。③やしなふ。  
④まご。

563 【孝】カウ  
親★先祖によくつかへる  
こと。

【孝子】シカウ 孝行な子。

【孝弟】テイ カウ 次におなじ。

【孝悌】テイ カウ よく父母につか  
へ、兄弟むつまじくするこ  
と。

【孝行】カウ よくおやにつか  
【孝道】カウ 孝行のみち。

【孝貞】テイ カウ よく父母や夫に  
つかへる。「やをやしなふ」。

【孝養】カウ 孝行してよくお  
やウ

【孝順】カウ おやの氣にあ  
ふやうにつかへる。

五畫

564 【孟】マウ  
はじめ。

【孟子】シマウ むかし支那にう  
まれた賢人。

【孟冬】トウ マウ ふゆのはじめ。

【孟春】シマウ はるのはじ  
め。

【孟秋】シマウ あきのはじめ。

【孟夏】カウ なつのはじめ。

565 【季】キ  
①すゑ。②じせつ。

【季子】シキ すゑの子。

【季節】セツ ①とき。②をり。  
○時候(キ)。

【季節風】フウ 季節によつ  
て吹きかたのきまつてゐる  
風。

566 【孤】コ  
①みなしご。親のないを  
さなご。②ひとり。③ひ  
とつ。④ひとりだち。ひ  
とりぼつち。

【孤立】リツ ひとりだち。

【孤兒】ジコ おやのない子。み  
なしご。

【孤鳥】タウ はなれじま。

【孤軍】ケン たすけにくるも  
ののない軍ぜい。

【孤忠】チュウ ほかにたすけ  
るものもないひとりだちの  
忠義。

【孤舟】シウ ただ一つのふ  
ね。

【孤影】エイ ただ一人でさび  
ね。

【孤燈】トウ ただ一つのとも  
しび。「ひとりぼつち」。

【孤獨】ドク ひとりもの。ひ  
【孤兒院】キン みなしごをや  
しなひそだてるところ。

七畫

567 【孫】ソン  
まご。

十一畫

568 【孵】フ  
①かへる。卵がかへる。  
②かへす。卵をかへす。

【孵化】クワ ①たまごをかへ  
す。②たまごがかへる。

十三畫

569 【學】ガク

【學力】リョク 學問のちから。  
 【學修】ガク まなびをさめら。  
 【學才】サイ 學問のはたらき。  
 【學友】イウ 學校の友だち。  
 【學生】ガク ●學問ををさめるもの。●大學生。  
 【學徒】トク ●學生生徒。●學者。●學問の研究をする人。  
 【學位】キ 學者にさづける博士號。「めたきそく」。  
 【學制】ガク 學校のことをき。  
 【學者】ガク 學問のすぐれてゐる人。ものしり。「り」。  
 【學理】リ 學問上の道理。  
 【學資】シ 學問をするのにいる金。

【學務】ガク 教育についてのしごと。  
 【學殖】シヨク 學問のふかさ。  
 【學窓】サウ 學問をするところ。  
 【學校】ガク まへにおなじ。  
 【學問】ガク くみたてられた知識。  
 【學業】ガク 學問(ガク)。  
 【學說】ガク 學問の上でとるかんがへ。「ひ」。  
 【學徳】トク 學問とおこな。  
 【學識】シキ 學問上のけんしき。  
 【學齡】レイ 國民教育を受くべき年齢。  
 【學界】ガイ 學問の社會。  
 【學鷲】ガクワシ 學生から飛行兵になつたもの。

【子部】

【宅】

570 【宅】タク すまひ。いへ。  
 【宅地】タク 家がたつてゐる土地。やしき。  
 571 【宇】ウ ●のきした。●いへん●せかい。  
 【宇内】ウ 世界。天下。  
 【宇宙】ウ 天地。  
 572 【守】シユ ●まもる。●もる。●まもり。●もり。●かみ。地方長官。  
 【守兵】シユ かもつてゐる兵。

【守成】シユ できあがつた事をまもつてつづくやうにする。  
 【守備】シユ そなへ。かため。  
 【守衛】シユ ●まもること。●まもる人。ばんにん。  
 【守護】シユ ●まもる。●まもり。  
 【守錢奴】シユ ただ金をためるばかりのよくばりをばかにしていふことば。  
 573 【安】アン ●やすし。●やすらか。●やすんず。●いづくんぞ。  
 【安心】アン 心がやすまる。  
 【安神】アン 前におなじ。  
 【安意】アン 前におなじ。

【安堵】アン 前におなじ。  
 【安全】アン あぶなくない。  
 【安全地帯】アンゼン あぶなくないところ。  
 【安定】アン おちつく。  
 【安否】アン ぶじかぶじでないか。  
 【安價】カン やすいねだん。  
 【安閑】カン ひまのあるくら。  
 【安危】アン やすらかとあやふいと。  
 【安固】アン やすらかでかた。  
 【安逸】アン しんげがない。  
 【安樂】アン やすらかでたの。  
 【安着】アン ぶじにつく。  
 【安靜】アン しづかにおちつく。

【安眠】アン やすらかにねむ。  
 【安寧】アン やすらか。おだやか。  
 【安泰】アン やすらか。  
 【安置】アン すゑる。佛像などをすゑておく。  
 【安穩】アン おだやか。  
 574 【完】クワン ●まつたし。●まつたくす。まつたうす。  
 【完了】クワン すつかりできあがる。  
 【完成】クワン 前におなじ。  
 【完全】クワン まつたい。かじめがない。  
 【完全無缺】クワン と

【完】

このつてかけめがない。  
 【完結】クワン ぜんぶをはる。  
 【完納】クワン すつかりをさめる。「はる」。  
 【完備】クワン すつかりそなへる。  
 575 【宏】クワウ ●おほいなり。●ひろし。  
 【宏大】クワウ ひろくておほきい。「である」。  
 【宏壯】クワウ 大きくりつぱい。  
 【宏遠】クワウ ひろくとほい。「りごと」。  
 【宏圖】クワウ おほきなはか。  
 【宏謨】クワウ 前におなじ。

【宗】

●むね。●もと。おほもと。  
 【宗旨】シユウ ●その宗教でをしへる道。●宗門。  
 【宗門】シユウ 宗教のくべつ。「(おほ)などの先生」。  
 【宗匠】シヤウ 茶の湯・生花の。○一門。  
 【宗族】ソク みうち。しんるゐ。○一門。  
 【宗派】シユウ 宗教のいろいろなかれ。「もと」。  
 【宗家】ソウ 本家(おほ)。「いへ」。  
 【宗教】シユウ 佛敎・キリスト敎など。  
 【宗廟】ソウ 天子の祖先をまつてあるところ。  
 577 【官】クワン つかさ。やく。やくしよ。  
 【官命】クワン おかみのめい

【官女】クワン チョウ みをん。みやづかへの

【官吏】クワン やくにん。かま。やくにんたち。やくにん。

【官舎】クワン シヤ やくにんを住まはせるためにおかみの費用【註】でたてた家。

【官位】クワン キ つかうの人民。

【官民】クワン ミン やくにんとふ

【官邸】クワン テイ 政府が役人を住まはせるために設けた家やしき。

【官省】クワン シヤウ やくしよ。

【官武】クワン ブ 文官と武官。

【官軍】クワン グン 政府方のぐん【註】「す費用【註】」。

【官費】クワン ビ つかうから出

【官署】クワン シヨウ やくしよ。

【官衙】クワン ガ たくしよ。

【官廳】クワン チヤウ やくしよ。

【官僚】クワン レウ やくにんのなにかま。やくにんたち。やくにん。

【官職】クワン シヨク やくめ。

【官幣社】クワン ベイシヤ 官の幣帛【註】をそなへてまつる神社。大中小と別格との四種がある。

【官武一途】クワン ブ イツト 役人も軍人もいつしよに。

578 【宙】チウ そら。

【宙返り】クワン ガヘリ 空中でさかさまにひと廻りするところ。

【宙を飛ぶ】クワン トブ ①そらをとぶ。②はやく走る。

579 【定】テイ チヤウ ①さだまる。②きまる。

さだむ。さめる。③さだめ。きめ。

【定見】テイ ケン きまつたかんがへ。

【定刻】テイ コク きめてある時間。④ころにすむ。

【定住】テイ チユウ ながく同じと

【定命】テイ ミヤウ まへの世からきまつてゐるいのち。⑤ず。

【定員】テイ ケン きまつた人か

【定義】テイ ギ ある事についてきまりきつたりくつを説明したもの。

【定紋】テイ モン その家の紋。

【定價】テイ カ きめたねだん。

【定款】テイ クワン 會社などのりきめ。⑥うばん。

【定評】テイ ヒヤウ きまつたひや

【定期】テイ キ きめてある時。

【定率】テイ リツ きめてあるわりあひ。⑦分量【註】。

【定量】テイ リヤウ さだめられた

580 【宛】エン ①あたかも。②さながら。ちやうど。③あて。④つ

【宛然】エン らん あたかも。ちやうど。⑤ころがるさま。

【宛轉】エン テン なめらかによく

【宛名】エン ナテ 手紙などに書く先方【註】の名。

581 【宜】ギ ①よし。②よろし。③うべ。あたりまへ。

582 【実】ジ 實【六部十一畫】の簡易字體。611を見よ。

583 【宝】

寶【六部十七畫】の簡易字體。611を見よ。

六 畫

584 【客】カク

①まねきよんだ人。②たづねて来た人。③たびびと。④買物にきた人。⑤すぎ去つたことをいひあらはすことば。

【客歳】カク サイ きよねん。

【客舎】カク シヤ やどや。

【客死】カク シ たびで死ぬ。

【客年】カク ネン きよねん。

【客氣】カク キ 一時のはやり氣。わかけ。

【客遊】カク イウ たび。

【客觀】カク クワン 自分の立場か

【客船】カク セン 人をのせるぶね。

【客席】カク セキ おきやくのせ

【客臘】カク ラフ 去年の冬。

585 【宣】セン

①のぶ。②のたまふ。③のぶ。天皇のみことりのをのべ下す。「す。

【宣布】セン プ ひろくつげしめ

【宣告】セン コク いひわたし。

【宣言】セン ゲン ひろくおもてだつてつける。④い。

【宣旨】セン ジン 天子の御めいれ

【宣傳】セン デン ひろめつたへる。いひひろめる。

【宣揚】セン ヤウ のべあげる。ひろく世にあらはす。

586 【室】シツ

①いへ。②へや。③むろ。土中のへや。

七 畫

587 【宮】キユウ

【宮廷】キユウ テイ 天皇陛下のおいでになるところ。⑤皇居。

【宮人】キユウ ジン 宮中におつかへする人。みやびと。

【宮女】キユウ チョウ みやづかへする女。⑥女官。

【宮中】キユウ チユウ ごしよのりち。

【宮相】キユウ シヤウ 宮内大臣。

【宮城】キユウ ジヤウ 天皇陛下のおすまひあそばすところ。

【宮殿】キユウ デン みや。ごてん。

【宮人】キユウ ヒト 宮中につかへてゐる人。

【宮内省】キユウ シヤウ 宮中のおしごとをするやくしよ。

588 【宰】サイ

①つかさどる。②つかさ。

【宰相】サイ シヤウ 總理大臣。

589 【害】ガイ

【害毒】ガイ ドク 害になること。どく。

【害惡】ガイ アク わるいこと。

【害虫】チユウ 作物をいためるむし。

590 【宴】エン さかもり。

【宴席】エン セキ さかもりのせき。

【宴会】エン クワイ さかもり。

【宴遊】エン イウ さかもりをしてあそぶ。

591 【家】カ ケ

①いへ。②や。

【家人】ジン カ うちの人。

【家人】ケン ケ けらい。

【家内】ナイ カ ①いへのうち。②つま。

【家名】メイ カ 家のひやうば

【家老】ラウ カ 大名のけらいのうちいちばん上のもの。

【家門】モン カ 一家。一族。

【家法】ハフ カ 家のおきて。

【家憲】ケン カ 前におなじ。

【家訓】クン カ ①いへのいましめ。②いへのをしへ。

【家具】グ カ ①いへのだうぐ。

【家財】ザイ カ 前におなじ。

【家産】サン カ ①いへのざいさん。

【家族】ゾク カ うちのもの。

【家事】ジカ カ 家の内のすべてのこと。①ら。あるじ。

【家長】チャウ カ ①いへのかし。

【家風】フウ カ 家のならはし。

【家計】ケイ カ 家のくらしむき。

【家屋】ウチ カ いへ。

【家庭】テイ カ 家のうち。いへ。

【家資】シカ カ うちのざいさん。

【家畜】チカ カ 家にかふけもの。①たはつた學問。

【家學】ガク カ その家に代代つ

【家督】トク カ 家のあとめ。

【家運】ウン カ 家のくらしむき。

【家傳】デン カ ①その家だけにむかしからつたはつてあるもの。②こと。

【家の子】ノイ コ けらい。

592 【宸】シン

①天皇のことにいふこと。②おくふかい室。

【宸筆】シン ビツ 天皇のおかきなつたもの。①み。

【宸翰】シン カン 天皇のおてが

【宸襟】シン キン 天皇の御こ

593 【容】ヨウ

①いる。②いれる。③かたち。

【容色】ヨウ ショク かはかたち。きりやう。

【容貌】ヨウ バウ 前におなじ。

【容器】ヨウ キ ①いれもの。

【容易】ヨウ イ ①たやすい。

【容姿】ヨウ シウ すがた。なり。

【容赦】ヨウ シヤ ヨウ ヨウ ゆるす。①さ。

【容量】ヨウ リヤウ ヨウ ヨウ ①うけいれるか

【容儀】ヨウ ギ ヨウ ヨウ ①みなり。なりふ

【容積】ヨウ セキ ヨウ ヨウ ①かさ。

【容喙】ヨウ カイ ヨウ ヨウ ①くちばしをいれる。②さしでぐち。

【容態】ヨウ タイ ヨウ ヨウ ①病氣のもやう。

【容體】ヨウ タイ 前におなじ。

八 畫

594 【宿】シユク

①やど。②やどる。③ふる。④ひやし。

【宿世】シユク セ ①まへの世。

【宿老】シユク ラウ ①年をとつてものことになれたとしより。

【宿志】シユク シ ①まへからのこころざし。②「やど」。

【宿舎】シユク シヤ ①とまりいへ。

【宿料】シユク レウ ①やどちん。

【宿泊】シユク ハク ①とまる。

【宿命】シユク メイ ①まへの世からきまつてゐるうんめい。

【宿直】シユク チョク ①とまりばん。

【宿望】シユク バウ ①まへからの

【宿場】シユク バ ①むかしたびびとのやどつぎしたところ。

【宿願】シユク グワン ①まへからのねがひ。

【宿題】シユク ダイ ①まへから出し「ておく問題」。

【宿弊】シユク ヘイ ①まへからつづいてあるわるいこと。

595 【寂】セキ

①さびし。②しづか。

【寂寞】セキ バク ①ものさびしい。

【寂寥】セキ レウ ①さびしいこと。

【寂滅】セキ メツ ①死ぬこと。

596 【寄】キ

①よす。②よる。

【寄合】キ アヒ ①あつまり。

【寄手】キ テ ①せめてくる敵のぐんぜい。

【寄生】キ セイ ある生物が、ほかの生物にやどつてそのやしなひぶんを取つて生きてゐること。①「蟲」。

【寄生蟲】キ セイ チユウ 寄生する

【寄航】キ カウ ①ふねがみなとに立ちよること。

【寄港】キ カウ ①前におなじ。

【寄附】キ カウ ①金や品物を他にあたへること。

【寄宿】キ シユク ①とまる。

【寄食】キ ショク ①ゐさふらふ。

【寄進】キ シン ①神佛に金や品物を上げる

【寄留】キ リウ ①本籍(ほん)を出てほかの土地に住むこと。

【寄寓】キ グウ ①かりずまひ。

【寄贈】キ ソウ ①ものをおくりあたへる。

597 【密】ミツ

①ひそか。②こまか。③こまやか。④くつつく。

【密生】ミツ セイ すきまなくはえてゐる。

【密行】ミツ カウ ①こつそりゆく。

【密告】ミツ コク ①ないないでしらせ。②「ひ」。

【密使】ミツ シ ①ないないのつか

【密着】ミツ チヤク ①すきまなくびつたりとつく。

【密林】ミツ リン ①木のしげつてゐるはやし。

【密約】ミツ ヤク ①ないないのやくそく。

【密閉】ミツ ベイ ①すきまなくとぢ

【密談】ミツ ダン ①ないしよばなし。

【密接】ミツ セツ ①びつたりとくつ



九 畫

つく。すきまなくつく。

598 【富】 フウ

●とみ。さいさん。●とむ。

【富力】 フリョク さいさんのちから。さいさん。

【富有】 フイウ かねもち。「と。

【富源】 ゲン とみを生ずるも

【富貴】 フウ カねもちで身分がたかい。

【富豪】 ガウ おほがねもち。

【富岳】 ガク 富士山。「い。

【富强】 キヤウ とんでつよ

【富国强兵】 フコクキヤウヘイ 國を富まし兵を強くする。

599 【寒】 カン

●さむし。●こごゆ。●ひやす。●まづし。

【寒心】 シン ぞつとする。

【寒天】 テン ●ふゆのそら。さむぞら。●ところてんをさらしてつくるたべもの。

【寒地】 チン さむい土地。

【寒月】 ゲツ 冬の月。

【寒村】 ソン まづしい村。

【寒冷】 レイン さむくつめたい。

【寒暑】 ショ さまあつさ。

【寒帯】 タイ 赤道から南北各六十六度半より南北兩極までの間。「ひ。さむさ。

【寒威】 カン さむさのいきほ

【寒暖計】 カンダン さむさあつさをはかるきかい。

600 【寔】 ショク

まことに。

十一 畫

601 【察】 サツ

●あきらか。●みる。●おしはかる。

【察知】 チ サツ おしはかつて知る。

602 【寡】 クワ

●すくなし。●やもめ。

【寡人】 クワ 王侯が自分をへりくだつていふことば。(徳のすくない人といふ意味)

【寡兵】 ケイ すくない兵。

【寡言】 ゲン くちかすがすくない。「女。ごけ。

【寡婦】 クワ 夫をなくした

【寡聞】 ブン ちしきがせま

603 【寢】 シン

●いぬ。●ねる。●やむ。●ふしど。ねま。

【寢衣】 イン ねまき。「ん。

【寢具】 ゲン ねだうぐ。ふと

【寢室】 シツ ねるへや。ねどこ。ねま。

【寢臺】 ダイ ね

【寢返り】 ガヘ

●ねてゐてからだのむきをかへること。●やくそくをちがへること。●てきみかたをすること。うらぎり。

【寢に就く】 シン= ねる。

【寢首】 クビ ねてゐるところをきつた首。

【寢食を忘る】 シンショクヲワスル ねることなくふこともわす



れる。何もかもわすれて一心になる。

604 【實】 ジツ

●み。●みのる。●みつ。●みたす。●まこと。簡易字體は実。

【實力】 リョク かけひきなしのほんたうのちから。「ち。

【實父】 フ ほんたうのち

【實母】 ボ うちのはは。

【實子】 シ ユみの子。

【實行】 カウ じつさいにおこなふ。「たつ。

【實用】 ヨウ じつさいのやく

【實否】 ビ ほんたうからうそか。

【實家】 カ ジツ うまれた家。

【實況】 キヤウ じつさいのありさま。

【實直】 チョク まじめ。

【實習】 シツ じつちについてまなびならふ。「はれる。

【實現】 ゲン ほんたうにあら

【實施】 シツ じつさいにおこなふ。「業など。

【實業】 ゲフ 農業・工業・商

【實測】 ソク じつちにはかる。「けの費用。

【實費】 ビ じつさいにだ

【實戦】 セン じつさいの戦

【實學】 ガク じつさいのやく

【實質】 シツ じつさいのやく

【實験】 ケン じつさいにやつてみる。「なふ。

【實踐】 セン じつさいにおこ

【實踐躬行】 キユウカウ ほん

んたりにおこなふ。じつさいに自分でおこなふ。

605 【寧】 ネイ

●やすし。やすらか。●やすんず。●むしる。い

【寧日】 ネイ やすらかな日。

【寧靜】 ネイ やすらか。

十二 畫

606 【審】 シン

●つまびらか。●ただす。

【審議】 シン くはしくはなし

【審判】 ベン よしあし、かち

【審判員】 キン シンベン 審判する人。「役。

【審判官】 シンベン 審判する

【審問】 シン くはしくとひた

【審査】 シン くはしくとりし

【審理】 シン わけをよくしら

607 【寫】 シヤ

【寫本】 シヤ かきうつした書物。「とる。

【寫生】 シヤ そのままうつし

【寫實】 シヤ ありのままにうつしたること。「つすこと。

【寫真】 シヤ そのとほりに

608 【寬】 クワン

●ひろし。●ゆるし。●ゆるやか。●ゆたか。

【寬厚】 クワン 心がひろくて

【寛嚴】クワン ムルやかなことときびしいこと。

【寛大】クワン 心がひろく大きい。「なさけぶかい。」

【寛仁】クワン 心が大きくて人のいふことをよくききいれる。

【寛容】クワン 心がひろくて人のいふことをよくききいれる。

【寛恕】クワン 心がひろくておもひやりがある。

【寮】レウ

十三畫

【寰】クワン

【寶】ハウ

十七畫

【寶石】セキ 美しくてかざりになる石。

【寶玉】ギョク たからとするたま。

【寶祚】ソウ 天子の御くら。

【寶位】イ 前におなじ。

【寶物】モツ たからもの。

【寶典】テン たからとする書物。

【寶庫】コウ たからもののくら。●産物のたくさんでるところ。

【寶算】サン 天子の御とし。

【寶輦】レン 天子の御くるま。

【寶冠章】ハウクワン ながらあつた婦人にたまはる勳章。

【寶の持ちぐされ】ノモチレガサ やくにたつものを持つてゐてもそれをやくにたてずにおくこと。

寸部

【寸】スン

【寸志】シン わづかのこころざし。こころばかりのおくりもの。

【寸法】ハン ながさ。

【寸時】ジ ちよつとのひま。

【寸刻】コク 前におなじ。

【寸陰】イン 前におなじ。

【寸暇】カン すこしのひま。

【將卒】ソツ 將校と兵卒。

【將兵】ヘイ 將校と兵。

【將士】シヤウ 將校と兵士。

【將相】シヤウ 將軍と大臣。

【將來】シヤウ ゆくさき。

【將校】シヤウ 少尉以上の軍人。

【將軍】ゲン 征夷大將軍。●一軍のかしら。●總大將。●大將・中將・少將。

【將又】マタ あるひは。もしくは。または。

【專卒】セン 將校と兵卒。

【專兵】ヘイ 將校と兵。

【專士】シヤウ 將校と兵士。

【專相】シヤウ 將軍と大臣。

【專來】シヤウ ゆくさき。

【專校】シヤウ 少尉以上の軍人。

【專軍】ゲン 征夷大將軍。●一軍のかしら。●總大將。●大將・中將・少將。

【專又】マタ あるひは。もしくは。または。

【專念】セン 前におなじ。

【寸鐵】テン みじかいはもの。

【寸斷】ダン きれぎれにひきさく。すたすたにさく。

三畫

【寺】ジ

【寺院】ジ たら。

【寺子屋】テラ ムかし子供に讀方・書方・そろばんなどを教へたところ。

四畫

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

【對】ジ

615 【封】ホウ

●さかひ。土地のくきり。●大名の領地。●大名にとりたてる。(以上、音ホウ) ●とづ。(このときは音フウ)

【封入】フウ ふうじこむ。

【封印】フウ ふうじめにおす印。

【封書】フウ ふうじたてが

【封筒】フウ じやうぶくろ。

【封緘】フウ ふうじる。とぢる。

【封鎖】フウ 出入することのできないやうにふさぐ。

【封建】ケン 國國に大名をおいてをさめさせること。

【封土】ホウ 領地。

七畫

616 【射】シヤ

●いる。●うちて。

【射倅】シヤ まぐれあたり。

【射倅心】シヤカウ まぐれあたりをねらふこころ。

【射殺】シヤ いころす。

【射手】シヤ うちて。いて。

【射利】シヤ まうけることばかりかんがへる。

【射的】シヤ まとをいる。

【射擊】シヤ ねらひうつ。

八畫

617 【將】シヤウ

●かしら。兵をひきゐる人。●ひきゐる。●まさにな。●はた。それとも。●すすむ。

六畫

618 【專】セン

●その事だけにつかふ。●じぶんだけでつかふ。

【專用】セン ひとりでもつてゐる。

【專有】セン 「だけをする。」

【専門】セン そのことひとつ

【專攻】セン 一つの事をさめならふ。

【專修】セン それだけをさ

【專制】セン ●自分かつてに

【專賣】セン 一手に或品物を

【專務】セン そのしごとだけ

【專斷】セン 自分ひとりの

【專横】セン わがまま。

【專屬】セン そのものだけに

【尉】キ 官名。「大尉・中尉・少尉」

【尉官】キ クワン 大尉・中尉・少尉のこと。

九 畫

620 【尊】ソン

【尊大】ダイ ソン たかぶる。

【尊名】メン ソン たつとい名。相手の名をうやまつていふことば。

【尊父】ブン ソン 人の父をたつと

【尊敬】ケン ソン たつとびりやま

【尊皇】ワウ ソン 天皇をたつと

【尊容】ヨウ ソン ひとのかほかた

【尊長】チヤウ ソン めうへ。

【尊崇】ソウ ソン たつとびあ

【尊卑】ビン ソン たつといといや

【尊重】チヨウ ソン たつとんでた

【尊稱】ソウ ソン たつとんでよ

【尊顔】ガン ソン ひとのかほをう

【尊嚴】ゲン ソン たつとくおごそ

【尊體】ソン ソン 他人のからだを

【尋常】ジン ソン なみなみ。あ

【尋究】キン ソン たつねきはめ

【尋問】モン ソン たづねる。きく。

十一 畫

622 【對】タイ

【對立】ライ タイ むきあつて立

【對面】メン タイ かほをあはせ

【對岸】ガン タイ むかふぎし。

【對話】ワイ タイ むかひあつては

【對峙】ヂイ タイ むかひあつて立

【對坐】ザイ タイ むきあつてすわ

【對比】ヒ タイ くらべあはせ

【對等】トウ タイ まさりおとりの

【對面】メン タイ かほをあはせ

【對内】ナイ タイ 内部又は國內に

【對外】グワイ タイ 外部又は外國

【對句】クキ ツキ つるになつた

【對抗】カウ タイ むかひあつては

【對岸】ガン タイ むかふぎし。

【對話】ワイ タイ むかひあつては

【對峙】ヂイ タイ むかひあつて立

【對照】タイ セウ てらしあはせ

【對陣】チン タイ 敵とむかひあつ

【對角線】タイ カク セン むかひあ

十三 畫

623 【導】ダウ

【導體】ダイ ダウ 電氣や熱をつた

【導火線】ダウ クワ セン くち

小 部

624 【小】セウ

【小胆】セウ タウ きもだまがちひ

【小説】セウ セツ おもしろくつく

【小康】カウ セウ すこしをさまる

【小數】セウ スウ 一より小さい

【小品文】セウ ヒン チョウ ツト

【小波】ナミ セウ チひさくたつ

【小手をかざす】カザス セウ

【小人】ジン セウ ちひさい人。

【小心】シン セウ こまかいこと

【小生】セウ セイ わたくし。

【小成】セウ セイ わづかの成功。

【小兒】セウ ニ セウ こども。「と。

【小身】シン セウ 身分のひくいこ

625 【少】セウ

【少壯】セウ セウ としわかでげん

【少時】セウ ジ セウ わかい時。

【少量】セウ リヤウ すこじのか

【少數】セウ スウ すこじのかず。

【少愁】セウ セウ しばらくやす

626 【尖】セン

【尖兵】セン ペイ 軍隊の先に立つ

【少女】セウ ヨウ こむすめ。

【少女子】セウ ヨウ メゴ ムすめ。

【尖兵】セン ペイ 軍隊の先に立つ

【尖端】セン タン とがつたさき。  
【尖塔】セン タブ やねのとがつて  
ゐる塔。

627 〔尙〕シヤウ

①こひねがふ。②こひね  
がはくは。③くはふ。④  
たつとぶ。⑤ふるい。ひ  
さしい。⑥なほ。まだ。  
その上に。

【尙古】シヤウ ムカしのもの  
ごとをたつとぶ。

【尙早】シヤウ まだはやい。

【尙齒】シヤウ としよりをた  
つとぶ。

【尙武】シヤウ 武をたつと  
ぶ。

五 畫

628 〔尠〕セン

すくなし。  
【尠少】セン セウ すくない。すこ  
し。

尠部

一 畫

629 〔尢〕イウ

①もつとも。②とがむ。  
③とがめ。  
【尢物】イウ ブツ すぐれたもの。

九 畫

630 〔就〕シウ

①つく。②なる。できあ  
がる。③なす。しこげる。  
④ついて。

〔就床〕シウ シヤウ ところにつく。

【就眠】シウ ミン ねむる。

【就業】シウ ゲフ しごとにとりか  
かる。

【就學】シウ ガク はじめて學校に  
はいる。

【就縛】シウ バク なはめにかか  
る。ねる。

【就褥】シウ ジョク ねどこに入  
る。

【就職】シウ ショク しごとにより  
つく。「も」とりわけ。

【就中】シウ ナガン そのうちで

戸部

一 畫

631 〔尺〕セキ

①さし。ものさし。②一

寸の十倍。

【尺寸】セキ スン わづか。すこし  
ばかり。

【尺地】セキ チ すこしの土地。

【尺度】シヤク ド ものさし。  
①ながさ。

【尺餘】シヤク ヨ 一尺あまり。

二 畫

632 〔尻〕カウ

しり。

633 〔尼〕ニ

あま。女の僧。

【尼公】ニ コウ あまになつた身  
分のたかい人。

【尼僧】ニ ソウ 女の僧。あま。

【尼寺】ニ テラ あまのすむて  
ら。

四 畫

634 〔尾〕ビ

①を。しつぽ。②うしろ。  
③すゑ。をはり。

【尾行】ビ カウ 人のあとをつけ  
てゆく。

【尾花】ビ バナ すすきのほ。

【尾籠】ビ ロウ きたないこと。  
しつれいなこと。

【尾端】ビ タン をのはし。「き。  
【尾の上】ビ ヲノ 山のいただ

635 〔尿〕ネウ

ゆばり。小便。

636 〔局〕キョク

①つぼね。②へや。③し  
きり。

【局外】キョク グワイ そのことにか

かはりのないこと。

【局部】キョク ブ ある一部分。

【局所】キョク ショク 前におなじ。

【局面】キョク メン ことのなりゆ  
き。

五 畫

637 〔居〕キヨ

①をる。②ある。③すま  
ひ。ゐどころ。

【居室】キヨ シツ ゐるへや。ゐま。

【居住】キヨ ジュウ すむ。すまふ。

【居所】キヨ ショ ゐどころ。

【居處】キヨ ショ 前におなじ。

【居留】キヨ リウ 外國にとどまつ  
て住んでゐる。

【居士】ジ コ ①男の成名〔侍〕  
の下につけることば。②が  
くもんがあつて役につかな

い人。③さいさんがたくさ  
んあつて徳のたかい人。④  
自分の雅號〔號〕の下にそへ  
ることば。

【居常】キヨ ジヤウ つね。ひごろ。  
ふだん。

【居城】キヨ ジヤウ すんでゐるし  
ろ。

【居を移す】キヨ ヲツス ゐると  
ころをかへる。

638 〔屈〕カイ

①とどく。②とどけ。

【屈折】クツ セツ をれまがる。

【屈曲】クツ キョク まがりくね  
る。

【屈伸】クツ シン のびちぢみ。

【屈指】クツ シツ ゆびをり。名だ  
かい。

【屈服】クツ プク いきほひにおそ  
れて心ならずもしたがふ。

【屈從】クツ ジュウ 前におなじ。

【屈竟】クツ キョウ ①ひじやりに  
すぐれてゐる。②もつとも  
つよい。

【屈強】クツ キヤウ 心がねちけて  
つよい。

【屈辱】クツ ジョク はづかしめ。

【屈託】クツ タク そのことばかり  
を氣にかけてふさぐ。

【屈託氣】クツ タクゲ 屈託したや  
うす。

六 畫

640 〔屋〕ヲク

①や。②いへ。

【屋内】ヲク ナイ いへのうち。

【屋外】ヲク グワイ いへのそと。

【屋舍】シヤク いへ。すまひ。

【屋宇】ウツク 前におなじ。

【屋敷】シヤキ 家をたててある土地。

【屋號】ガウ みせの名。

641【屍】シ

●かばね。●しかばね。

七 畫

642【屑】セツ

●いなきよし。●くづ。

【屑鐵】テツ 鉄のくづ。

643【展】テン

●のぶ。●ひらく。

【展開】カイン ひらける。目さきがかはる。みる。みわたす。

【展望】バウテン ひろくのぞみ見

【展墓】テン はかまふり。

【展覽會】ケンラン いろいろなものならべて見せる會。

八 畫

644【屏】ヘイ

●かき。●しりぞく。

【屏居】ヘイ キョ ひきこもつてゐる。

【屏息】ヘイ いきをこらしてちぢこまる。

【屏風】ヒヤウ

へやの中にてまはして風をふせぐもの。



九 畫

645【屬】

屬(尸部十八畫)の簡易字體。つちを見よ。

十一 畫

646【屢】ル

しばしば。

十二 畫

647【層】ソウ

●かさなる。●かさなり。

【層雲】ソウ カसानつたくも。

648【履】リ

●くつ。●ふむ。●はく。

【履行】カウ じつさいにおこなふ。

【履歴】レキ その人の今までしてきたことから。

【履歴書】シヨレキ りれきをか

十八 畫

649【屬】シヨク

●つく。つきしたがふ。●たのむ。●下役人。簡易字體は屬。

【屬官】クワン したやくにん。

【屬僚】レウ 前におなじ。

【屬島】タウ その國についてゐるしま。

【屬國】コク ほかの國につきしたがつてゐる國。

尸部

一 畫

650【屯】トン

653【岡】カウ

をか。

654【岩】ガン

いは。

【岩石】ガン いは。

【岩片】ガン いはのかけら。

【岩に激す】ゲキス 水が岩にいきほひつよくつきあたる。

655【岬】カフ

みさき。陸地の海中につき出たところ。

656【岸】ガン

きし。●きしのさき。

657【岳】

●きしべ。

●たむろ。(たくさんの人のよりあつまる所。又へいたいのあつまつてもるところ。)●たむろす。

【屯所】シヨン へいたいのあつまつてゐるところ。

【屯田】デン へいたいがその土地をまもりながら農業をやつてゐること。

【屯營】ニン 軍隊のとどまつてゐるところ。

山部

651【山】サン

ヤマ。

【山水】サン 山や水のけしき。

【山羊】ヤ けもの名。

【山門】モン ●寺のまへの

門。●比叡山延暦寺(延暦寺)のこと。

【山路】ヤマ やまみち。

【山家】サン 山にちかい家。やまが。

【山脈】サン 山のつづいた

【山陰】サン 山の北。やまかげ。

【山徑】サン やまみち。「る。

【山積】サン たくさんつも

【山腹】サン 山のなかほど。

【山岳】サン やま。

【山嶽】サン 前におなじ。

【山陽】サン 山の南。

【山頂】サン 山のいただき。「ゐるもの。

【山賊】サン やまにかくれて

【山莊】サン 山にある別荘。

【山陵】サン 天皇・皇后などのおほか。みささぎ。

【山麓】サン 山のふもと。山のすそ。

【山茶花】サン 木の名。

【山時鳥】サン 山にすむほととぎす。

【山間僻地】サン 山の中のかたむなか。

【山紫水明】サン 山水のけしきのよいこと。

四 畫

652【岐】キ

●わかる。ふたまたにわかれる。●わかれみち。

【岐路】キ わかれみち。

五 畫

嶽(山部十四畫)の簡易字體。270を見よ。

六 畫

658 【峙】

たうげ。さかみちののぼりつめた最も高いところ。

七 畫

659 【峨】ガ

山のたかくけはしいさま。

660 【峰】ホウ

みね。

661 【島】タウ

【島國】タウ コク しまくに。

八 畫

664 【崇】シユウ ス

たかし。たふとし。あがむ。たつとぶ。

【崇拜】ハイ あがめたつとぶ。

【崇高】カウ けだかい。「ふ。

【崇敬】ケイ たつとびうやま

665 【崎】キ

けはし。さき。

666 【崩】ホウ

くづる。くづす。極うず。天子がおかくれになる。

【崩ず】ズ 天子がおかくれになる。「れ。

【崩御】ホウ ギョ 天子のおかく

【崩壞】ホウ くづれこはれる。

【崩潰】ホウ くづれつぶれる。

九 畫

667 【嵐】ラン

あらし。嵐氣。山の氣。山のあをあとしてむしうるほつた空氣。

十 畫

668 【嵯】サ

山のけはしいさま。

669 【嶺】レイ

みね。ね。

670 【嶽】ガク

たけ。高くて大きい山。簡易字體は岳。

《川部》

671 【川】セン

かは。【川止】カハ 大水などでわたしぶねのとまること。

【川柳】セン 五七五の三句の滑稽(ワザ)なふうによんだ發句(ハク)

三 畫

672 【州】シウ

しま。くに。

四 畫

673 【巡】ジュン

めぐる。まはりあるく。

【巡回】ジュン 次に同じ。

【巡廻】ジュン みまはる。

【巡覽】ジュン めぐりみる。

【巡幸】ジュン 天子が國國を御めぐりになること。

【巡查】ジュン おまはりさん。

【巡視】ジュン みてまはる。

【巡察】ジュン みまはつてしらべる。

【巡遊】ジュン 方方めぐつてあそぶ。

【巡禮】ジュン 方方をめぐつて寺や社へまゐること。

【巡洋艦】ジュン 軍艦の一種。速力が早い。本國からとほくはなれてはたらくのに適してゐる。

八 畫

674 【巢】サウ

【巢窟】サウ わるもののかくれすんでゐるところ。

工 部

675 【工】コウ

たくみ。てわざ。

【工女】コウ こらばではたらく女。○女工。

【工夫】コウ かんがへ。おもひつき。かんがへる。

【工夫】コウ にんぶ。

【工合】コウ あんばい。

【工兵】コウ はしをかけたたり道をつくつたりするへいた

【工匠】コウ だいく。さいくをするしよくにん。

【工事】コウ ふしん。

【工費】コウ 工事のかかり。

【工程】コウ しごとのはかどり。

【工場】コウ しごとば。ころば。

【工業】コウ たてものをたてたり、さいくをしたりするしごと。

【工藝】コウ さいくなどのわざ。

二 畫

676 【左】サ

ひだり。

【左右】サ みぎひだり。

【そば】サ わき。かたはら。そばにつかへてゐる人人。

【左官】サクワン かべをぬるしよくにん。

【左遷】サセン ●位をひくくして遠くへやられること。●位をおとされること。

【左翼】サヨク ●中央から見て左の方にある軍隊。●列の左の方。

【左右す】サイウ かつてにうごかす。かれこれする。

677 【巧】カウ

たくみ。じやうず。

【巧妙】カウメウ すぐれてたくみなこと。

【巧拙】カウセツ じやうずへた。

【巧言】カウゲン 口さきのうまいこと。

【巧言令色】カウゲン レイシヨク 口まへを上手に、かほいろをつくつて人の氣に入らうとすること。

678 【巨】キヨ

●おほいなり。●おほし。

【巨人】キヨジン ●からだの大きな人。●えらい人。

【巨大】キヨダイ ひじやうにおほきい。

【巨利】キヨリ たくさんのおほい。

【巨細】キヨサイ おほきいとこまかいこと。こまこま。ことこまか。

【巨萬】キヨマン ひじやうにたく

【巨刹】キヨサツ 大きい寺。

【巨額】キヨガク たくさんのお金。

【巨魁】キヨクワイ わるもののか

七 畫

679 【差】サ

●たがふ。ちがふ。●たがひ。ちがひ。●さす。たがひ。

【差支】サシ ツカヘ さはり。さし

【差押】サシ オサヘ さいさんをおさはり。

【差合】サシ アヒ さしさはり。

【差止】サシ トメ おしとめること。

【差額】サガク ちがふたか。

【差別】サベツ シヤベツ わがち。ちがひ。くべつ。

【差異】サイ ちがひ。

【差遣】サケン さしつかはす。

【差配】サハイ ●もちぬしにかはつて貸地や貸家のことを取りしめること。●その人の

己 部

680 【己】キ

●おのれ。●つちのと。(十千の第六)

681 【已】イ

●すでに。●やむ。

巾 部

682 【巾】キン

●ふきん。●てぬぐひ。●おりもの。きれ。●はば。

【巾着】キン チヤク ぜにいれ。

683 【市】シ

●いち。●まち。

【市内】シナイ まちなか。

【市中】シチユウ まちなか。

【市井】シセイ まち。

【市民】シミン 市の内にすんである人民。

【市長】シシヤウ 市のかしら。

【市立】シリツ 市の費用【市】でたてたもの。

【市況】シキヤウ ●まちのやうす。●あきなひのけいき。

【市街】シガイ まち。

【市價】シカ かりねだん。

【市場】シチヤウ あきなひするばしよ。いちば。

【市區】シク まちのくぎり。

【市區井然】シク セイゼン まちすぢのきちんととのつてあるさま。

684 【布】フ

●ぬの。●しく。

【布巾】フキン 食器などをふくぬの。

【布片】フヘン きれ。「舟」

【布帆】フハン ●ぬののほ。

【布告】フコク ひろくしらせる。ふれわたす。「と」。

【布帛】フハク もめんときぬ

【布設】フセツ しきまうける。

【布施】フセ ●僧に物をやること。●そのしたものでや金。

【布教】フケウ 宗教をひろめる。

三 畫

685 【帆】ハン

ほ。

【帆影】ハンエイ ほかげ。とほくに見えるほ。

【帆船】ハンセン 次と同じ。

【帆前船】ハンゼン 帆をかけて



四 畫

686 【希】キ

●まれ。●こひねがふ。●こひねがはくは。

【希世】キセイ 世にまれな。めづらしい。めつたにない。

【希代】キダイ 前におなじ。

【希有】キウ ケ まれにある。めづらしい。

【希求】キキウ ねがひもとめる。

【希望】キバウ のぞみ。ねがひ。

五 畫

687 【帑】ド

くら。かねぐら。

688 【帖】テフ

●かきもの。●習字の手本。●半紙二十枚。●美濃紙四十八枚。●海苔【帖】十枚。

六 畫

689 【帝】テイ

みかど。天子。

【帝王】テイワウ 天子。

【帝冠】テイクワン 帝王のかんむ

り。一ゝ。

【帝位】テイ 天子のみくら

【帝室】テイ 天子の御家。

【帝都】テイ 天子のおすまひ  
になるみやこ。

【帝國】テイ みかどのおをさ  
めになるくに。

【帝國議會】テイコク 衆議  
院と貴族院。

690 【帥】スキ  
①ひきある。②大將。③そ  
つ。太宰府〔ジフ〕の長官。

691 【師】シ  
①いくさ。軍隊。②しし  
やう。先生。③てほん  
とする。

692 【師事】ジシ 先生としてつかへ  
る。一恩。

693 【師恩】シオン 先生からうけた  
恩。

694 【師匠】シヤウ 先生。

695 【師弟】シテイ 先生と生徒。

696 【師表】シヘウ てほん。

697 【師範】シハン ①人のてほんに  
なる人。②先生。

698 【師範學校】シハン 國民  
學校の先生をつくる學校。

699 【師團】シダン 陸軍のくみたて  
上の名。

700 【師團司令部】シダン 師  
團のめいれいをだすとこ  
ろ。

701 【席順】ジキ すわるじゆん

702 【席】セキ  
①すわりばしよ。②むし  
ろ。③しく。

703 【席次】ジキ 前におなじ。

704 【席上】ジキヤウ ①會がひらか  
れてゐるばしよ。②その場。

705 【席末】セキマツ 席のすゑ。

706 【席卷】セキケン むしろをまくや  
うに、かたはしからとりを  
さめる。

707 【帰】キ  
歸〔止部十四畫〕の簡易字  
體。一にをを見よ。

708 【帳】チャウ  
①とばり。たれぎぬ。②  
ちやうめん。

709 【帳面】チャウメン 紙をつづり合  
はせて、ものを書きしるし  
ておくもの。

710 【帳簿】チャウボ 前におなじ。

711 【帳場】チャウヤウ ちやうめんを  
つけたり勘定〔サ〕をした  
りするところ。

712 【帯】タイ  
①おび。②おぶ。

713 【帶刀】タイタウ 刀をこしにさ  
す。

714 【帶同】タイドウ いっしよにつれ  
す。

715 【常】ジャウ  
つね。

716 【常人】ジャン あたりまへの  
人。なみの人。

717 【常住】ジャンヂウ つねふだん。  
いつも。

718 【常習】ジャンシヤウ いつものく  
せ。つねのならばし。

719 【常食】ジャンシヨク ふだんのため  
のもの。

720 【常溫】ジャンワン ふだんの温  
度。常にきまつてゐる温度。

721 【常設】ジャンセツ つねにまうけ  
てある。

722 【常置】ジャンチ 前におなじ。

723 【常備】ジャンビ つねにそなへ  
ておく。

724 【常套】ジャンタウ ありふれた。

725 【常軌】ジャンキ きまりきつた  
すぢみち。つねのみち。

726 【常態】ジャンタイ つねのありさ  
ま。いつものすがた。

727 【常識】ジャンシキ なみの人が、  
だれでも知つてゐるやうな  
こと。

728 【常春】ジャンチュン 年中いつも春で  
あること。

729 【常夏】ジャンナツ ①いつも夏であ  
ること。②野に生えてゐる  
なでしこ。

730 【常磐】ジャンヘイ いつまでもかは  
らぬこと。

731 【常磐木】トキハ 一年中青い  
葉のついでゐる木。

732 【常備兵】ジャンビエイ 常にそなへ  
てある兵。

733 【常緑樹】ジャンリョクジュ 一年中  
葉の青い木。

九 畫

734 【帽】ハウ  
かぶりもの。

735 【帽子】ハチ 頭にかぶるも  
の。

736 【帽章】ハチヤウ 帽子につける

737 【幅】フク  
①はば。②「かけもの」を  
かぞへることば。

738 【幅員】フクケン ひろさ。はば。

739 【幕】マク  
まく。

740 【幕下】マクカ ①將軍のひざも  
と。②將軍のけらい。③將軍  
をうやまつていふことば。

741 【幕末】マクマツ 徳川幕府のすゑ  
ごろ。

742 【幕臣】マクシン 將軍のけらい。

743 【幕府】マクフ 將軍が政治をと  
りあつかふところ。

744 【幕僚】マクレン ①はかりごとの  
さうだんにあづかる將校。  
②さうだんにあづか  
る人。

745 【十二 畫

746 【幣】ヘイ  
はた。のぼり。

747 【干】カン  
ぬさ。神にささげるき  
ぬ。①つかひもの。②せ  
に。

748 【幣帛】ヘイハク 神にささげるそ  
なへもの。

749 【幣物】ヘイモノ おくりもの。

750 【幣制】ヘイセイ お金についての  
きまり。

751 【干戈】カンカウ ①たてとほこ。  
②いくさのこと。

752 【干涉】カンセフ 口だしする。手  
だしする。かかりあふ。

753 【干城】カンシヤウ ①たてとし  
ろ。國のまもり。②軍人。



武士。

【干満】カン マン しほのみちひ。しほのさしひき。

【干魃】カン バツ ひでり。

【干瓢】カン ベウ 夕顔〔干瓢〕の實のやはらかなところを長くほそくきり、それをほしたものの。

【干潮】カン テウ ひきしほ。

二 畫

703 【平】ヘイ ビヤウ

●たひらか。●たひら。●たひらく。●四ひら。

【平凡】ヘイ ボン なみなみ。あたりまへ。

【平日】ヘイ ジツ ふだんの日。

【平生】ヘイ セイ ふだん。

【平時】ヘイ ジ ふだん。

【平常】ヘイ ジャウ ふだん。いつも。

【平面】ヘイ メン たひらな表面。

【平地】ヘイ チ たひらな土地。

【平野】ヘイ ヤ たひらなのはら。

【平伏】ヘイ フク あたまを地につけてをかむ。ひれふす。

【平和】ヘイ ワイ おだやか。

【平和條約】ヘイ ワイ デウヤク いくさをした國が、たがひにくさをやめてなかくすするためにむすぶやくそく。

【平原】ヘイ ゲン たひらかでひろい土地。

【平年】ヘイ ネン 三百六十五日で一年になる年。

【平服】ヘイ フク ふだんぎ。

【平坦】ヘイ タン たひらか。

【平定】ヘイ テイ たひらげる。

【平均】ヘイ キン ならす。

【平易】ヘイ イ たやすい。

【平然】ヘイゼン へいき。

【平温】ヘイワン いつもの温度。

【平等】ヘイテイ さべつがない。わけへだてがない。

【平癒】ヘイイ 病氣がなほる。

【平穩】ヘイワン おだやか。

704 【年】ネン

【年中】ネンチュウ ●一年のあひだ。●いつも。

【年俸】ネンボウ 一年の給料。

【年所】ネンショ としつき。年數。

【年代】ネンダイ 時代。

【年末】ネンマツ としのくれ。

【年少】ネンセウ としわか。

【年功】ネンコウ ●ながくつとめてゐたてがら。●なが年のなれ。

【年來】ネンライ としごころ。數年このかた。

【年年】ネンネン まいねん。

【年頭】ネントウ としのはじめ。

【年長】ネンチャウ としうへ。

【年忌】ネンキ 人の死んだ後、毎年めぐつてくるその人の死んだ日。

【年貢】ネンゴン 小作人〔コサク〕が地主〔シヤ〕にをさめる米。

【年賀】ネンガ としのはじめのおいはひ。

【年限】ネンゲン きめられた年數。

【年號】ネンガウ 年につけるなまへ。明治・大正・昭和など。

【年配】ネンバイ としのころ。

【年輩】ネンバイ 前におなじ。

【年輪】ネンリン 木のみきに一年に一つづつできるもくめ。

【年齢】ネンレイ とし。よはひ。

【年越】ネンコシ ふるい年をおくつて新年をむかへること。

【年齒】ネンシ とし。よはひ。

【年始】ネンシ としのはじめ。

【年始狀】ネンシジャウ 新年のいはひのてがみ。

【年の市】ネンイチ としのくれに新年用のものを賣る市。

五 畫

705 【幸】カウ

●さいはひ。●まち。●あはせ。●みゆき。天子のおでまし。

【幸便】カウビン よいついで。

【幸福】カウフク さいはひ。しあはせ。

【幸甚】カウジン このうへもない。

【幸運】カウウン よいしあはせ。

【幸運兒】カウウンジ しあはせもの。

十 畫

706 【幹】カン

●みき。●もと。●はたらし。

【幹事】カンジ せわやく。

【幹部】カンブ 木のみきの部分。●おもだつた人人。

【幹線】カンセン 鐵道のおほもとの線路。○本線。

幺 部

一 畫

707 【幻】ゲン

まぼろし。

【幻惑】ゲンワク 人の目をくらまし、人の心をまよはせる。

【幻想】ゲンサウ とりとめもないかんがへ。○空想。

【幻影】ゲンエイ まぼろしに見えるすがた。

二 畫

708 【幼】エウ

●いとけなし。●をさな

【幼少】エウセウ をさない。としがいかない。

【幼兒】エウジウ きさな。

【幼童】エウドウ をさな。

六 畫

709 【幽】イウ

●かすか。●くらし。●とらへる。とちこめる。

【幽囚】イウシウ とらへておしこめておく。

【幼年】エウネン をさないとし。ちひさいとしごころ。

【幼主】エウシユ をさない主君。わかい主人。

【幼時】エウジウ をさないとき。

【幼弱】エウジヤク としわかしくてよわい。

【幼稚】エウチウ いとけない。をさない。

【幼心】エウシン こどもごころ。

【幼馴染】エウナジミ をさないこころしたしかつたこと。

【幽玄】イウ しづかでおくふかい。

【幽明】メイ あの世界とこの世。

【幽閉】イウ おしこめる。

【幽雅】イウ おくゆかしいこと。みやびやか。

【幽邃】イウ おくぶかくてしづかなこと。

【幽霊】レイ 死んだ人のたましひ。おぼけ。

【幽鬱】イウ 気がふさぐ。

九 畫

710 【幾】ネ

●ねがふ。●こひねがふ。●いく。いくばく。●ほとんど。

【幾多】イウ たくさん。

【幾重】イウ かさねがさね。ひとへに。

【幾何】イウ どれほど。どれだけ。

【幾何もなく】イウ いくらもたないで。

【幾許】イウ どれほど。どれだけ。

【幾久しく】イウ ずっとまでも。

尸部

四 畫

711 【庇】ヒ

●かばふ。●ひさし。【庇護】ヒ かばふ。たすける。

712 【床】シヤウ

●とこ。●ゆか。

713 【序】ジョ

●はしがき。書物のはじめにそへる文章。●ついで。

【序文】ジョ 書物のはしがき。「じよ」。

【序次】ジョ ついで。じゆん

【序幕】ジョ ●しほるのはじめのまく。●物事のはじまり。「らぶ」。

【序列】ジョ じゆんじよになり。

【序説】ジョ はじめにのべるかんがへ。

【序論】ジョ 前におなじ。

五 畫

714 【底】テイ

●そこ。●とどまる。●いたる。

【底止】テイ ゆきとどまる。

【底冷】ビコ からだのしんまでひえること。「ろさ」。

【底面積】テイ そのひ

715 【店】テン

●みせ。●たな。

【店頭】テン みせさき。

【店主】テン みせのあるじ。

【店員】ケン みせにつかはれてゐる人。

【店舗】テン みせ。

【店卸】オロシ みせのしなものを、のこらず出してしるべること。

716 【府】フ

●くら。●やくしよ。●みやこ。

【府下】フ その府の中。

【府庫】フ くら。

【府應】フ 府のしごとをするやくしよ。

六 畫

717 【度】タク

●のり。●きそく。●さし。●ものさし。●たび。回数。●はかる。(このときは音タク)

【度合】アヒ ころあひ。ほどあひ。

【度量】リヤウ ●ものさしとます。●ながさと大きさ。●心がゆつたりしてひろいこと。「ひ」。

【度胸】キョウ きもだまし

【度外】グワイ かんぢやうに入れない。

【度外視】シグワイ のけもの

七 畫

718 【座】ザ

●すわるところ。●しきもの。「くら」ともよむ。

【座上】ジャウ その座。そのせき。「ら」。

【座右】イウ 手もと。かたは

【座席】セキ すわりばしよ。

【座頭】トウ めくら。「なし」。

【座談】ザン すわつてするは

【座敷】シキ ●客をとほすへや。●居間「し」。

【座興】ザウ そのばのなぐさみ。

【座を正す】ザタス ただし

719 【庫】ク

くら。

【庫裏】リク 寺のだいどころ。

720 【庭】テイ

には。

【庭前】ゼン にはさき。「は」。

【庭上】ジャウ にはさき。に

【庭球】キウ テニス。

【庭園】エン には。その。

【庭樹】ジュ にはにうゑてある木。にはき。

八 畫

721 【庵】アン

●いほり。●いほ。(小さいそまつなわらや)

【庵主】アン いほりのあるじ。

【庵室】アン いほり。

722 【庶】シヨ

●もろもろ。●ちかし。●こひねがふ。●めかけばら。●たみ。

【庶人】シヨ くらもやくもない人。ふつうの人人。

【庶子】シヨ めかけの子。

【庶民】シヨ もろもろのたみ。人民「シ」。

【庶政】セイ すべてのまつりごと。

【庶務】シヨ いろいろのしごと。

【庶幾】シヨ こひねがふ。

723 【康】 カウ

●やすし。●やすんず。

724 【庸】 ヨウ

●もちひる。●つね。●やとひ。

【庸人】 ヨウジン なみなみの人。

【庸君】 ヨウキン つねなみの君。おろかな君。

【庸醫】 ヨウイ つまらぬいしや。やぶいしや。

九 畫

725 【廢】

廢(尸部十二畫)の簡易字體。731を見よ。

十 畫

726 【廉】 レン

●いさぎよし。●かど。●やすし。價がやすい。

【廉直】 レンチョク 心がただしくてまがつたことがない。

【廉士】 レンシ 心がただしくりつばな人。

【廉恥】 レンチ 恥を知る。

【廉價】 レンカ やすいねだん。

【廉賣】 レンバイ やすうり。

【廉潔】 レンケツ 心が正しくきよらかである。

727 【廊】 ラウ

わたどの。らうか。

【廊下】 ラウカ 室と室との間をゆきすぎる細長いところ。

十一 畫

728 【廓】 クワク

●おほいなり。●むなし。●ひらく。●くるわ。

【廓大】 クワクダイ 大きくひろげる。ひきのぼす。

【廓清】 クワクセイ はらひきよめる。きれいにする。

十二 畫

729 【廟】 ベウ

●たまや。先祖をまつつてあるところ。●まつりごとをするところ。

【廟堂】 ベウダウ くにのまつりごとをとるところ。「ん。

【廟議】 ベウギ おかみのさうだ

730 【廠】 シヤウ

しごとは。

731 【廢】 ハイ

●すたる。●やむ。

【廢止】 ハイ やめる。

【廢立】 ハイ 今の君主をやめさせて、別の人を君主にたてる。

【廢合】 ハイ 今まであつたものをやめて、ほかのものとあはせる。

【廢址】 ハイ 城・家・町などのすたれたあと。

【廢墟】 ハイ 前におなじ。

【廢物】 ハイ すたりもの。やくにたたぬもの。

【廢疾】 ハイ かたはの病氣。

【廢朝】 ハイ 皇室の御不幸またはそのほかの事のために天皇が政務をおやすみになること。「しまふ。

【廢棄】 ハイ すてる。やめて

【廢滅】 ハイ すたれてなくなる。

【廢類】 ハイ すたれおとろへる。

732 【廣】 クワウ

ひろし。

【廣大】 クワウダイ ひろくて大きい。「いと。

【廣狹】 クワウケフ ひろいとせま

【廣告】 クワウコク おほぜいの人につげしらせる。「をいふ。

【廣言】 クワウゲン おほきなこと

【廣漠】 クワウバク ひろびろと大きい。かぎりなくひろい。

【廣袤】 クワウボウ はばとながさ。ひろさ。

【廣濶】 クワウクワツ ひろい。

二十二 畫

733 【廳】 チヤウ

やくしよ。

【廳舍】 シヤウチヤウ やくしよのたもの。

五 部

四 畫

734 【延】 エン

●ひく。●のぶ。●のばす。

【延引】 エンイン ながびく。おくれる。「す。●ながさ。

【延長】 エンチヤウ ●ひきのば

【延期】 エンキ きまつた日どりをのばす。ひのべ。

【延着】 エンチヤク きまつた時よりおくれで着く。「がる。

【延焼】 エンセウ 火事をもえひろ

735 【廷】 テイ

●まつりごとをとるところ。●さいばんをするところ。

【廷臣】 テイシ 朝廷につかへてあるけらい。「ん。

【廷議】 テイギ 朝廷のさうだ

六 畫

736 【建】 ケン

たつ。

【建立】 コンリフ 寺などをたてる。

【建白】 バクケン 政府などに自分のかんがへを申しあげる。

【建具】 タテグテ 戸やしやうじなどのこと。「る。

【建設】 ケンセツ こしらへつく

【建國】 ケンコク ●國の本をたてる。●國をはじめめる。

【建碑】 ビケン せきひをたて

「ること。

【建築】 ケンチク たてものをたてる。

【建議】 ケンケン 自分のかんがへを申したてる。

【建造物】 ケンゾウ たてもの。家や倉など。

【建坪】 タテツボ たてものたつてある土地の坪數(タテ)。

737 【廻】 クワイ

回(口部三畫)に同じ。

【廻航】 カウカイ 船があちらこちらをまはること。

【廻船】 クワイセン 船で、人や品物をはこぶこと。

【廻漕】 クワイソウ 前におなじ。

【廻轉】 クワイテン ぐるぐるまはる。

738 【廻】 ナイ

●すなはち。●そこで。その。●の。

卅部

二畫

739 弁

辨(辛部九畫)の簡易字體。(辛部十四畫)の簡易字體。

四畫

740 弄

もてあそぶ。

七畫

741 弊

●さかんなり。●おほきい。●壯におなじ。

十二畫

742 弊

●やぶる。●つかる。●自分のものをへりくだつていふことば。

【弊害】ヘイ わるいこと。ためにならぬこと。「と。」

【弊政】ヘイ わるいまつりご

【弊風】フウ わるいならば

【弊習】シフ 前におなじ。

【弊店】テン わたくしの店。(へりくだつてもいふことば)

【弊堂】ドウ まへにおなじ。

【弊社】シャ わたくしのくわいしや。(へりくだつていふことば)

【弊履】リヘイ やぶれたはきも

弔部

三畫

743 弔

●のり。かた。てほん。●のつとる。かたとしてしたがふ。

【弔日】ジツ 式のある日。

【弔場】シキ ぎしきをするばしよ。「ことば。」

【弔辭】ジキ 式のときのべる

744 弔

弔(貝部五畫)の簡易字體。弔を見よ。

弓部

745 弓

キユウ

ゆみ。

【弓手】ユン 弓をもつ方の手。ひだり手。馬手(むのはんたい)。

【弓矢】キユウ ぶみや。

【弓馬】キユウ ぶみとりま。●武道。武藝。

【弓箭】ケン ぶみや。

【弓弦】ケン ぶみのつる。ゆみづる。ゆづる。

【弓張月】ユミハリ 弓のつるをはつたやうな形の月。

【弓矢取る身】ユミヤ いくさをする人。武士。

一畫

746 弔

●とむらふ。●とむらひ。【弔問】モン 死んだ人の家を

たづねてくやみをいふ。

【弔詞】シウ 人の死をとむらふことば。くやみのことば。

【弔文】ブン まへにおなじ。

【弔辭】ジウ まへにおなじ。

【弔客】カク とむらひにくる人。

【弔電】デン くやみの電報。

【弔旗】キウ くやみの心をあらはすためにかかげる旗。

【弔慰】キウ 死者をとむらひ、のこつてゐる人をなぐさめる。

【弔合戦】ガツセン かたきうちをいひくさ。

747 引

●ひき。●ひく。

【引力】リョク ひきつける力。

【引用】イン ほかの文句(イン)を引いて説明(イン)に用ひること。

【引導】ダウ 僧が死んだ人のたましひをいどにみちびくこと。

【引退】タイン ひきしりぞく。役をやめる。

【引見】ケン 目下の者をよびよせてあふ。

【引致】チン ひきたててつれてゆく。

【引率】ソツ ひきめる。ひきつれる。「人。」

【引取人】ニン ヒキトリ うけとる

【引具す】ヒキ つれてゆく。ひきつれる。

【引込思案】ジアン ヒキコミ 勇氣のないかんがへ。

二畫

748 弘

●ひろし。●ひろむ。

【弘布】フ コウ ひろめる。

【弘毅】キ コウ 心がひろく志がかたい。

【弘通】ツウ 佛のをしへを世にひろめること。

四畫

749 弟

●おとうと。●おとと。

【弟子】シ テイ ●をしへられる人。てし。○門人。●年のわかいいもの。少年。

【弟妹】メイ テイ おとうとといもらうと。

五畫

750 弦

ゲン

つる。弓のつる。

【弦月】ゲン ユミはりつき。

【弦歌】カン ことをひいてうたふこと。

751 弥

彌(弓部十四畫)の簡易字體。759を見よ。

752 弧

ゆみ。【弧狀】コウ ユミがた。ゆみなり。

【弧燈】コウ アーク燈。

七畫

753 弱

●よわし。●わかし。

【弱卒】ジャク よわいへいたい。

【弱小】 ジヤク セウク よわくてちひさい。

【弱年】 ジヤク ネン としわか。

【弱冠】 ジヤク クワン 男の二十歳をいふ。

【弱點】 ジヤク テン よわみ。

【弱肉強食】 ジヤクニク キヤウシヨク

●よわいものの肉がつよいものの食物となる。●強い國が弱い國をとる。

八 畫

754 【張】 チヤウ

【張本】 チヤウ ホン 悪いことをはじめた者。

九 畫

755 【強】 キヤウ ガウ

●つよし。●つとむ。●しふ。●しひて。

【強大】 ダイ キヤウ つよくて大きい。

【強力】 リキ キヤウ ちからがつよい。

【強行】 カウ キヤウ むりにおこなう。

【強壯】 サウ キヤウ たつしやでつよい。

【強弱】 ジヤク キヤウ つよいよわい。

【強請】 セイ キヤウ むりにねがふ。

【強烈】 レツ キヤウ つよくはげし。

【強制】 セイ キヤウ むりにおしつける。

【強固】 コウ キヤウ つよくてかた。

【強迫】 ハク キヤウ おどかす。

【強訴】 ソウ ガウ おほぜいでむりにうったへる。

【強硬】 カウ キヤウ 手づよい。

【強盜】 タウ ガウ おしこみ。

【強慾】 ヨク ガウ 大そうよくがふかい。

【強健】 ケン キヤウ たつしや。ち。

【強暴】 パウ キヤウ つよくてあら。

【強靱】 ジン キヤウ つよい。

【強奪】 ダツ ガウ むりにとる。

【強襲】 シフ キヤウ むりに敵にせめこむ。

756 【弼】 ヒツ

●たすく。●たすけ。

十二 畫

757 【彈】 ダン

●はじく。●ひく。ならす。●ただす。

【彈力】 リョク ダン はねかへす力。

【彈奏】 ソウ ダン ビヤノ・オルガ。

【彈効】 ガイ ダン わるいおこなひをあげてせめること。

【彈道】 タウ ダン たまのとはる道。

【彈藥】 ヤク ダン 彈丸【ダツ】と火。

【彈片】 ペン ダン たまのかけら。

【彈痕】 コン ダン たまのあたつたあと。

【彈丸】 ダン グワン たま。

【彈丸雨飛】 ウビ ダン グワン たまが雨のやうにとんでくる。

【彈丸黒子の地】 シノ ダン グワン てつばうだまやほくらほどのごくせまくちひさい土地。

十三 畫

758 【疆】 キヤウ ガウ

強(弓部九畫)に同じ。

十四 畫

759 【彌】 ミ ビ

●いよよ。●わたる。●あ。

【彌生】 ヤ ヨヒ 陰曆【ミ】三月。

【彌陀】 タ ミ ほとけの名。○阿彌陀如来【ミ】。

【彌縫】 ホウ 一時しのぎにとりつくる。

三 部

四 畫

760 【形】 ケイ キヤウ

●かたち。●かた。●あらはす。●あらはる。

【形式】 シキ ケイ 一定のきまり。

【形成】 ケイ ケイ かたちづくる。

【形跡】 セキ ケイ あとかた。

【形容】 ヨウ ケイ ●かたち。すがた。●たとへていふこと。

【形状】 ジヤウ ケイ かたち。

【形勝】 シヨウ ケイ ●地形のすぐれたところ。●けしきのよいところ。

【形勢】 セイ ケイ ありさま。なりゆき。

【形態】 タイ ケイ かたち。かつか。

六 畫

761 【彦】 ゲン

ひこ。をとこ。

八 畫

762 【彩】 サイ

●いろどり。●いろどる。●いろ。つや。

【彩色】 シキ サイ いろどり。

【彩雲】 ウン サイ 美しいくも。

763 【彫】 テウ

●ほる。●ある。きざむ。

【彫刻】 コク テウ ほりもの。

【彫琢】 タク テウ ●ほりみがく。●いろいろと手をつくしてみがきかざる。

【彫像】 ザウ テウ ほつた像。

十一 畫

764 【彰】 シヤウ

●あきらか。●あらはす。

●あらはる。

【彰表】 シヤウ ヘウ 世にあらはす。○表彰

【彰徳】 トク シヤウ その人のよい心がけやよいおこなひをひろく知れわたらせる。

十二 畫

765 【影】 エイ

かげ。

【影響】 エイ キヤウ さしひびき。

【影繪】 エ カゲ ゆびのかけで物のかたちをあらはしたも。

イ 部

四 畫

766 【役】 エキ ヤク

【一つとめ】一つかはれる。  
【つかふ】④いくさ。

【役人】ヤク やくしよにつとめる人。

【役所】ヤク 役人がしごとをするところ。

【役者】ヤク しばみをする人。○俳優。

【役員】ヤク 會社などでしごとをするもの。

【役場】ヤク ①村や町のしごとをあつかふ所。②公證人〔ゴシヨ〕・執達吏〔シツダツリ〕などがしごとをするところ。

五 畫

767 【彼】ヒ  
①か。②かれ。あれ。③かの。あの。

【彼方】カナ あちら。

【彼此】シヒ あれとこれ。かれ

これ。

【彼我】ガ かれとわれ。むかふところ。

【彼岸】ガン ①むかふぎし。めざすところ。②春分〔ハルノヒ〕・秋分〔アキノヒ〕の日を中日〔チノヒ〕とし、その前後各三日を合はせて七日間。

【彼處】カシ あそこ。

768 【往】ワウ

①ゆく。②いぬ。③去る。

【往生】ジャウ 死ぬこと。

【往來】ライ ①ゆきき。②みち。道路。

【往昔】ワウ むかし。

【往古】ワウ むかし。

【往時】ワウ むかし。「と。」

【往事】ジワウ すぎさつたこと。

【往往】ワウ 往りを往り。とき

どき。

【往診】シウ いしやが病人のうちへいつて病氣をしんさつすること。

【往復】ワフク ①ゆきかへり。②がみのやりとり。

769 【征】セイ

①うつ。罪ある者をせめる。②ゆく。向かひすむ。③税をとりたてる。

【征夷】セイ えびすをうつ。したがはぬものをうつ。

【征夷大將軍】セイイダイ 國國の武士をすべ、まつりごとをつかさどつた武士のかしら。明治の前まで徳川氏がつとめた。

【征衣】セイ ①たびごろも。②いくさの時にきるきもの。

【征衣上途】セイイ いく

さにきるきものをきて、い

【征伐】セイ 兵をやつてつみあるものをうつ。「るみち。

【征途】セイ いくさにでかけ

【征討】セイ せめうつ。「る。

【征服】セイ うちたひらげ

【征戰】セイ いくさ。たたか

【征馬】セイ ①たびする時にのるうま。②たたかひの時

六 畫

770 【待】タイ

①まつ。②もてなす。あ

【待命】タイ めいれいのかだ

【待遇】タイ もてなし。とり

【待合室】マチアヒ 人やきし

【待ちわぶ】マチ まちどほ

【待ち構へる】カマヘル い

771 【律】リツ

①調子〔テウシ〕。②のり。お

【律令】リツレイ おきて。きそく。

【律動】リツ ①きそく。②きそく

【律義】リチ ①きそく。②きそく

772 【後】コウ

①のち。②あと。③うし

【後見人】コウケン 前の③に

【後方】コウ うしろの方。し

【後日】ゴツ のちの日。いつ

【後生】セイ あとから生まれ

【後生】ゴウ のちの上。死

【後世】セイ のちの上。すゑ

【後任】コウ 前の人にかはつ

【後事】コウ ①死んだあとの

【後事を託す】コウジツ あ

【後見】コウ うしろにゐて

【後見人】コウケン 前の③に

【後患】コウ あとのなん

【後悔】クワイ あとでくや

【後裔】エイ 血すぢを引いて

【後胤】イン まへにおなじ。

【後輩】ハイ あとからすむ

【後進】シン まへにおなじ。

【後難】ナン あとのなんぎ。

【後嗣】コウ あとつぎ。

【後援】コウ うしろからのた

【後顧】コウ あとのしんば

【後顧の憂ひ】コウコノ そ

【後繼】ケイ あとをひきうけ

七 畫

773 【徐】ジョ

①おもむろ。②しづか。

【徐行】ジョ しづかにゆく。

【徐徐】ジョ ゆつくり。しづ

774 【徑】ケイ

①こみち。②ほそみち。③

775 【徒】ト

【かち】歩行。①ともがら。なにか。②ただ。ただに。③いたづらに。

【徒手】シユ からて。すて。

【徒歩】ホ のりもののにらすにあるく。かちあるき。

【徒然】ツレヅレ たいくつ。

【徒弟】テイ ①でし。②こぞう。

【徒費】ヒト むだづかひ。

【徒勞】ラウ むだぼねをり。

【徒黨】タウ いつしよに事をするなにか。①でくらす。

【徒に坐食す】イダヅラニ ザシヨクス まへにおなじ。

776 【得】 トク

①う。②える。③まうけ。

【得度】ドク 僧になること。○出家。 「かた。

【得策】サク つがふのよいし

【得點】テンク とつたてんす

【得失】シツク よしあし。 「と。

【得手】テ エ いちばんうまいこ

【得意】トク ①おもひのままになる。②じまんする。③えて。④ひいきさき。

【得心】シツク がてんする。し

【得】シヨウ

【従者】シヤ オとも。

【従事】ジュウ その事をす

【従来】ジュウ これまで。

【従者】シヤ オとも。

【従卒】ジュウ オとも兵。

【従僕】ボク めしつかひ。

【従前】ジュウ まへから。

【従容】シヨウ おちついてさ

【従軍】ジュウ いくさにゆ

【従順】ジュウ すなほ。

【従屬】ジュウ つきしたが

【従業】ジュウ しごとをす

【従業員】ゲフケン しごとを

【従兄】ケイ 年上の男のい

【従弟】テイ 年下の男のい

【従姉】ジュウ 年上の女のい

【従妹】マイ 年下の女のい

【従兄弟】ケイテイ 男のいと

【従姉妹】シマイ 女のいと

778 【御】 ギョ

①おん。②お。③み。④馬をつかふ。⑤すべをさめる。

【御代】ヨ 天子の御をさめに

【御宇】ギョ まへにおなじ。

【御衣】イ ギョ 天子のおめしも

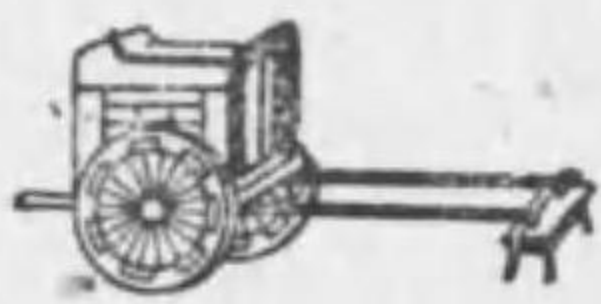
【御名】メイ ギョ 天子のみな。

【御前】ゼン ①おんまへ。②陛下の御まへ。③とのさま。④むかし、女の名の下につけたことば。

【御所】シヨ 天皇陛下のおいで

【御所車】ヨシ

ある牛車で身分(カ)のたかい人がのつたもの。



【御者】ギョ 馬をつかふもの。べつたらう。

【御苑】エン 御所のおには。

【御製】セイ 天子のおつくり

【御幸】カウ 上皇が外へおで

【御感】カン 天子のおよろこ

【御陵】リョウ 天皇・皇后な

【御璽】ギョ 天子の御印。

【御殿】テン 身分(カ)のたかい

い人のすまひをうやまつていふことば。

【御禊】ソギ 河や海でからだ

【御手洗】ラシ 神社のおには

【御用邸】テイ 皇室の御別

【御稜威】ツイ 天皇陛下のご

【御眞影】エイ ゴシン 陛下のおし

【御料林】リン ゴレウ 皇室かもつ

九 畫

779 【復】 フク

①かへる。もどる。②かへす。もどす。③まうす。申しあげる。④また。⑤ふたたび。

【復古】フク むかしにかへ

【復活】クワツ おとろへてみ

【復命】メイ かへつて来てへ

【復習】シフ おさらい。

【復興】コウ すだれたものを

【復職】シヨク もとのつとめ

【復歸】キ フク もとのところ

【復舊】キウ フク もとどほりにす

【復讐】シウ フク かたきうち。

780 【循】 ジュン

①したがふ。②めぐる。③かへしめぐる。④まじめなやく

【循吏】リ ジュン まじめなやく

十 畫

781 【微】 ミ

①かすか。ほのか。②ひそか。③ちひさい。④いやしい。

【微力】リョク すこしのちか

【微動】ドウ かすかにうご

【微小】セウ こくちひさい。

【微少】セウ ほんのわづか。

【微光】クワウ うすあかり。

【微行】カウ しのあるき。

【微功】コウ すこしのてが

【微雨】ウ ビ こさめ。こぶり。

【微妙】メウ おくはかくてす

【微笑】セウ ほほえむ。につこりわらふ。

【微恙】ヤウ ちよつとしたびやうき。

【微風】フウ よわくふくかぜ。そよかぜ。「と。」

【微温】ブン なまぬるいこたう。ぬるまゆ。

【微細】サイ こまかい。

【微意】イ わづかばかりのこころざし。

【微志】シ まへにおなじ。

【微衷】チユウ まへにおなじ。「つみ。」

【微弱】ジヤク よわい。

【微賤】セン いやしい身分。

【微塵】チン ①ごくこまかなちん。

【微醉】スイ すこし。もの。①すこし。

【微生物】ビセイ ①ごくちひさないきもの。

十二畫

【徵】チヨウ ①めす。②しるし。

【徵兵】チヨウ 兵を召したす。

【徵收】チヨウ とりたてる。

【徵集】シフ 召しあつめる。

【徵用】チヨウ 人をめしあつめてつかふこと。「し。」

【徵候】チヨウ しるし。きざりたてる。

【徵稅令書】レイシヨ ぜ

【徵發】チヨウ 戦争(戦)などの時、人夫(人)や、戦争に

【徵】チヨウ ①ただしいおこなひ。②めぐみ。

【德化】タク ただしいおこなひの力でをしへみちびく。

【徳用】トク つかつてとくなこと。わりのよいこと。

【徳行】タク 道にかなつた正しいおこなひ。

【徳性】トク 道にかなつたよいこと。

【徳器】トク ①うまれつきもつてゐるよいおこなひをなすはたらき。②よいおこなひとよいちを。

【徳義】トク 人としてしな

【徳望】トク おこなひがりつばなために、多くの人に信用されること。「ひ。」

【徳操】トク 正しいおこなひ。

【徳澤】トク めぐみ。

【徹】テツ ①とほる。②とほす。

【徹夜】テツ 夜どほし。

【徹宵】テツ まへにおなじ。

【徹底】テイ そこまでとほす。すつかりわかる。

【徹頭徹尾】テツトウ はじめからしまひまで。のこらず。

心(小)部

【心】シン

【心】シン ①こころ。②むね。③まんなか。

【心外】グワイ ①おもひのほか。②さんねん。「だ。」

【心身】シン こころとからだ。

【心事】シン こころのうちにおもふこと。「ふ。」

【心服】シン 心からしたがらき。①こころのやうす。

【心地】チ ココ きもち。きぶん。こころ。

【心算】サン こころづもり。むなさんよう。こころぐみ。

【心膽】タン こころ。おもひ。

【心血】ケツ こころ。まじこころ。心のちからのありたけ。

【心境】キヤウ 心もち。氣もち。

【心配】シン きがかり。「き。」

【心頭】シン こころ。むなさ。

【心魂】シン たましひ。

【心勞】シン 氣づらう。しんばい。

【心痛】シン きがかり。しん

【心術】シン こころだて。

【心機】シン 心のはたらき。心のうち。①こころ。

【心機一轉】シンキン 心もちががらりとかはること。

【心裡】シン こころのうち。

【心醉】シン 心のそこらよ

【心願】シン ①心の中のがひ。②神佛などに立てるぐわん。

【心臓】ザウ 動物の内臓の一つ。からだ中の血のめぐり

【心根】シン 心のうち。をつかさどる。

【心付】シン ①氣をつけること。②なぐさめるためにあたへる金やしたなもの。

【心構】シン こころぐみ。かくこ。

【心許なし】シン ①おぼつかない。きづかはしい。

【心置なし】シン ①きづかひがない。しんばいがない。

【心ゆくばかり】シン ①ココロユおもふぞんぶん。きのすむほど。

【必】ヒツ ①かならず。

【必定】ヒツ ①きつと。かな

【必死】ヒツ いのちがけ。

【必用】ヒツ 次に



【必滅】ヒツツ かならずほろびる。  
 【必竟】ヒツツ つまるところ。つまり。  
 【必需品】ヒツジユ ぜひともいるしな。

三 畫

787 【忌】キ  
 ①いむ。きらふ。②いみ。人の死んだ日。  
 【忌日】キジツ その人の死んだ日とおなじ日。○命日(命日)。  
 【忌中】キチュウ みうちの人が死んで、喪(さう)にこもつてゐるあひだ。  
 【忌明】イミ 喪(さう)の日數がすんでしまつたこと。  
 【忌憚】キタン いみはばかる。ゑんりよ。

【忌避】キキ きらつてさける。  
 【忌諱に觸る】キキニ 身分のたかい人などの機嫌(げん)をそこねること。

788 忍 ニン

①しのぶ。こらへる。思ひ出す。②しのび。身をかくすこと。まはしもの。【忍耐】ダイ たいへしのぶ。こらへる。  
 【忍辱】ニク はづかしめをこらへて少しも人をうらまぬ。  
 【忍術】ジユツ 身をかくすわざ。しのびのわざ。  
 【忍びやか】シノビ しのんでするさま。こつそり。  
 789 【志】シ  
 ①こころざし。②こころざす。

【志士】シ 國につくさうとするこころがけの人。  
 【志氣】シキ いきこみ。げんき。  
 【志望】シバウ のぞみ。  
 【志操】シサウ しつかりしてかはらぬ志。

790 志 志

【志操堅固】シサウ 志がしつかりしてかたいこと。  
 【志願】シガン のぞみ。ねがひ。  
 【志を達す】シヲタツス おもひをとほす。  
 790 【忘】マウ  
 わする。  
 【忘却】マウ わすれてしまふ。  
 【忘失】マウ まへにおなじ。  
 【忘年会】マウ その年の苦勞をわすれ、あたらしい元氣で新年をむかへるため

791 【忙】マウ  
 ①いそがし。②いそがはし。③せはし。  
 【忙殺】マウ たいへんいそがしい。

四 畫

792 【忝】テン  
 ①かたじけなし。もつたいない。ありがたい。②はづかしむ。  
 793 【忠】チュウ  
 ①君につかへてまごころをつくすこと。②まめやか。まこと。③ただ。④ただし。

【忠義】チュウギ まごころをつくして君につかへること。

【忠君】チュウ君 君に忠義をつくす。  
 【忠告】チュウコク その人のためを思つてまごころからいけんをする。「めたことば」。  
 【忠言】チュウゲン まごころをこ  
 【忠良】チュウリヤウ まごころがあつてすなほである。  
 【忠烈】チュウレツ ひじやうに忠義である。「しいこころ」。  
 【忠節】チュウセツ 君につくす正  
 【忠實】チュウジツ まめやか。  
 【忠誠】チュウセイ まごころ。  
 【忠孝】チュウカウ 忠義と孝行。  
 【忠勇】チュウユウ 忠義のこころあつくいさましい。「ろ」。  
 【忠魂】チュウコン 忠義のこころ  
 【忠勤】チュウキン まめやかにつとめはげむ。

【忠勤をぬきんず】チュウキンヲヌキ 人いちばい忠勤をつくすこと。  
 794 【快】クワイ  
 ①こころよし。  
 【快心】クワイシン きもちがよい。  
 【快方】クワイハウ 病氣がよくな  
 【快活】クワイカク 氣もちがさつぱりしてゐてものごとを苦(く)にしないこと。  
 【快晴】クワイセイ よくはれたてんき。「かんじ」。  
 【快感】クワイカン きもちのよい  
 【快談】クワイタン きもちよくはなす。又、そのはなし。  
 【快諾】クワイダク きもちよくひきうける。  
 【快樂】クワイラク たのしみ。

【快舉】クワイキョウ きもちのよいくはだて。  
 【快癒】クワイユ 病氣がすつかりなほる。  
 【快癒期】クワイユキ 病氣のなほるとき。  
 【快からず】クワイカラズ おもしろくない。②仲(せ)がよくない。

795 念 ネン

①おもふ。②おもひ。③こころ。  
 【念力】ネンリキ 一心におもひこんだ力。  
 【念佛】ネンブツ ほとけにいのる。南無阿彌陀佛(なまふたつ)をとなへること。  
 【念頭】ネントウ こころ。おもひ。  
 【念願】ネンガン ねがひ。のぞみ。

796 【忽】コツ  
 ①たちまち。②ゆるかせ。  
 【忽然】コツゼン たちまち。にはかに。  
 【忽焉】コツエン まへにおなじ。  
 【忽諸】コツシヨ ゆるかせにする。  
 797 【忿】フン  
 ①いかる。②いかり。  
 【忿然】フンゼン いかるさま。  
 【忿怒】フンダク ひどくおこること。

五 畫

798 【怒】ド  
 ①いかる。②いかり。  
 【怒氣】ドキ はらを立てたやうす。

【怒罵】ド いかりののしる。

【怒號】ド いかりさげぶ。どなる。

【怒濤】ド はげしくうらよせるなみ。あらなみ。

【怒髮】ド かみをさかだててたいそうおこること。

799 【怖】フ

●おそる。●おつ。

【怖氣】ケ オチ おそれるころ。

800 【怛】タン

●いたむ。●かなしむ。

801 【思】シ

●おもふ。●おもひ。

【思出】デ オモヒ まへのことをおもひ出して、心をなくさめること。

【思召】オボシ おかんがへ。

【思考】シカウ かんがへ。

【思案】シアン おもひめぐらすこと。かんがへ。「ひ。

【思想】シサウ かんがへ。おも

【思慮】シリョ おもんばかり。かんがへ。

【思慮周密】シリョウミツ かんがへがよくゆきとどいてること。

【思潮】シテウ その時代の多くの人のかんがへ。「こと。

【思慕】シボ なつかしくおもひ

【思ひきや】シキヤ おもひ

【思ひ煩ふ】シワヅル おもひなやむ。おもひくるしむ。

802 【怠】タイ

●おこたる。なまける。

●おこたり。●ゆだんする。●あなだる。

【怠惰】タイ おこたる。なまける。

【怠慢】タイ なまけること。

803 【急】キフ

●はやし。●いそぐ。せ

●さしせまる。

【急用】キフ いそぎの用事。

【急所】キフ だいじなところ。

【急雨】キフ にはかあめ。

【急性】キフ にはかにおこる病氣。(慢性に對していふ)

【急坂】キフ きふなさか。け

【急場】キフ さしせまつたと

【急流】キフ はやいながれ。

【急務】キフ さしあたつてせねばならぬしごと。

【急病】キフ にはかにおこる病氣。「せ。

【急報】キフ いそぎのしら

【急行】キフ いそいでゆく。

【急激】キフ はげしくにはかなこと。

【急變】キフ 急にかはる。

【急傾斜】キフケイ 急にかたむいてゐること。さかみちの急なこと。

【急轉直下】キフテン にはかにむきがかはつて、非常ないきほひで落ちて来る。

804 【性】セイ

●たち。●もちまへ。●こころね。●うまれつき。

【性格】セイ うまれつき。

【性急】セイ きみじか。せつ

【性能】セイ うまれつきまつ

【性質】セイ うまれつき。もちまへ。たち。

【性情】セイ きだて。せい

【性癖】セイ もちまへのく

805 【怨】エン

●うらむ。●うらみ。

【怨恨】エン うらみ。

【怨聲】エン うらみのこゑ。

【怨敵】エン うらみのあるか

【怨嗟】エン うらみなげく。

【怨靈】エン うらんで死ん

806 【怪】クワイ

●あやし。●あやしむ。

●あやしいもの。ばけもの。●ふしぎ。

【怪奇】クワイ ふしぎでめづ

【怪力】クワイリキ ふしぎ

【怪岩】クワイガン めづらしいか

【怪我】クワイガ あやまつて身に

【怪物】クワイモノ あやしいもの。ばけもの。「なし。

【怪談】クワイダン ばけもののは

【怪聞】クワイブン あやしいうは

【怪獸】クワイジュウ あやしいけも

【怪傑】クワイケツ えたいのしれぬ力のあるもの。

807 【怯】ケフ

●おそる。●よわし。い

くぢがない。

【怯懦】ケフ おくびやうでい

くぢがない。

808 【侍】ジ

たのむ。

809 【恆】コウ

●つね。

【恆久】コウキウ 久しくてかはらぬこと。とこしへ。○永久。

【恆心】コウシン つねにかはらな

【恆産】コウサン きまつたさいざ

【恆例】コウレイ いつもの例。し

810 【恐】キヨウ

●おそる。●おそれ。

【恐怖】キヨウ おそれる。

【恐懼】キヨウ おそれかしこ

【恐悅】キヨウ かしこみよる

【恐喝】キヨウ おどす。

【恐縮】キヨウ おそれいる。

【恐察】キヨウ かしこみおし

【恐慌】キヨウ おそれて安心

811 【恕】ジヨ

●ゆるす。●おもひやる。

812 【恢】クワイ

●おほいなり。ひろし。●おほいにす。ひろくする。

【恢弘】クワイ ひろく大きく

【恢復】クワイ もとのとほり  
する。「にずる。」

813 **恤** ジュツ

●あはれむ。●めぐむ。

【恤兵】ジュツ 品物・金銭な  
どを送つて戦争に出てる  
兵士をなぐさめること。

【恤兵部】ジュツ いくさに出  
てるへいいたいをなぐさめ  
ることをとりあつかふこと  
ス。

814 **恥** チ

●はぢ。●はづ。●はづ  
かしむ。

【恥辱】ジヨク はぢ。はづか  
しめ。

815 **恨** コン

●うらむ。●うらみ。

【恨事】コン さんねんなこと

816 **恩** オン

●めぐみ。いつくしみ。  
●なさけ。●ほどこす。  
●あはれむ。

【恩人】オン 自分がせわにな  
つた人。おんをうけた人。

【恩典】オン めぐみ。「み。  
【恩怨】オン なさけとら  
【恩命】オン ありがたいおほ  
しめし。「生。」

【恩師】オン 恩をうけた先  
【恩恵】オン めぐみ。なさけ。  
【恩義】オン なさけのあつい  
こと。「しみ。」

【恩愛】オン めぐみ。いつく  
【恩賞】オン はらび。  
【恩赦】オン なさけによりつ

みをゆるされること。

【恩寵】オン 愛されて恩を  
うけること。ひいき。めぐ  
み。いつくしみ。

【恩顔】オン なさけぶかいお  
かほ。(めうへの人にいふこ  
とば)

【恩賜】オン めぐみたまはる  
こと。

【恩澤】オン おかげ。めぐみ。  
なさけ。

【恩顧】オン なさけをかけら  
れる。ひいきにされる。

817 **恪** カク

つつしむ。

【恪勤】カク なまけずによく  
つとめる。

818 **恭** キョウ

●うやうやし。●つつし  
む。

【恭賀】キョウ つつしんでい  
はふ。「しむ。」

【恭敬】キョウ うやまひつつ

【恭順】キョウ つつしんでし  
たがふ。

【恭儉】キョウ おこなひをつ  
つしみつつまやかにする。

819 **息** ソク

●いき。●やむ。●いこ  
ふ。やすむ。●こども。

【息子】ソク むすこ。

【息女】ソク むすめ。

【息災】ソク 身にさはりがな  
い。無事(マツ)。

820 **恰** カフ

あたかも。ちやうど。

【恰好】カフ ●ちやうどよ  
い。●すがた。かたち。

821 **恋**

戀(心部十九畫)の簡易  
字體。男(レ)を見よ。

七 畫

822 **悦** エツ

●よろこぶ。●よろこび。

【悦樂】エツ よろこびたのし  
む。

【悦服】エツ よろこんでし  
たがふ。

823 **悉** シツ

●ことごとく。●つくす。

【悉皆】シツ すべて。のこら  
ず。

824 **悔** クワイ

●くゆ。●くやむ。●く  
い。●くやみ。

【悔悛】クワイ こうくわいし  
てわるいおこなひをあらた  
める。「もふ。」

【悔恨】クワイ さんねんにお  
【悔悟】クワイ まへにしたわ  
るいことをくいあらため  
る。

825 **悖** ハイ

●もとの。さからふ。

【悖德】ハイ 人のふむべき道  
にそむくこと。

826 **悚** ショウ

おそる。

【悚慄】ショウ おそれふるへ  
る。「とするさま。」

【悚然】ショウ おそれぞつ

827 **悛** シユン

あらたむ。前のあやまち

をあらためる。

828 **悟** ゴ

●さとる。●さとり。

【悟入】ゴ ふかくさとること。  
と。「とること。」

【悟道】ゴ ほとけの道をさ  
まよひをとりのけて道理に  
あかるくなる道。

829 **悠** イウ

●はるか。とほし。●ゆ  
つたりとしたさま。

【悠久】イウ ながく久しい。

【悠長】イウ ながい。ひさ  
しい。のんびりしてゐる。

【悠悠】イウ ●はるかにとほ  
いさま。●ゆるゆる。ゆつ  
くり。「こせつかぬさま。」

【悠然】イウ ゆつたりとして

【悠揚】イウ ゆつたりとして  
あわてずおちついたさま。

【悠遠】イウ はるかにとほ  
い。

830 **患** クワン

●うれふ。●わづらふ。  
●うれひ。●わづらひ。

【患者】クワン 病氣にかかつ  
てゐる人。○病人。「ころ。」

【患部】クワン 病氣のあると  
ころ。

八 畫

831 **悲** ヒ

●かなし。●かなしむ。  
●かなしみ。

【悲喜】ヒ かなしみとよろこ  
び。

【悲泣】ヒ かなしみなく。

【悲壯】ヒ かなしいうちに

【悲哀】 アイ かなしみ。

【悲報】 ハウ かなしいしら

【悲痛】 ツウ かなしいまはり

【悲運】 ウン かなしいまはり

【悲境】 キヤウ あはれたまは

【悲歎】 ダン かなしみなげ

【悲鳴】 メイ かなしみな

【悲惨】 ヒ いたましい。

【悲観】 クワン かなしくおも

【悲憤】 フン かなしみいきど

【悲劇】 ゲキ かなしいこと

【惑星】 ワク 一つとこに居

【惜別】 セキ わかれをし

【惜陰】 セキ 時間をだいに

【惜しむらくは】 ヲシムを

【惟】 キ

【恵】 ケイ

【恵贈】 ケイ まへにおなじ。

【悶】 モン

【悶死】 シン もたえじに。

【悶著】 モン もめごと。こ

【悶悶】 モン もたえくるしむ

【悶絶】 モン もがきくるしん

【悼】 タウ

【悼惜】 タウ 人の死をかなし

【悼痛】 タウ 人の死をかなし

【情】 セイ

【情勢】 セイ 前におなじ。

【情味】 セイ おもむき。あ

【情致】 セイ 前におなじ。

【情趣】 セイ 前におなじ。

【情状】 セイ 事のありさ

【情理】 セイ ことがらのす

【情操】 セイ 善を好み美を

【情愛】 セイ なさけ。いっ

【情意】 セイ ころもち。

【情報】 セイ やうすのしら

【情實】 セイ 人情(じやう)の

【情景】 セイ ありさま。や

【情態】 セイ ありさま。

【情誼】 セイ したしみ。よ

【情緒】 セイ うつくしい、

【醇厚】 セイ しんせつあつ

【惑】 ワク

【惑溺】 ワク まよひおぼれ

【惑亂】 ワク まどひみだれ

【惡名】 メイ わるいひやうば

【惡聲】 セイ まへにおなじ。

【惡性】 セイ わるいたち。

【惡臭】 シウ いやなにほひ。

【惡疫】 エキ わるいはやりや

【惡寒】 カン さむけ。「まひ。

【惡疾】 シツ たちのわるいや

【惡逆】 ギヤク 人の道にそむ

【惡筆】 ヒツ 字を書くことの

【惡習】 シフ わるいならば

【惡弊】 ヘイ まへにおなじ。

【惡風】 フウ まへにおなじ。

【惡漢】 カン わるもの。

【惡癖】 ヘキ わるいくせ。

【惡戲】 ギキ いたづら。

【惡意】 イク わるいころ。

【惡辣】 ラツ たちがわるくて

【惡戰】 セン なんぎないく

【惡黨】 タク わるもの。わる

【惡魔】 マク わるい神。わる

【惱】 ナウ

【惱殺】 ナウサイ ひじやうに

【惱亂】 ナウラン なやみみだれ

842 情

おこたる。なまける。

【情性】セイ ●動いてゐるものはいつまでも動いてゐようとするとせいしつ。●これまでのくせ。「くせ。」

【惰風】フウ なまけおこたる

【惰力】リョク 動いてゐる車が、急にとめようとしても中々とまらずなほすすまりとする力。

【惰眠】ミン ●なまけてねむること。●おこたつてくらすこと。

【惰氣】キ ●なまけごころ。いやき。たいぎなきもち。

【惰弱】ジャク なまけていくぢがない。

843 想

●おもふ。●おもひ。

【想見】ケン おもひみる。おしはかる。

【想起】キウ まへのことをおもひ出す。

【想望】バウ おもひのぞむ。したぶ。

【想像】ザウ おしはかる。

844 惶

おそる。

845 惻

●いたむ。●いたみ。●かなしむ。

【惻隱】イン あはれみいたむ。いたましくおもふ。

846 愁

●うれふ。●うれひ。

【愁色】シヨク しんばいさうななほつき。

【愁眉】シウ 前におなじ。

【愁訴】シウ なげきうつたへる。なきつく。

【愁傷】シヤウ うれひいたむ。なげきかなしむ。「む。」

【愁歎】シウ なげきかなし

847 愆

あやまち。

【愈】ユ ●まさる。●いよいよ。ますます。だんだん。

849 愉

よろこぶ。

【愉快】クワイ こころよい。おもしろい。「しみ。」

【愉悅】ユツ よろこび。たの

850 意

イ

●こころ。●おもふ。

【意外】ゲワイ 思ひのほか。

【意地】チ ●思ひこんだことをどこまでも通さうとするこころ。●こころね。こんじやう。

【意志】シ ●こころ。おもひ。こころ。

【意向】カイ こころのむくとこころ。

【意思】シ ●こころ。おもひ。【意表】ヘウ おもひのほか。おもひもよらぬところ。

【意見】ケン ●かんがへ。みこみ。●人をいましめること。○忠告。

【意味】ミ わけ。

【意義】ギ わけ。

【意識】シキ 心にはつきりお

【意氣】キ げんき。いきこみ。

【意想外】ダワイ おもひのほか。

【意氣揚揚】ヤウヤウ げんきのよいさま。とくいのさま。

【意氣衝天】シヨウテン 天をもつかんばかりのさかんなげんき。

【意氣沮喪】ソソウ げんきがくじけてなくなるこころ。

【意氣銷沈】セウチン げんきがなくなるこころ。

【意を決す】ケツス けつしんする。かくこする。

【意の如し】ゴトシ おもひのままになる。

【意に介せず】カイセズ 氣にかけない。なんともおもはない。

851 愚

おろか。

【愚痴】チ おろかでおもひきりがわるい。「ぬ。」

【愚劣】レツ おろかですまら

【愚人】ジン ばかもの。

【愚弟】テイ 自分の弟をへりくだつていふことば。愚兄・愚姉・愚妹・愚妻・愚息などの愚も皆自分の意味につかふ。

【愚昧】マイ おろかでものを知らない。

【愚弄】ゴウ 人をばかにしてなぶる。

【愚直】チョク ばかしやうじき。

【愚鈍】ドン おろか。ばか。【愚見】ケン 私のかんがへ。(けんせんしていふことば)

852 愛

アイ

●いつくしむ。●いつくしみ。●めつる。●をしむ。

【愛用】ヨウ このんでつか

【愛好】カウ このむ。

【愛育】イク かはいがつてそだてる。

【愛兒】ジイ かはいがつてゐる子。いとし子。「ま。」

【愛馬】バイ きにいりのり

【愛憎】ソウ かはいがるとにくむと。「あそぶ。」

【愛玩】グワン このんでめて【愛情】ジヤウ かはいいとおもふこころ。「まふ。」

【愛敬】カイ かはいらしく見えること。●あいそのよいこと。●人ずきのすること。

【愛嬌】ケウ まへにおなじ。

【愛國】コク 國のためにおもふ。國のためにつくす。

【愛撫】ブイ かはいがる。

【愛著】チャク かはやく思ふこころが物にとりついてはなれにくいこと。

【愛郷】キヤウ ふるさとをなつかしくおもふ。

【愛護】ゴイ たいせつにまもる。だいじにする。

【愛顧】コイ なさけをかける。ひいきにする。

853 感

カン ●心がうごく。●かんじ。【感心】カン こころにかんじ

る。

【感化】カン クワ あひての心をうごかしてよい方にうつらせる。又、わるくさせる方にもいふ。

【感泣】カン キフ かんじてなく。

【感状】カン ジャウ いくさなどでてがらを立てたとき、大將からほめてあたへるかきつけ。

【感服】カン ブク ふかくかんしん

【感冒】カン バウ かせ。○風邪。

【感想】カン サウ かんじ。おもひ。

【感佩】カン バイ 心にかんじていつまでもわすれない。

【感銘】カン メイ まへにおなじ。

【感染】カン セン 外のものにつく。

【感涙】カン ルキ ありがたなみ

【感喜】カン キン かんじよろこ

ぶ。

【感情】カン ジャウ うれしい・かなしい・かはいい・にくいなどと感じる心のはたらき。

【感動】カン ドウ たいそうかんしんすること。

【感謝】カン シヤ ありがたきおも

【感慨】カン ガイ ものごとにかんじてなげく。

【感激】カン ゲキ かんじて心がうごきふるふ。たいそうかんずる。

【感覺】カン カク 外部に起つたとがらに對してそれをさとする心のはたらき。

【感興】カン キョウ おもしろくおもふこと。おもしろみ。

【感奮】カン ブン かんじてげんきをを出す。

【感歎】カン タン ふかくかんじてほめる。

十 畫

854 【慎】 シン

●つつしむ。●つつしみ。●慎重【シン】 チョウ つつしんでかゝるがしくせぬ。用心ぶかいこと。

【慎獨】シン ドク ひとりをつつし

855 【慈】 ジ

●いつくしむ。●いつくしみ。

【慈父】ジ フ なさけぶかい父。

【慈母】ジ ボ なさけぶかい母。

【慈雨】ジ ウ よいおしめり。

【慈惠】ジ ケイ いつくしみめぐむこと。あはれみ。

【慈悲】ジ ヒ あはれみ。なさけ。

【慈善】ジ ジン めぐみ。

856 【態】 タイ

●さま。ありさま。●わざと。●わざわざ。●態度【タイ】 タイ みぶり。ありさま。

857 【慌】 クワウ

あわてる。まごつく。

十一 畫

858 【慕】 ホ

したふ。

859 【慘】 サン

●いましたし。●むごし。●みじめ。

【慘狀】サン ジャウ むごたらしい。ありさま。

860 【慢】 マン

●おこたる。●あなどる。●おこる。●ゆるむ。

【慢然】マンゼン ●そまつにするさま。●とりとめのないこと。●「こころ。うねほれ。

【慢心】マンシン おこりたかぶる

【慢性】マンゼン なかなかなほりにくい病氣。(急性に對して)

861 【慣】 クワン

なる。なれる。

【慣用】クワン ヨウ つかひなれる。いつもつかふ。

【慣例】クワン レイ しきたり。

【慣習】クワン シフ ならはし。くせ。○習慣。

862 【慧】 ケイ

かとし。かしこみ。

【慧眼】ケイガン よくものごとをみわけるちから。

863 【慨】 ガイ

なげく。

【慨世】ガイセイ 世の中のことをしんばいしてなげく。

【慨然】ガイゼン かなしむさま。

【慨歎】ガイタン なげく。

864 【慮】 リヨ

●おもんばかり。かんがへる。●おもんばかり。かんかへ。

【慮外】リヨグワイ ●おもひのほか。●もつでのほか。

865 【慰】 キ

●なぐさむ。●なぐさめ。●なぐさみ。

【慰安】キアン なぐさめておちつかせる。

【慰諭】キエン なぐさめさとす。

【慰問】キモン 人の心をなぐさめるためにたづねる。なぐさめみまふ。

【慰問状】キモンジャウ 慰問のためにおくるてがみ。

【慰問袋】キモンブクロ いくさに出るために色々の品物を入れ

ておくる袋や小包。

【慰撫】キブ いたはりなでる。

【慰勞】キラウ ほねをりをなくさめる。

【慰藉】キシャ なぐさめたすけ

866 【慶】 ケイ

●よろこぶ。●よろこび。●慶弔【ケイ】 テウ よろこびごととくやみこと。

【慶事】ケイジ めでたいこと。いはひこと。およろこび。

【慶賀】ケイガ よろこびいはふ。

867 【慾】 ヨク

ほしいと思ふこと。

【慾心】ヨクシン ほしいとおもふこと。よくばること。

【慾望】ヨクバウ のぞみ。ねがひ。

868 〔憂〕 イウ

①うれふ。しんばいする。②うれひ。うれへ。しんばい。③うし。しんばいである。

【憂苦】イウ しんばいしてくるしむ。「しんばいする」。

【憂世】セイ 世の中のことを

【憂世】ヨキ しんばいごとの絶えない世の中。この世。

【憂患】イウ しんばいごとと。「いてしんばいする」。

【憂國】イウ くこのことにつ

【憂愁】シウ うれへ。かなしみ。「こる」。

【憂憤】イウ しんばいしてお

【憂慮】リヨ しんばい。

【憂鬱】イウ しんばいで氣がふさぐ。

【憂身】ウキ かなしい身。つらい身。

【憂目】ウキ つらい目。

【憂ひを分かつ】ウレヒヨ ともにしんばいしてなくさめあふ。

十二畫

869 〔憎〕 ソウ

①にくむ。②にくみ。③にくし。④にくしみ。

【憎愛】ソウ にくむとかはいがると。

【憎惡】ソウ にくみきらふ。

870 〔憐〕 レン

①あはれむ。②あはれみ。

【憐愍】レンビン あはれむ。なさをかける。

【憐憫】レン まへにおなじ。

871 〔憚〕 タン

①ははかる。②はばかり。

【憤】フン ①いきどほる。②いきどほり。

【憤死】フン いきどほつて死ぬ。さんねんがつて死ぬ。

【憤怒】フン ヒどくはらをたてる。

【憤恨】フン いかりうらむ。

【憤慨】フン いきどほりなげ

873 〔慇〕 ケイ

①こる。やすむ。

874 〔憲〕 ケン

のり。おきて。

【憲兵】ケン おもに軍事警察をつかさどる兵。

【憲法】ケン 國のおほもとになるおきて。

【憲政】ケン 憲法によつて行ふせいぢ。○立憲政治。

【憲章】ケン のり。おきて。

十三畫

875 〔憶〕 オク

①おもふ。②おもひ。

876 〔憾〕 カン

①うらむ。②うらみ。

877 〔懇〕 コン

ねんこる。

【懇切】ケン ていねい。しんせつ。

【懇命】ケン ていねいなおほせ。

【懇意】ケン なかがよい。

【懇望】コンバウ しきりにのぞむ。

【懇情】コンジャウ てあついなさ

【懇親】コン シン したしくする。

【懇話】コン したしくはなしあふ。うちとけてはなす。

【懇篤】コン トク てあつい。

【懇願】コン グワン をり入つてたのむ。

【懇請】コン セイ まへにおなじ。

【懇懇】コン コン ていねいなさま。

878 〔懈〕 カイ

①おこたる。②おこたり。

【懈怠】カイ タイ おこたる。なまける。

879 〔應〕 オウ

①こたふ。②こたへ。③

まさか。

【應分】オン オン みぶんさうお

【應用】オウ オウ いろいろのばあひにあてはめてはたらかし

【應急】オウ オウ いそぎのまにあ

【應急手當】オウキフ オウキフ 急場

【應變】オウ オウ 思ひがけないこ

【應答】オウ オウ うけこたへす

【應募】オウ オウ つのりにしたが

【應募者】オウボ オウボ 募集に應ず

【應酬】オウ オウ こたへる。手紙

【應對】オウ オウ 人とむかひあつ

てはなしする。「てやる」。

【應援】オン オン いきほひをつけ

【應戰】オン オン あひてになつて

【應接】オン オン 人をあしらふ。

【應接に暇あらず】オンセ

【懋】ボウ ①つとむ。②さかんなり。

【懋】ボウ エキ ①よろこぶ。②よろこび。

882 〔懲〕 チョウ

①こる。②こらす。

883 〔懷〕 クワイ

①おもふ。②おもひ。③なつく。④いだく。⑤ふところ。

【懷古】クワイ むかしをおも

【懷舊】クワイ 前におなじ。

【懷中】クワイ ふところのな

【懷妊】クワイ 子をばらむ。

【懷胎】クワイ 前におなじ。

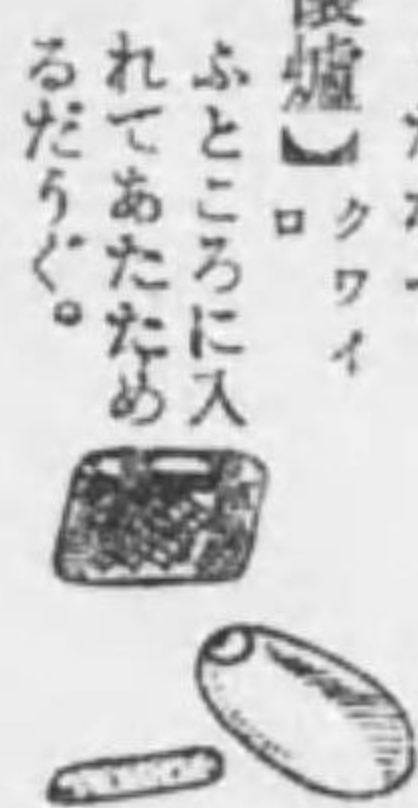
【懷柔】クワイ 手なづける。

【懷劍】クワイ ふところに入

【懷郷】クワイ ふるさとをな

【懷疑】クワイ つかしくおもふ。

【懷爐】クワイ うたがふ。



884 【懸】ケン

【懸命】ケン メイ いのちがけ。

【懸絶】ケン ゼツ かけはなれてゐる。

【懸隔】ケン カク まへにおなじ。

【懸崖】ケン ガイ がけ。きりぎりし。

【懸賞】ケン シヤウ はうびをかけ

てつものる。

【懸河の辯】ケンガ 辯舌

【懸河】ケンガ ながれの

十八畫

【懼】ク

【懿】イ

【懿旨】イ シ 皇后又は皇太后の

【懿德】イ トク うるはしい徳。

十九畫

【戀】レン

【我意】ガ イ わがまま。「く。

【我慾】ガ ヨク じぶん一人の上

【我輩】ガ ハイ われわれ。

【我執】ガ シツ かたいぢ。

【我慢】ガ マン こらへる。しん

【我田引水】ガデン インスキ わが

【戒心】カイ シン ようじんする。

【戒名】カイ ミヤウ 死後につける

【戒飭】カイ チョク いましめる。

【戀慕】レン ボン こひしたふ。

【戀戀】レン レン こひしたつてわ

【戈部】

【成】セイ

【成】セイ

【成】セイ

【成人】ジン セイ おとな。

【成分】セイ アン ある物をくみた

【成規】セイ ケイ できているきそ

【成因】セイ イン できるもと。で

【成立】セイ リツ なりたつ。でき

【成功】セイ コウ したげる。でき

【成果】セイ ケウ できあがり。

【成否】セイ ヒ できるかできな

【成長】セイ チヤウ おほきくな

【成年】セイ ネン おとなになつた

【成育】セイ イク そだつて大きく

【成案】セイ アン できあがつたか

【成跡】セイ セキ できたあと。

【戡定】カ イ かちさだめる。

【戡】カ リク

【戰】セン

【戰友】セン イウ いつしよにある

【戰地】セン チ いくさをしてる

【成就】ジヤウ シトげる。で

【成敗】ハイ なるかならぬ

【成敗】ハイ かつかまけるか。

【成敗】ハイ しかおき。

【成績】セキ セキ できばえ。

【成業】ゲフ シトをなしと

【成算】サン ナシとげるみこ

【成熟】ジニク ①よくみの

【成佛】ブツ ホトけにな

【成れの果】ナレノ オちぶ

【我】ガ

【我流】リウ 自分かつてのや

【我】ガ

【我】ガ

【我】ガ



るところ。「てがら。」

【戦功】 セン コウ いくさにてた

【戦局】 セン キョク いくさのなり

【戦況】 セン キヤウ いくさのやう

【戦亂】 セン ラン いくさのため世

【戦果】 セン クワ いくさの結果。

【戦時】 セン ジ いくさのあると

【戦記】 セン キ いくさのことを

【戦争】 セン サウ たたかひ。いく

【戦役】 セン エキ まへにおなじ。

【戦闘】 セン トウ まへにおなじ。

【戦艦】 セン カン 「戦艦」に

【戦略】 セン リヤク いくさのしか

【戦死】 セン シン たたかつて死ぬ

【戦端】 セン タン いくさのはじま

【戦費】 セン ビン いくさの費用。

【戦歿】 セン ボツ たたかつて死ぬ

【戦雲】 セン ウン いくさのはじま

【戦術】 セン ジユツ いくさのしか

【戦捷】 セン セフ いくさにかつ。

【戦勝】 セン ショウ 前におなじ。

【戦慄】 セン リツ をのきふる

【戦線】 セン セン てきとむかひあ

【戦場】 セン チヤウ いくさのある

【戦機】 セン キン たたかふのにつ

【戦備】 セン ビン いくさの用意。

【戦意】 セン イ たたかはうとす

【戦艦】 セン カン 海軍の中心にな

【戦利品】 セン リ ヒン いくさをし

【戦競競】 セン セン キョウキョウ

【戯作】 セン ゲ サク 小説(せき)

【戯曲】 セン キョク しばゐのすぢ

【戴】 タイ いたたく。

【戴冠式】 タイクワン 外國で

【戸籍】 セキ セキ 家族の人人のこ

戸部

【戸口】 コウ コウ 家のかずと人

【戸外】 グワイ 家のと。

【戸主】 ショ 一家のあるじ。

【戸別】 ベツ いへごと。

【戸毎】 ゴト まへにおなじ。

【戸數】 スウ 家のかず。

【戸籍】 セキ セキ 家族の人人のこ

とをくはしく書いた帳面。

四畫

901 【戾】 レイ

902 【房】 バウ

903 【所】 ショ

【所用】 ショ ヨウ 上うじ。上うむ

【所存】 ショ ゾン かんがへ。

【所在】 ショ ザイ ところどこ

【所以】 ショ ヌエ わけ。

【所定】 ショ テイ きめられた。

【所有】 ショ イウ もつてゐる。

【所持】 ショ ジョ まへにおなじ。

【所見】 ショ ケン かんがへ。

【所信】 ショ シン たしかにかうと

【所要】 ショ エウ いらよう。

【所得】 ショ トク とりまへ。まう

【所詮】 ショ セン つまるところ。

【所望】 ショ マウ のぞみ。「うき。

【所勞】 ショ ラウ わづらひ。びや

【所爲】 ショ キ シわざ。

【所管】 ショ クワン とりしまるこ

【所轄】 ショ カツ まへにおなじ。

【所感】 ショ カン かんじた事が

【所謂】 ショ イハ いふところ。普

【所領】 ショ リヤウ 自分のものと

【所屬】 ショ ゾク つきしたがふと

六畫

904 【扇】 セン

【扇子】 セン スン あふぎ。

【扇形】 セン ケイ アフギガタ あふぎの

【扇面】 セン メン あふぎのおも

【扇眼】 セン ガン あふぎのかた

【扇風機】 セン アウキ でんきのち

【八畫】

905 【扉】 ヒ

手(才)部

906 【手】 シエ

【手工】 シエ コウ てざいく。てわ

【手水】 シエ テウ 手をあらふ

【手中】 シエ チユウ てのなか。て

【手巾】 シエ キン てふき。ハンカ

【手代】 シエ タイ 商店のめしつか

【手兵】 シエ ヘイ 手もとにあるへ

【手勢】 シエ セイ まへにおなじ。

【手段】 シエ ダン てだて。しかた。

【手記】シユ おぼえがき。

【手術】ジユツ 病氣のあるところを切り開いたり、切り取つたりすること。

【手當】アテ ①はたらきちんとして出す金。②よい。【手腕】シユ うでまへ。はたらき。

【手跡】シユ 書いた文字。

【手練】シユ てぎはの上手なこと。

【手法】シユ てぶり。しかた。

【手敷】スウ てかず。てま。

【手藝】ゲイ 手さきでするわざ。あみもの・ぬひりのやうな手わざ。【手落】オチ おちど。てぬか

【手合】アヒ なかま。

【手合はせ】アハセ あひて

となつて勝負(「形」)をする

【手先】サキ 手下となつてつかはれるもの。したばたらしき。

【手始】ハジメ しごとのはじめ。とりかかり。

【手土産】ミヤゲ 手にさげてもつてゆくちよつとしたみやげ。

### 907 才

【才子】サイ はたらきのある人。

【才物】ブツ まへにおなじ。

【才名】メイ はたらきがあるといふひやりばん。

【才色】サイ はたらきときりやう。

【才略】リヤク ちゑとはかりごと。

【才器】キ はたらきのあるうでまへ。【才能】ノウ ちゑとはたらき。

【才幹】カン はたらき。

【才智】チ ちゑ。はたらき。

【才媛】エン ちゑのある女。(おもに學問・詩文にすぐれてゐる女にいふ)

【才覺】サイ きてんがきく。【二畫】

### 908 打

【打破】ダ うちやぶる。ぶちこはす。

【打電】デン でんばうをうつ。

【打撃】ゲキ ①うつ。たたく。②わるいさしひびき。

【打算的】ダサン 勘定(「物」)高いこと。【打撲傷】ダボク うちきず。

### 909 托

【托鉢】タツ 僧が鉢を持つて米や錢をもらひ歩くこと。

【托子】タク 茶托(「物」)のこと。

### 910 扱

【扱】サフ 扱

【あつかふ】 【あつかひ】 【こく】 【しごく】

### 911 扶

【たすけ】 【たすけ】

【扶育】イク たすけそだてる。

【扶助】ジュ たすける。

【扶持】チ むかし、米であたへた給料(「物」)。(一人一日たいてい四合のわり)

【扶桑】サウ 日本のこと。

【扶植】シヨク うゑつける。

【扶養】ヤウ たすけやしなふ。

【扶翼】ヨク たすける。

### 912 批

【うつつ】 たたく。【しめす】

【批判】ヒ 物事の上しあしをよくしらべてはんだんする。

【批准】ヒ 外國との條約文を、その國の君主又は大統領がよいとみとめてゆるすこと。

【批評】ヒ ものごとのよしあしをいひさだめる。しなだめ。

【批點】ヒ 詩や文章などのよしあしの批評。

### 913 承

【承】シヨウ うけたまはる。

【承知】シヨウ うけひく。ききいれる。【知る】こころえる。【てききいれる】

【承認】シヨウ よいとみとめ

【承引】シヨウ 前とおなじ。

【承諾】シヨウ 前とおなじ。

【承前】シヨウ まへからうけつぐこと。つづき。

### 914 技

【技術】ギ てわざ。

【技手】ギ 技師(「物」)の下に ついてゐる役。俗に「ギテ」といふ。

【技巧】ギ たくみな手わ

【技師】ギ 役所や會社で専門(「物」)の技術をつかさどる役の名。

【技倆】ギ うでまへ。

【技能】ギ まへにおなじ。

【技藝】ギ 手わざ。

### 915 抄

【抄】セウ ①とる。かすめとる。②うつつ。ぬきがきする。

【抄本】セウ もとの書物からぬきがきしたもの。

【抄録】セウ ぬきがき。

### 9 抑

【抑】ヨク ①おさへる。②おさへる。③おさへる。

【抑止】ヨク おさへとめる。

【抑制】ヨク まへにおなじ。

【抑揚】ヨク おさへたりあげたりする。あげたりさげたりする。あげさげ。

【抑壓】ヨク おさへつける。

【抑留】ヨク わりにひきとめる。しひておしとめる。

### 917 投

【投】トウ なく。なげる。

【投入】ニフ なげられる。

【投合】ガフ 心がよくあふ。

【投身】シウ みなげ。「る。

【投宿】シウク やどやにとま

【投降】カウ かうさんする。

【投函】カウ ポストにてがみ

【投書】シウ 新聞・雑誌など

【投稿】カウ まへにおなじ。

【投票】ヘウ ふだいれ。「す。

【投資】シウ もとでをおろ

【投錨】ベウ いかりをおろ

【投棄】キウ なげすてる。

【投機】キウ まくれあたり

【投機】キウ まくれあたり  
のしごと。やま。●相場

【投薬】ヤク くすりをもる。

918 【抗】カウ

●あく。あがる。●あた

る。はむかふ。

【抗争】カウ さからひあらそ

ふ。はりあふ。「ふ。

【抗戦】カウ てむかひたたか

【抗論】カウ あひてにさから

【抗辯】カウ まへにおなじ。

【抗議】カウ 反対のかんがへ

を申したてる。

919 【折】セツ

●さる。●くじく。●を

り。○時期。

【折折】ワリ ときどき。

【折半】セツ 二つわり。

【折角】セツ ほねをつて。わ

【折節】ワリ ちやうどそのと

【折柄】ワリ まへにおなじ。

【折衷】セツ かれとこれと

のなかをとりあはせて、ほ

どよいものとする。

【折檻】セツ ひどく責めしか

【折衝】セツ かけひき。○

【折悪しく】ワリ あいに

【折に觸れて】ワリニ と

どき。たまたま。心のむい

たとき。

920 【扱】

扱(手部十三畫)の簡易字

體。TOUを見よ。

921 【披】ヒ

【披見】ケン 手紙や本などを

【披瀝】レキ 心の中をかかさ

【披露】ロウ 多くの人に知ら

922 【抱】ハウ

【抱負】ハウ ●こころざし。

【抱懐】ハウ 心におもふ。

【抱負】ハウ ●こころざし。

【抱懐】ハウ 心におもふ。

心にかんがへる。

923 【抵】テイ

【抵抗】カイ てむかふ。

【抵觸】シヨク さしさはる。

【抵當】タイ ひきあて。しち

924 【抹】マツ

●けす。ぬりけす。●ぬ

る。なす。

【抹殺】マツ ぬりけす。けし

【抹茶】マツ ひきちやのこ

925 【押】アフ

●おす。●おさむ。おさ

【押収】アフ おかみでさしお

【押領】アフ よこどりす

926 【抽】チウ

●ひく。●ぬく。

【抽出】シユツ ●ひき出す。

【抽象】シヤウ 一つ一つの

【抽籤】セン くじびき。

927 【拂】フツ

【拂子】フツ はぐまの毛で

【拂底】フツ すこしものこさ

【拂曉】ゲウ 夜のあけがた。

【拂拭】フツ はらひぬぐ



928 【抛】ハウ

【抛棄】ハウ なげすてる。

【抛擲】テキ ●なげうつ。な

【抛物線】ハウ アツ 空へなげ

【拍子】ヒヤウ ●調子をとる

【拍手】シユ 手をたたく。

【拍手喝采】カツサイ 手を

929 【拒】キヨ

【拒絶】セツ ことわる。はね

【拒否】キヨ まへにおなじ。

【拓本】タク 石ずりの書。

【拓地】タク 土地をきりひら

【拓殖】タク 土地をひらき

930 【拒】キヨ

【拒絶】セツ ことわる。はね

【拔撃】 ヌキ まへに同じ。

【拔錨】 ベウ いかりをあげてふねがでる。ふなで。

【拔擢】 テキ よりぬく。ひきあげる。

【拔手】 デ ヌキ 両手をかはるがはる水のうへにぬきだしておよぐおよぎ方。



933 【拗】 アウ エウ

●ねじける。●すねる。

934 【拘】 コウ

●とらふ。●かかはる。●なづむ。

【拘引】 コウ イン けいさつにひきわたる。

【拘束】 ソク とらへつなぐ。

【拘留】 リウ けいさつにとめておく。

【拘泥】 デイ なづむ。かかはめる。

【拘禁】 コウ キン とらへつとぢこめる。

935 【拙】 セツ

●つたなし。●まづし。●わたくし。●自分の物事にそへて、へりくだつていふことば。

【拙文】 ブン ●まづい文章。●わたくしの文。

【拙宅】 タク ●わたくしの家。

【拙策】 サツ ●まづいばかりごと。

【拙劣】 レツ つたない。まづい。へた。

【拙者】 セツ シヤ ●わたくし。

【拙速】 セツ まづくはやい。へたではあるがはやいと。

936 【招】 セウ

●まねく。

【招待】 ダイ ●人をまねいてもてなす。

【招致】 チ ●よびよせる。

【招喚】 タワン ●前におなじ。

【招集】 セウ ●よびあつめる。

【招魂】 セウ ●死んだ人のたましひをまつる。

【招聘】 セウ ●禮をあつくしてまねきよぶ。

937 【担】

●擔(手部十三畫)の簡易字體。1004を見よ。

938 【拜】 ハイ

をかむ。

【拜見】 ハイ つつしんでみる。

【拜具】 ハイ つつしんで申しあげる。(手紙をはりにかくことば)

【拜命】 メイ ●おほせをつつしみうけたまはる。●やくをさづかる。「けする。」

【拜受】 ハイ いただく。おうやうだいする。

【拜領】 ハイ つつしんでちやうだいする。

【拜啓】 ケイ つつしんでまうしあげる。(手紙のはじめに書くことば)「しあげる。」

【拜賀】 ガイ およろこびを申

【拜顔】 ガン お目にかかる。

【拜眉】 ハイ まへにおなじ。

【拜讀】 ハイ つつしんでよむ。

【拜誦】 ショウ 前におなじ。

【拜借】 シヤク おかりする。

【拜殿】 デン やしろのまへにあつて、神さまをがむところ。

【拜復】 ハイ つつしんでおこたへ申しあげる。(へんじの手紙の始めに書くことば)

【拜呈】 ハイ ●つつしんでさしあげる。(手紙のはじめにつかふことば) ●さしあげる。●おくる。「げる。」

【拜察】 ハイ おさつし申しあげる。

【拜謁】 ハイ お目どほりする。

【拜觀】 ハイ つつしんでみる。

【拜聽】 ハイ つつしんできく。

【拜辭】 ハイ ●つつしんでじたいする。●つつしんでおいとまごひする。

【拜趨】 ハイ おうかがひする。

六 畫

939 【括】 クワツ

●くくる。

【括弧】 クワツ 算式や文章につかふ符號「( )」など。

【括約】 クワツ しめくくる。

【括約筋】 クワツ しりあなをしめくくるきんにく。

940 【拭】 シヨク

ぬぐふ。

941 【拳】 ケン

●こぶし。にぎりこぶし。●ちから。●ねんどろ。●うづ。●うやうやし。●本心にもつてわすれぬさま。

【拳拳】 ケン つつしんでささ

げもつ。

【拳銃】 ジュウ ビストル。

【拳骨】 ケン にぎりこぶし。げんこ。

942 【摺】 サツ

●ふす。●あいさつ。●せまる。

943 【拾】 シフ

●ひろふ。●とを。十。

【拾得】 シフ ひろふ。

【拾遺】 シフ もれてゐるものをひろひおきなふ。

944 【持】 チ

もつ。

【持久】 チ キウ ながくもちこたへる。

【持病】 チ ビヤウ ながい間かかつてゐるやまひ。

【持藥】 チ ヤク 用心のためにふだんたえずのむくすり。

【持參】 チ サン もつてくる。

【持論】 チ ロン まへからもつてゐるかんがへ。

【持説】 チ セツ まへにおなじ。

【持續】 チ ズク もちつづける。

945 【指】 シ

●ゆび。●さす。●ゆびさす。

【指頭】 シ トウ ゆびさき。

【指針】 シ シン ●じしやくのはり。●てびき。

【指示】 シ シ ●さしめす。

【指名】 シ メイ 名さし。

【指定】 シ テイ それとさしてきめる。

【指南】 シ ナン をしへみちび